PP-100AP
ユーザーズガイド

M00019403

本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

掲載画面

本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows Vistaの画面を使用しています。

マニュアル構成

本製品には、次の説明書が用意されています。

Windows OSをお使いの場合

スタートアップガイド	搬入後、本製品を梱包箱から取り出し、設置するまでの作業、およびソフトウェアのインストールについて説明しています。はじめにお読みください。
ユーザーズガイド（本書）	本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。 Discproducer Utility & Documents Discに収録されています。ソフトウェアのインストール後は、スタートメニューから表示させることもできます。

Mac OSをお使いの場合

スタートアップガイド	搬入後、本製品を梱包箱から取り出し、設置するまでの作業について説明しています。はじめにお読みください。 ※ソフトウェアのインストールと設定については、「ユーザーズガイドfor Mac」をご覧ください。
ユーザーズガイド for Mac	ソフトウェアのインストール、本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。 Discproducer Utility & Documents Disc For Apple Mac OSに収録されています。ソフトウェアのインストール後は、[Launchpad]-[EPSON Software]-[EPSON Total Disc Maker]から表示させることもできます。

商標

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、Mac OS は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

困ったときは.................. 89

付録........................ 111

アプリケーションの使い方

EPSON Total Disc Maker

EPSON Total Disc Maker とは

EPSON Total Disc Maker は、レーベル面の印刷データの編集、および本製品（PP-100AP）への発行を行うソフトウェアです。

EPSON Total Disc Maker では、本製品でのレーベル印刷の実行を「発行」と呼びます。発行することで、本製品が CD または DVD レーベルを印刷します。

EPSON Total Disc Maker の起動

Windows 8/Windows Server 2012 の場合

スタート画面のタイルのないところで右クリックし、[すべてのアプリ] − [EPSON Total Disc Maker] の順にクリックします。

Windows 7/Windows Vista の場合

（スタート）−[すべてのプログラム] − [EPSON Total Disc Maker] − [EPSON Total Disc Maker] の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003/Windows Server 2008 の場合

[スタート] − [すべてのプログラム] − [EPSON Total Disc Maker] − [EPSON Total Disc Maker] の順にクリックします。

- [開く] ダイアログが表示された場合は、[キャンセル] をクリックすると、[開く] ダイアログが閉じ、レーベルビューがアクティブになります。
- [開く] ダイアログで、Total Disc Maker データファイルを選択して [開く] をクリックすると、選択したファイルが開かれ、発行ビューがアクティブになります。

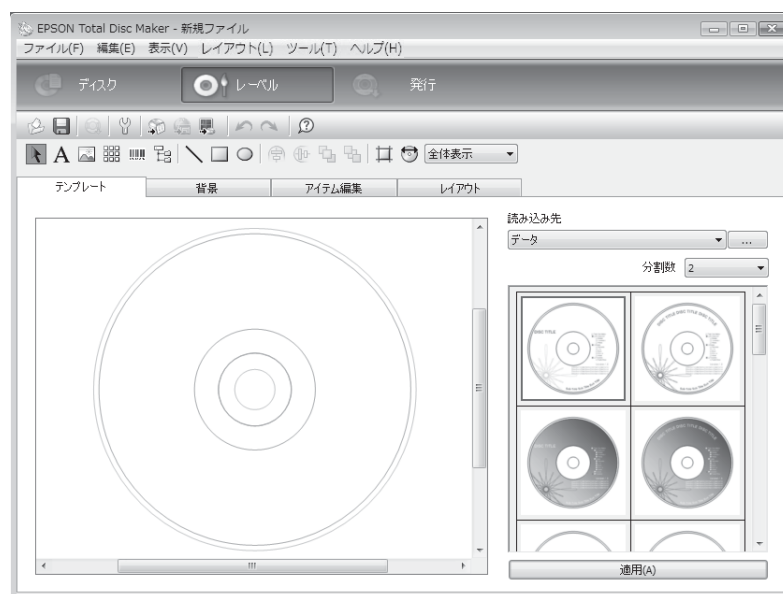
EPSON Total Disc Maker の画面構成

ここでは、EPSON Total Disc Maker の画面構成を説明します。

使い方の詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

レーベル ビュー

EPSON Total Disc Maker を起動する、または発行ビューの [レーベル] をクリックすると、レーベル ビューが表示されます。

レーベル ビューでは、ディスクのレーベル面に印刷するデータを編集します。

発行ビュー

レーベルビューの [発行] をクリックすると、発行ビューが表示されます。

発行ビューでは、編集したレーベルを本製品に発行します。

EPSON Total Disc Maker ヘルプの表示

EPSON Total Disc Maker のヘルプには、EPSON Total Disc Maker の使用方法と仕様が記載されています。

1 EPSON Total Disc Maker を起動します。

起動方法は、本書 7 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」を参照してください。

2 ツールバーの [ヘルプ] をクリックします。

参考

EPSON Total Disc Maker のヘルプは、以下の方法でも表示できます。

- EPSON Total Disc Maker を起動し、【F1】を押す
- EPSON Total Disc Maker を起動し、[ヘルプ] メニューの [ヘルプ] をクリックする

EPSON Total Disc Setup

EPSON Total Disc Setup とは

EPSON Total Disc Setup は、本製品をパソコンに登録するソフトウェアです。また、発行モードや使用するスタッカーなど、本製品でディスクを発行するための基本的な設定も行います。

EPSON Total Disc Setup の起動

Windows 8/Windows Server 2012 の場合

スタート画面のタイルのないところで右クリックし、[すべてのアプリ] − [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。

Windows 7/Windows Vista の場合

（スタート）− [すべてのプログラム] − [EPSON Total Disc Maker] − [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003/Windows Server 2008 の場合

[スタート] − [すべてのプログラム] − [EPSON Total Disc Maker] − [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。

参考	EPSON Total Disc Setup は、以下の方法でも起動できます。 • EPSON Total Disc Maker の をクリックする • EPSON Total Disc Maker の [ツール] メニューの [Total Disc Setup 起動] をクリックする

EPSON Total Disc Setup の画面構成

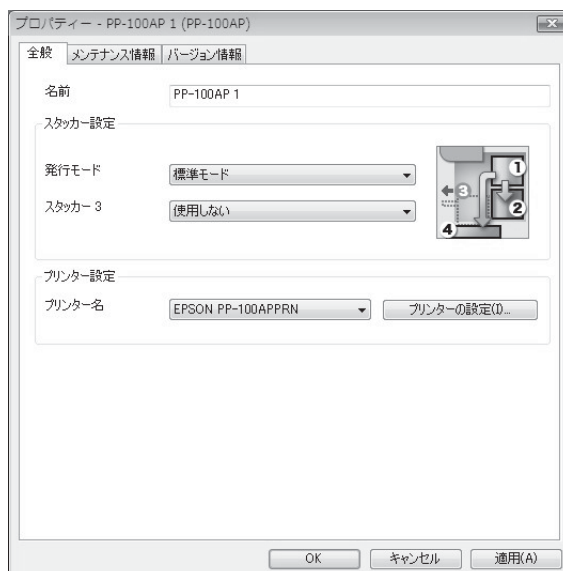
ここでは、EPSON Total Disc Setup の画面構成を説明します。
使い方の詳細は、EPSON Total Disc Setup のヘルプを参照してください。

セットアップ画面

①	登録	本製品を登録します。
②	削除	選択している本製品の登録を削除します。
③	プロパティー	選択している本製品の [プロパティー] 画面を表示します。
④	-	本製品では使用しません。(PP-100N で使用します。)
⑤	Total Disc Monitor 起動	EPSON Total Disc Monitor を起動します。
⑥	ヘルプ	ヘルプを表示します。
名前		本製品の名前が表示されます。
機種名		本製品の機種名 (PP-100AP) が表示されます。
ホスト名		本製品では使用しません。(PP-100N で使用します。)
状態		本製品の状態が表示されます。
発行待ち JOB		発行待ち JOB 数が表示されます。
通信中 JOB		本製品では使用しません。(PP-100N で使用します。)
HDD 空き領域		本製品では使用しません。(PP-100N で使用します。)

[プロパティー] 画面

セットアップ画面の [プロパティー] をクリックすると、[プロパティー] 画面が表示されます。

[プロパティー] 画面の [全般] タブ、[メンテナンス情報] タブ、または [バージョン情報] タブをクリックすると、各画面に切り替わります。

[全般] 画面

項目	説明
名前	本製品の名前を変更できます。この名前は、EPSON Total Disc Maker の発行ビューで選択する [出力機器] に表示されます。UNICODE 文字は使用しないでください。
スタッカー設定	発行モード、排出先を設定します。
プリンター設定	プリンタードライバーの [基本設定] 画面を表示します。

[メンテナンス情報] 画面

項目	説明
印刷枚数	印刷したディスクの累計枚数が表示されます。
メンテナンスボックス空き容量	メンテナンスボックスの空き容量が 0 〜 100% で表示されます。

[バージョン情報] 画面

項目	説明
シリアルナンバー	本製品のシリアル番号が表示されます。
オートローダー	本製品に内蔵されているオートローダーのファームウェアのバージョンが表示されます。
プリンター	本製品に内蔵されているプリンターのファームウェアのバージョンが表示されます。

EPSON Total Disc Setup ヘルプの表示

EPSON Total Disc Setup のヘルプには、EPSON Total Disc Setup の使用方法と仕様が記載されています。

1 EPSON Total Disc Setup を起動します。

起動方法は、本書 10 ページ「EPSON Total Disc Setup の起動」を参照してください。

2 ツールバーの [ヘルプ] をクリックします。

> **参考**
> EPSON Total Disc Setup のヘルプは、以下の方法でも表示できます。
> - EPSON Total Disc Setup を起動し、【F1】を押す
> - EPSON Total Disc Setup を起動し、[ヘルプ] メニューの [ヘルプ] をクリックする

EPSON Total Disc Monitor

EPSON Total Disc Monitor とは

EPSON Total Disc Monitor は、本製品の現在の状態、インク残量、JOB 情報などを表示するソフトウェアです。また、JOB の処理を一時停止 / キャンセルしたり、JOB の処理順序を変更したりできます。

EPSON Total Disc Monitor の起動

Windows 8/Windows Server 2012 の場合

スタート画面のタイルのないところで右クリックし、[すべてのアプリ] ー [EPSON Total Disc Monitor] の順にクリックします。

Windows 7/Windows Vista の場合

（スタート）ー [すべてのプログラム] ー [EPSON Total Disc Maker] ー [EPSON Total Disc Monitor] の順にクリックします。

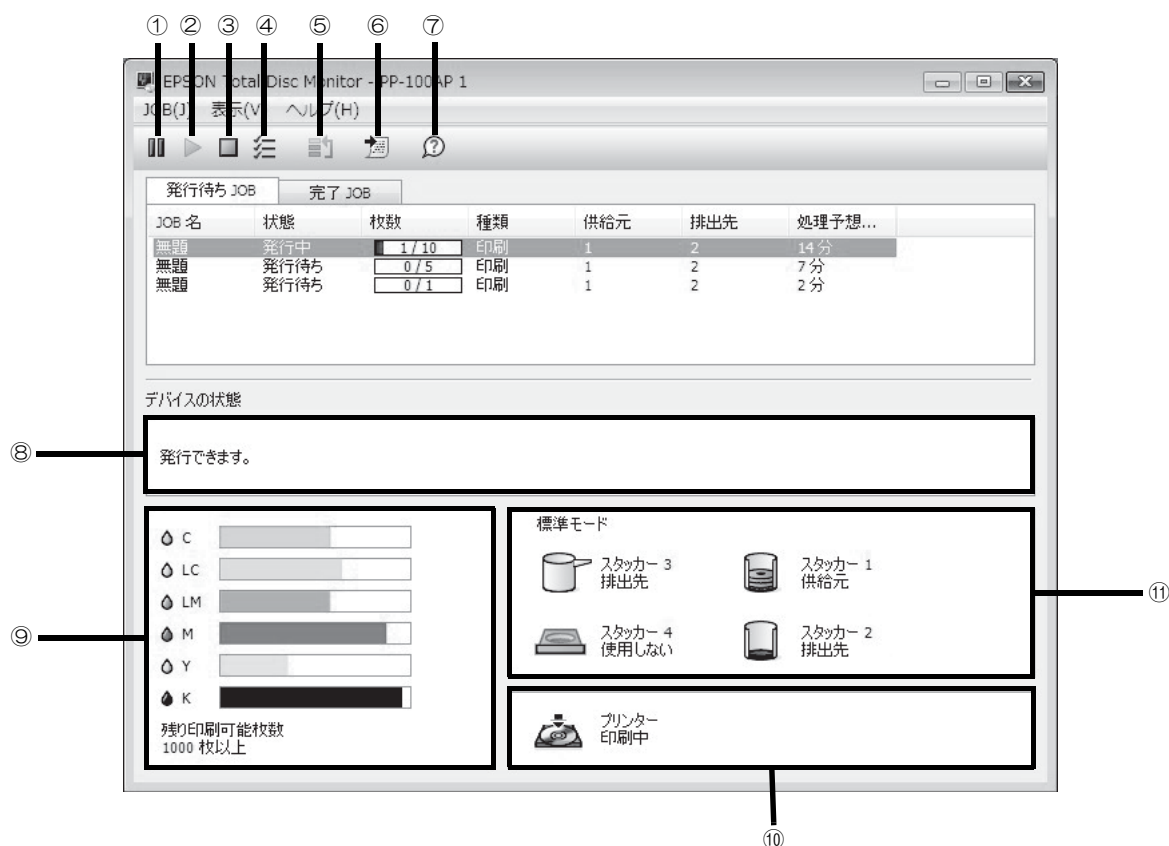
Windows XP/Windows Server 2003/Windows Server 2008 の場合

[スタート] ー [すべてのプログラム] ー [EPSON Total Disc Maker] ー [EPSON Total Disc Monitor] の順にクリックします。

参考	EPSON Total Disc Monitor は、以下の方法でも起動できます。 • EPSON Total Disc Maker/EPSON Total Disc Setup の をクリックする • EPSON Total Disc Maker/EPSON Total Disc Setupの[ツール]メニューの[Total Disc Monitor 起動] をクリックする

EPSON Total Disc Monitor の画面構成

ここでは、EPSON Total Disc Monitor の画面構成を説明します。

使い方の詳細は、EPSON Total Disc Monitor のヘルプを参照してください。

①	一時停止	選択された JOB を一時停止します。
②	再開	選択された JOB を再開します。
③	キャンセル	選択された JOB をキャンセルします。
④	すべて選択	発行された JOB をすべて選択します。
⑤	優先して発行	選択された JOB を優先的に処理します。
⑥	JOB 詳細情報	選択された完了 JOB の詳細情報が表示されます。
⑦	ヘルプ	ヘルプを表示します。
⑧	操作ガイダンス	本製品の状態やエラーの内容とメッセージが表示されます。
⑨	インクの状態	インク残量が表示されます。
⑩	プリンターの状態	プリンターの状態が表示されます。
⑪	スタッカーの状態	スタッカーの状態が表示されます。

参考

残り印刷可能枚数は、前回印刷したレーベルと同じレーベルをあと何枚印刷できるかという目安の値です。印刷データや印刷環境などの影響を受けるため、実際の値とは多少異なります。1000 枚までは「1000 枚以上」と表示され、1000 枚未満になると 10 枚単位で表示されます。

[発行待ち JOB] タブ、または [完了 JOB] タブをクリックすると、各画面に切り替わります。

[発行待ち JOB] 画面

[発行待ち JOB] 画面には、「発行待ち」、「発行中」、「一時停止中」、「一時停止処理中」、「キャンセル処理中」、「復帰待ち」、「復帰待ち処理中」の JOB の情報が表示されます。JOB を選択し、右クリックすると、[JOB の一時停止]、[JOB の再開]、[JOB のキャンセル]、および [JOB を優先して発行する] が選択できます。

[完了 JOB] 画面

[完了 JOB] 画面には、完了、およびキャンセルされた JOB の情報が表示されます。

EPSON Total Disc Monitor ヘルプの表示

EPSON Total Disc Monitor のヘルプには、EPSON Total Disc Monitor の使用方法と仕様が記載されています。

1 EPSON Total Disc Monitor を起動します。

起動方法は、本書 14 ページ「EPSON Total Disc Monitor の起動」を参照してください。

2 ツールバーの [ヘルプ] をクリックします。

参考

EPSON Total Disc Monitor のヘルプは、以下の方法でも表示できます。

- EPSON Total Disc Monitor を起動し、【F1】を押す
- EPSON Total Disc Monitor を起動し、[ヘルプ] メニューの [ヘルプ] をクリックする

プリンタードライバーの使い方

プリンタードライバー画面の表示

プリンタードライバーの画面では、プリンタードライバーの設定を変更したり、ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンスを行ったりします。
プリンタードライバー画面は、EPSON Total Disc Maker、EPSON Total Disc Setup、[スタート] メニューから表示できます。

EPSON Total Disc Maker からの表示

1 EPSON Total Disc Maker を起動します。

起動方法は、本書 7 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」を参照してください。

2 [ツール] メニューの [印刷設定] をクリックします。

プリンタードライバー画面が表示されます。

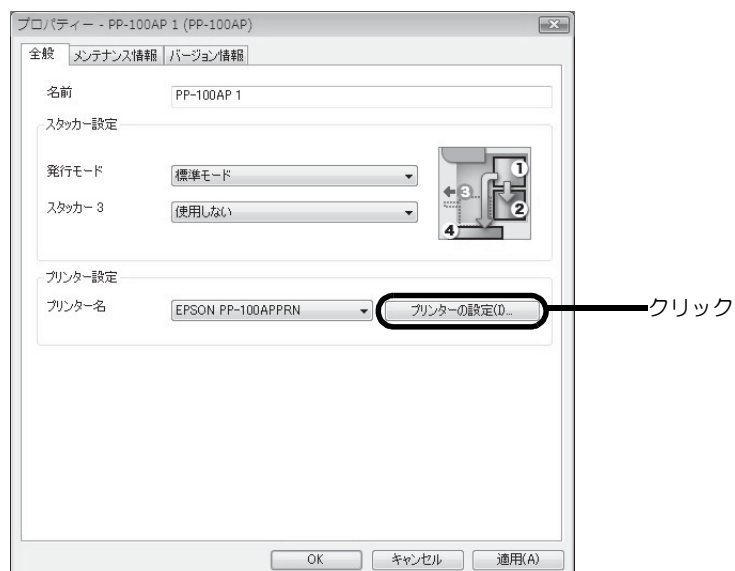
EPSON Total Disc Setup からの表示

1 EPSON Total Disc Setup を起動します。

起動方法は、本書 10 ページ「EPSON Total Disc Setup の起動」を参照してください。

2 本製品を選択し、[プロパティー] をクリックします。

参考　プロパティー画面は、[編集] メニューの [プロパティー] をクリックしても表示できます。

3 [プリンターの設定] をクリックします。

プリンタードライバー画面が表示されます。

［スタート］メニューからの表示

1 ［デバイスとプリンターの表示］（または［プリンタ］／［プリンタと FAX］）を開きます。

Windows 8/Windows Server 2012 の場合

スタート画面のタイルのないところで右クリックし、[すべてのアプリ]ー[コントロールパネル]ー[デバイスとプリンターの表示] の順にクリックします。

Windows 7 の場合

（スタート）ー [デバイスとプリンターの表示] の順にクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

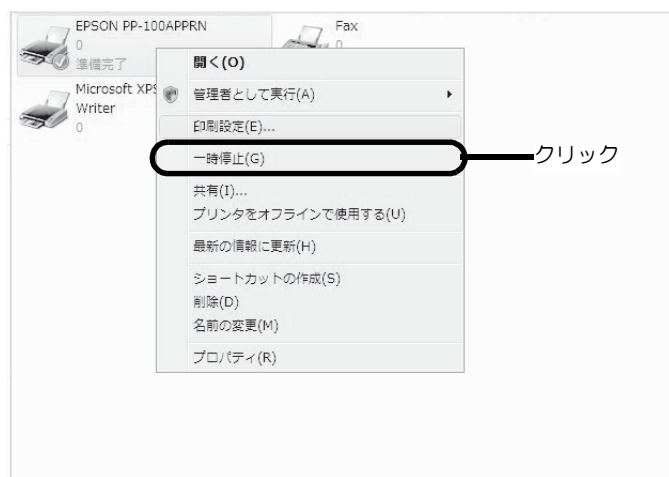
[スタート]（Windows Vista は ）ー [コントロールパネル] ー [プリンタ] の順にクリックします。

Windows XP Professional の場合

[スタート]-[プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows XP Home Edition/Windows Server 2003 の場合

[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタと FAX] の順にクリックします。

2 [PP-100APPRN] を右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

プリンタードライバー画面が表示されます。

プリンタードライバーの設定

［基本設定］画面

［基本設定］画面では、レーベル印刷の基本的な設定を行います。

EPSON Total Disc Maker から表示させた場合

設定した内容は、EPSON Total Disc Maker にのみ反映されます。EPSON Total Disc Maker を終了させると、設定は破棄されます。

プリンタードライバーの表示方法は、本書 17 ページ「EPSON Total Disc Maker からの表示」を参照してください。

EPSON Total Disc Setup または［スタート］メニューから表示させた場合

設定した内容はプリンタードライバーの設定として保存され、以降、EPSON Total Disc Maker およびその他すべてのアプリケーションの印刷設定に反映されます。

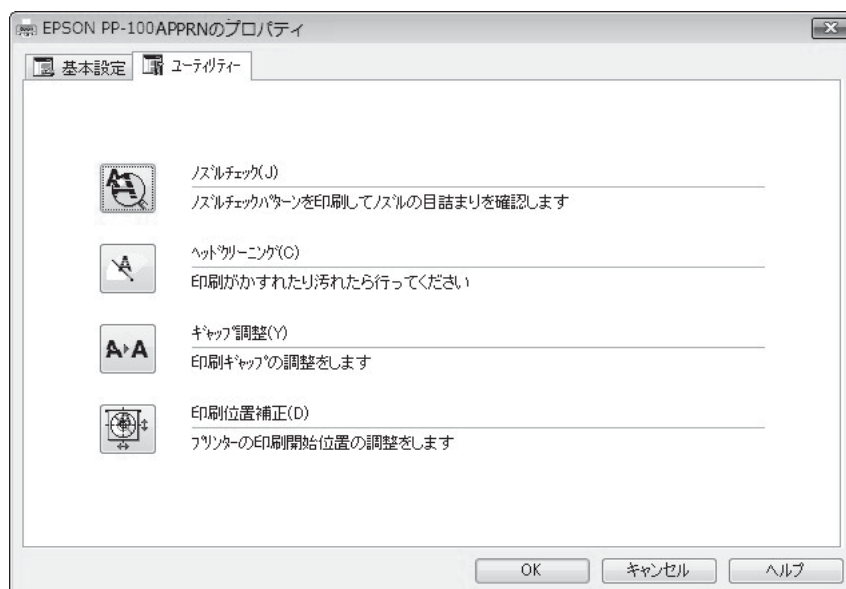
プリンタードライバーの表示方法は、本書 18 ページ「EPSON Total Disc Setup からの表示」、または本書 19 ページ「［スタート］メニューからの表示」を参照してください。

番号	項目		説明
①	供給元		レーベル印刷を行うディスクがセットされているスタッカーを選択します。
②	排出先		印刷済みのディスクを排出するスタッカーを選択します。
③	レーベル種類		印刷するディスクのレーベル種類を選択します。
④	モード設定	カラー / 黒	カラー印刷するときは [カラー] を、モノクロ印刷するときは [黒] を選択します。
		きれい / 速い	1：印刷品質を優先して印刷します。 2：印刷速度を優先して印刷します。 3：[2] に比べて、さらに印刷速度を優先して印刷します。
		双方向印刷	チェックするとプリントヘッドが左右どちらに動くときも印刷するため、印刷速度が速くなります。 チェックを外すと単方向印刷になり、印刷品質が向上します。ただし、印刷速度は遅くなります。
		色設定	クリックすると [色設定] 画面が表示されます（本書 66 ページ「印刷の色を調整する」参照）。印刷の色合いを設定します。
⑤	レーベルサイズ		市販のソフトウェアから印刷する場合のレーベルサイズを以下から選択します。 • 標準タイプ：外径 116.0mm、内径 45.0mm • ワイドタイプ：外径 116.0mm、内径 25.5mm • ユーザー定義レーベルサイズ：任意のサイズを設定
⑥	枚数		印刷する枚数を指定します。（0 ～ 1000）
⑦	インク残量		インクカートリッジ内のインクの残量が目安として表示されます。
⑧	インク乾燥時間		レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させる時間を設定します。
⑨	印刷プレビュー		チェックすると、市販のソフトウェアから印刷する場合に、印刷前に印刷結果のイメージを画面で確認できます。

注意

- EPSON認定CDのマットディスクに印刷するときは、[レーベル種類]で[CD/DVDレーベル]を選択してください。
- EPSON認定DVDのマットディスクに印刷するときは、[レーベル種類]で[高画質対応CD/DVDレーベル]を選択してください。
- [レーベル種類]で[EPSON認定CD/DVDレーベル]を選択すると、[きれい/速い]は[1]に設定されます。

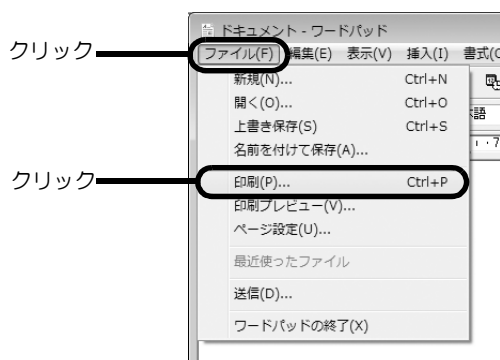
[ユーティリティー] 画面

[ユーティリティー] 画面では、印刷品質を保つための各種メンテナンス機能の実行と、プリンタードライバーの動作に関する設定ができます。

ノズルチェック	プリントヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。印刷されたパターンを確認することで、プリントヘッドが目詰まりしていないかを確認できます。 操作手順は、本書 73 ページ「ノズルチェック」を参照してください。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドを清掃します。プリントヘッドが目詰まりしているときに実行します。 操作手順は、本書 75 ページ「ヘッドクリーニングの操作手順」を参照してください。
ギャップ調整	双方向印刷で、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になったりするときに、ギャップ（ズレ）を調整します。 操作手順は、本書 76 ページ「ギャップ調整」を参照してください。
印刷位置補正	上下左右方向の印刷位置を補正できます。ディスクの印刷結果を確認し、印刷位置がずれているときに実行します。 操作手順は、本書 78 ページ「印刷位置補正」を参照してください。

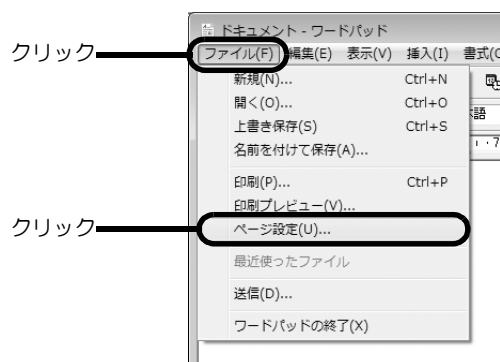
プリンタードライバーの基本的な使い方

市販のソフトウェアからレーベル印刷を行うときは、使用するプリンタードライバーと、印刷する用紙サイズを設定します。
ここでは、Windows に標準添付のワードパッドでデータを作成し、レーベル印刷する方法を説明します。

1 ワードパッドを起動します。

2 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

3 使用するプリンターとして [EPSON PP-100APPRN] を選択し、[適用] をクリックします。

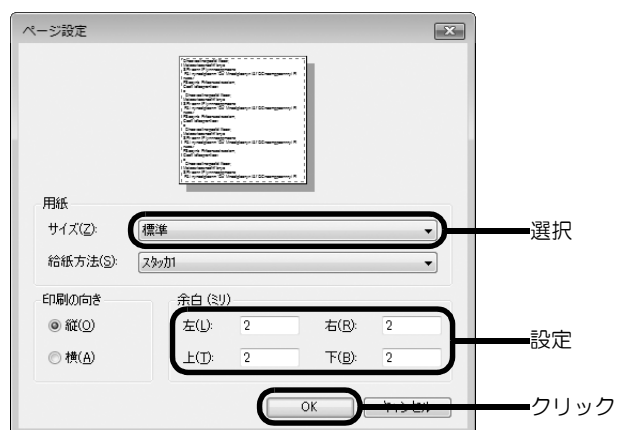
4 [キャンセル] をクリックして [印刷] 画面を閉じます。

5 [ファイル] メニューの [ページ設定] をクリックします。

6 ［サイズ］と［余白］を以下の通りに設定し、[OK] をクリックします。

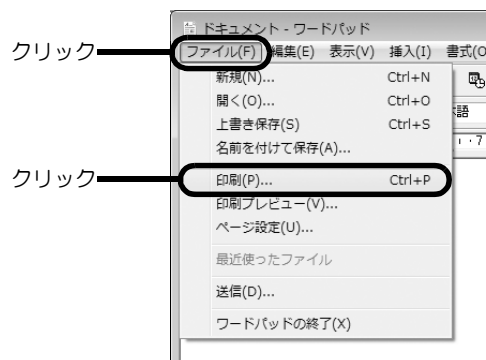
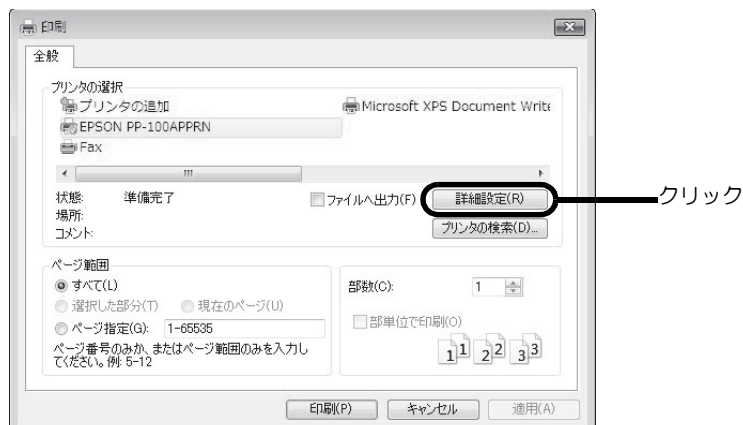
［サイズ］の設定：

標準	［幅］と［高さ］が 124×124mm に設定されます。
ワイドタイプ	［幅］と［高さ］が 124×124mm に設定されます。
ユーザー定義サイズ	［幅］と［高さ］を任意の数値に設定します。

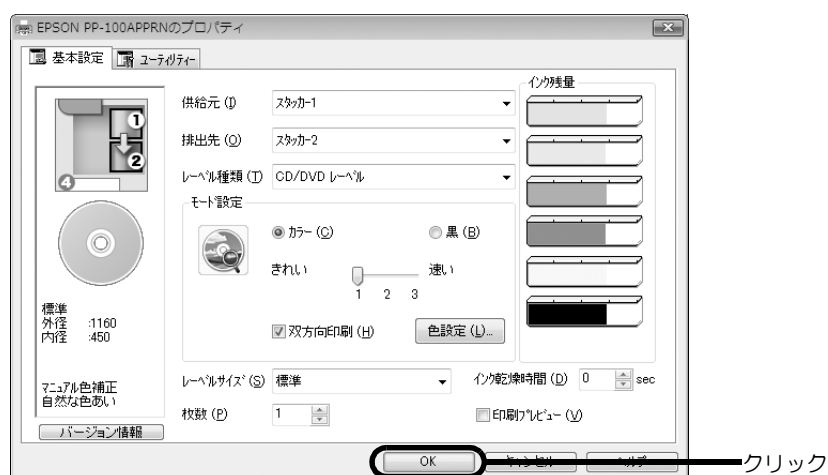
［余白］の設定：
［左］、［右］、［上］、［下］を各 2mm に設定します。

参考

EPSON Total Disc Maker 以外のソフトウェアで印刷するときは、以下の設定で印刷データを作成してください。
用紙サイズ：124×124mm
上下左右の余白：2mm

7 印刷するデータを作成します。

8 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

9 ［詳細設定］をクリックします。

プリンタードライバー画面が表示されます。

10 プリンタードライバーを設定し、［OK］をクリックします。

プリンタードライバーの設定の詳細は、本書 20 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください。

11 ［印刷］をクリックします。

印刷が開始されます。

プリンタードライバーのヘルプ表示

ここでは、プリンタードライバーのヘルプの表示方法を説明します。

EPSON プリンタードライバーヘルプの表示方法

[ヘルプ] をクリックします。

各項目の説明の表示方法

各項目の説明を表示する場合は、知りたい項目上で右クリックし、[Help] をクリックします。

ディスクの作成～基本編～

使用できるディスクの種類

印刷できるディスクの種類は、レーベル面がインクジェット方式カラープリンターでの印刷に対応している*12cmサイズのCD/DVD/BD ディスクです。

* ディスクの取扱説明書などに、「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンター対応」などと表記されているもの

注意

- 本製品に対応するディスクは、インクジェットプリンター用ディスクです。熱転写プリンター用ディスクには、対応していません。
- EPSON 認定ディスク以外の光沢ディスクには、対応していません。
- 80mm サイズのディスクには対応していません。
- レンズクリーナー、レーベルシールやラベルシールを貼り付けたディスク、結露した状態のディスクは使用しないでください。誤作動や故障の原因になります。
- ひび割れや変形補修したディスクは使用しないでください。製品内部で飛び散り、故障や、ディスク取り出し時のけがの原因となるおそれがあります。
- ディスクによっては、印刷直後にディスクを重ねるとインクが記録面に付着する場合があります。不要なディスクを使用して試し印刷を行い、印刷品質を確認することをお勧めします。色合いについては 24 時間以上経過した後の状態を確認してください。
- ディスクによっては、印刷位置がずれる場合があります。ギャップ調整、および印刷位置補正を行ってください。ギャップ調整および印刷位置補正の詳細は、本書 22 ページ「[ユーティリティー] 画面」を参照してください。
- スタックリング（同心円状の突起形状）が小さいディスクを使用すると、印刷前後でディスク同士が貼り付く可能性があります。
- 同一製品のディスクに同じデータを印刷しても、各ディスクの個体差（ばらつき）により、印刷結果が同じにならない場合があります。

参考

ディスクの品質が印刷品質に影響することがあります。EPSON 認定ディスクのご使用をお勧めします。EPSON 認定ディスクの詳細は、本書 117 ページ「EPSON 認定ディスク」を参照してください。

ディスクの取り扱い

使用上の注意

注意

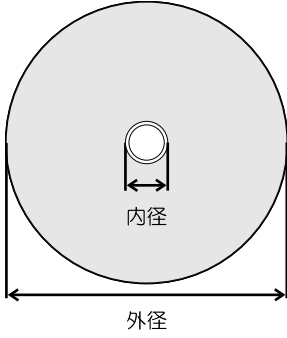
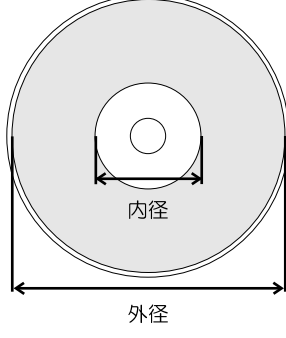
- ディスクを持つときは、記録面を触らないようにしてください。
- レーベル面および記録面に指紋、汚れ、ホコリ、水滴、キズなどが付かないよう、大切にお取り扱いください。付着したホコリ、汚れ等は柔らかい乾いた布や市販の CD クリーナーで軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、および静電防止剤は使用しないでください。
- ディスクを落下させたり、衝撃を与えないでください。
- クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。
- 粘着性のあるシールを貼らないでください。書き込み、印刷、および再生ができなくなる可能性があります。
- ゴミやホコリの多いところでは、使用しないでください。
- ディスクを積み重ねた状態で放置すると、ディスク同士が貼り付く場合があります。
- 印刷直後に印刷面に直接手で触れたり、水滴が付くと、にじむ場合があります。
- 印刷後は、印刷面を十分に乾かしてください。ただし、ドライヤー等を使用せず、自然乾燥させてください。
- 文字の書き込みは印刷面にのみ可能です。その場合は、フェルトペン等の先の柔らかい筆記具を使用し、ボールペンや鉛筆等の先の固い筆記具は使用しないでください。また、一度記入した文字は消さないでください。

保管時の注意

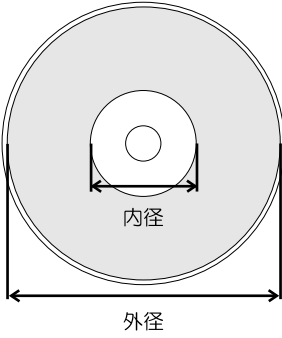
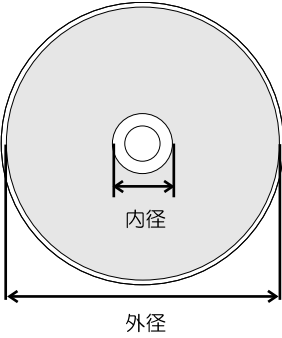
注意

- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、高温多湿となる場所には置かないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露する場合があります。
- 上に物を置かないでください。
- 保管の際は、ディスクケースに入れ、印刷面にフィルムやカードなどが接触しないようにご注意ください。印刷面にキズが付く場合があります。
- 軟質系ケースおよび袋等、印刷面に直接触れるものに保管しないでください。ディスクが貼り付いたり、色のむらや変色が起こる場合があります。
- 印刷面の一部だけを覆った状態で保管しないでください。色のむらや変色が起こる場合があります。

参考

その他のディスクの取り扱い方法や注意事項については、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

印刷可能領域

印刷可能領域とは、レーベル面の印刷できる領域です。

印刷可能領域と印刷推奨領域は、下表の通りです。下図のグレーの領域に印刷されます。

注意

- 印刷推奨領域外に印刷すると、ディスクやトレイが汚れたり、印刷のはがれ / 乱れが発生したり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。
- 使用するディスクのレーベル印刷範囲（受容層）外に印刷をした場合、印刷範囲外のインクは定着しません。使用するディスクのレーベル印刷範囲を確認して設定してください。

印刷可能領域		印刷推奨領域	
内径 / 外径		内径 / 外径	
内径	外径	内径	外径
18.0mm	119.4mm	45.0mm	116.0mm

印刷領域の設定

印刷領域は、EPSON Total Disc Maker の [内径・外径の設定]、またはプリンタードライバー画面の [レーベルサイズ] で設定します。[標準]、[ワイドタイプ] から選択するか、任意のサイズ(ユーザー定義サイズ)を設定できます。

[標準] と [ワイドタイプ] の印刷領域は、下表の通りです。下図のグレーの領域に印刷されます。

標準		ワイドタイプ	
内径	外径	内径	外径
45.0mm	116.0mm	25.5mm	116.0mm

注意

- 設定した印刷領域が、使用するディスクの印刷領域を超えていないか確認して印刷してください。
- 記録面にあるスタックリング（同心円状の突起形状）部分に印刷すると、発色が均一にならない可能性があります。
- 記録面にあるスタックリング（同心円状の突起形状）部分に印刷すると、印刷後にインクが付着したり、はがれたり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。

参考

- ユーザー定義サイズの設定方法は、本書 62 ページ「定形外レーベルサイズのディスクに印刷する」を参照してください。
- EPSON Total Disc Maker 以外のソフトウェアでレーベルを印刷するときは、以下の設定で印刷データを作成してください。
  ＊ 用紙サイズ：124×124mm
  ＊ 上下左右の余白：2mm

ディスク作成の流れ

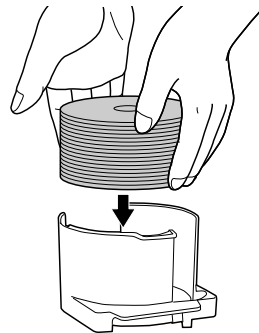
ディスクのセット

ディスクをスタッカーに入れ、スタッカーをセットする方法を説明します。

注意	ディスクは、スタッカーにセットします。プリンターにセットしないでください。

1 ディスク同士が貼り付いている場合があるため、よくばらします。

注意
- ディスクにキズが付かないように十分注意してください。
- スタッカーにセットして長時間が経過すると、ばらしたディスクが再度貼り付く可能性があります。スタッカーにセットして長時間が経過した場合は、ディスクを再度ばらしてください。

2 供給元スタッカーを取り出し、ディスクをセットします。

供給元として使用するスタッカーは、発行モードによって異なります。下表で、供給元スタッカーを確認してください。

発行モード	供給元	ディスク枚数
標準モード	スタッカー1	約50枚まで
外部排出モード （スタッカー1とスタッカー2で、異なる種類のディスクをセット可）	スタッカー1	約50枚まで
	スタッカー2	約50枚まで
バッチ処理モード	スタッカー1	約50枚まで
	スタッカー2	約50枚まで

注意
- スタッカーの点線を超えてディスクをセットしないでください。本製品が故障したり、ディスクが破損したりするおそれがあります。
- スタッカーの底が汚れていないことを確認し、ディスクをセットしてください。
- 同一スタッカー内にCD/DVDとBDを混在させないでください。ディスクのピックエラーが起こりやすくなります。
- スタッカー3を使用する場合、ロックレバーを[LOCK]にし、スタッカー4を引き出さないでください。
- 排出先をスタッカー4に設定している場合、スタッカー3を取り外し、ロックレバーを[UNLOCK]にしてください。

3 スタッカーを取り付け、ディスクカバーを閉めます。

レーベルの作成

EPSON Total Disc Maker のレーベルビューで、レーベルのデザインを作成します。レーベルビューでは、印刷結果のイメージを確認しながら、レーベルを編集できます。

EPSON Total Disc Maker については、本書 7 ページ「EPSON Total Disc Maker」を参照してください。

参考 その他のソフトウェアで作成したデータを印刷する場合は、本書 23 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。

テンプレートの選択

EPSON Total Disc Maker には豊富な種類のテンプレートが用意されています。テンプレートを使用すると、デザイン性の高いレーベルが簡単な操作で作成できます。

[テンプレート] 画面では、テンプレートを書き込むデータの種類によって、[データ]、[写真]、[音楽・ビデオ] から選択できます。

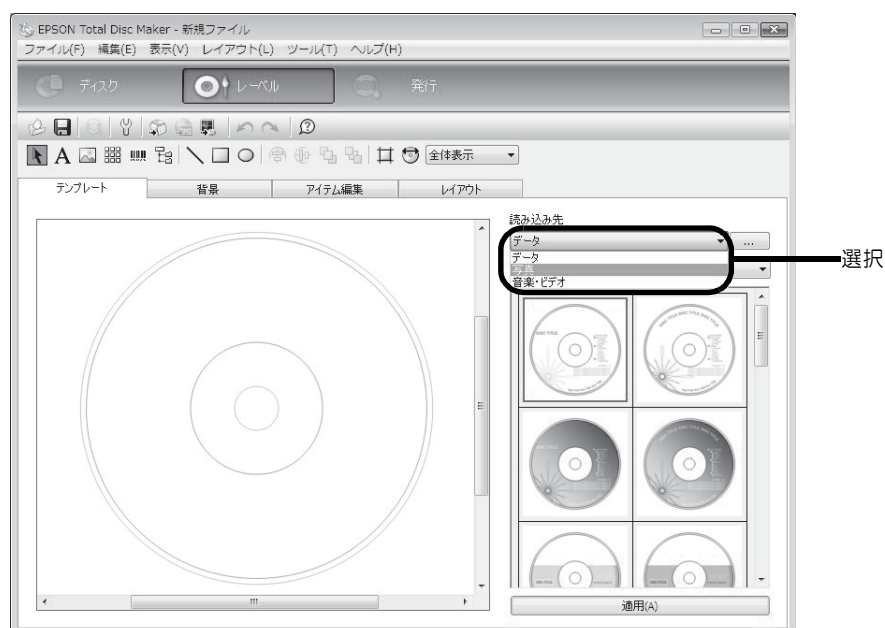
参考 作成したレーベルをテンプレートとして保存（[ファイル] メニュー -[テンプレートとして保存]）しておくと、そのテンプレートを選択することもできます。

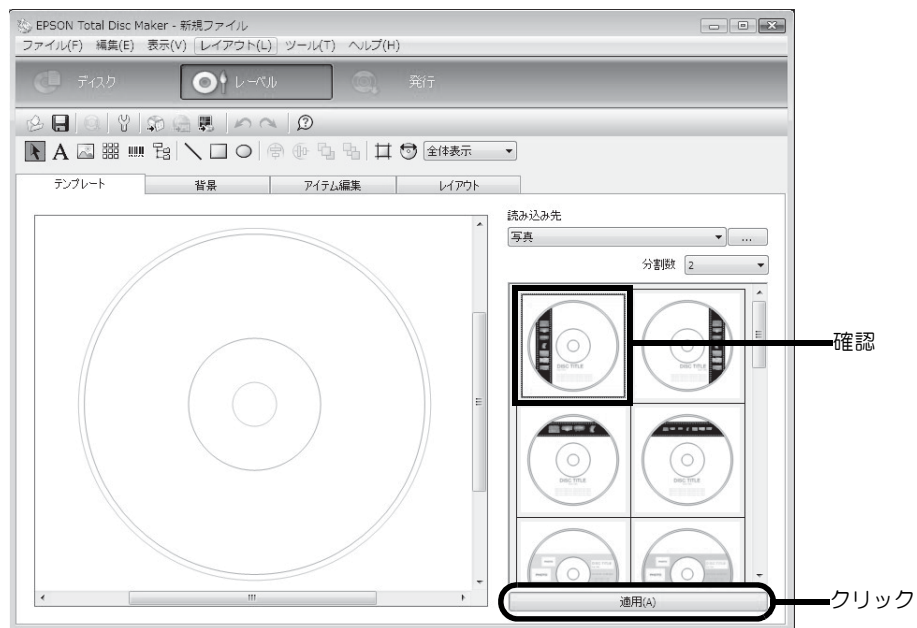
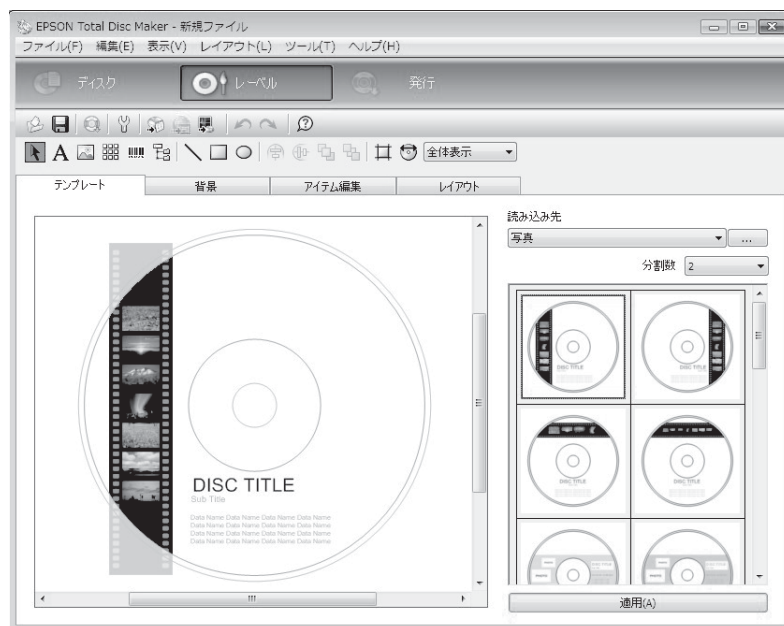
ここでは例として、写真用のテンプレートを使用します。

1 EPSON Total Disc Maker を起動します。

起動方法は、本書 7 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」を参照してください。
レーベルビューが表示されます。

2 [読み込み先]を選択します。作成したテンプレートを使用する場合は、[...]をクリックし、テンプレートが保存されているフォルダーを指定します。

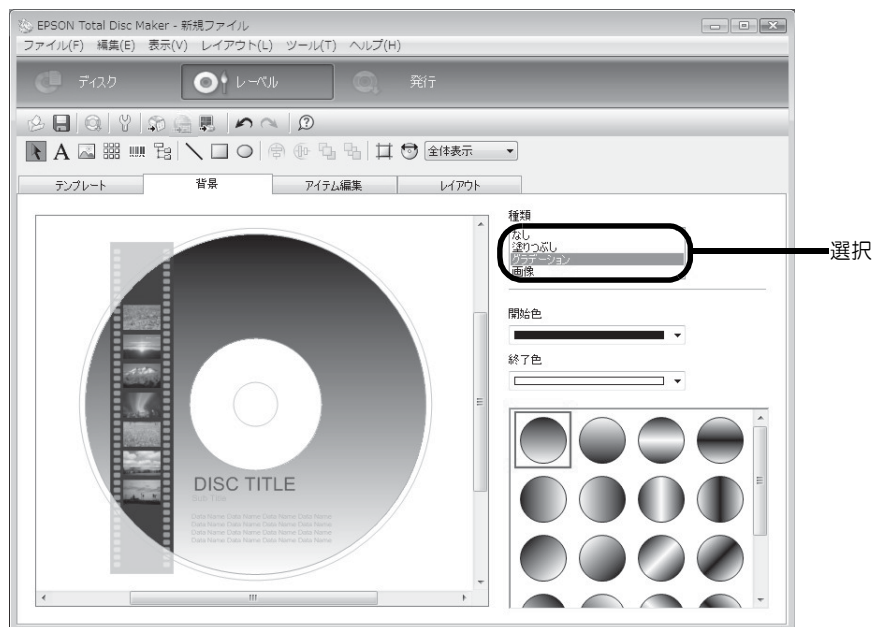
ここでは例として、[写真] を選択します。

3 使用するテンプレートを選択し、[適用] をクリックします。

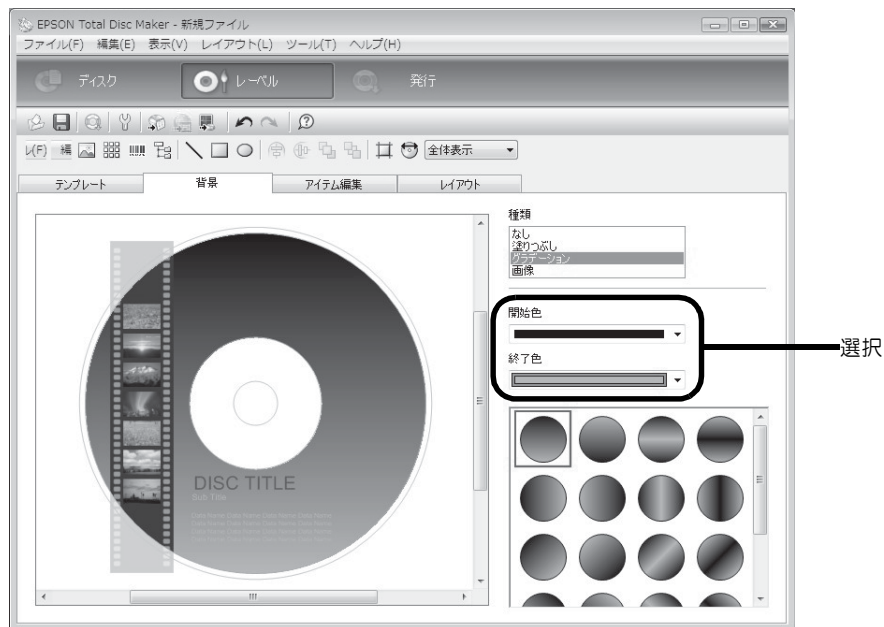
ここでは例として、画面左上の画像を使用します。
サムネイル画面左上の画像が選択されていることを確認し、[適用] をクリックしてください。

テンプレートの印刷イメージが表示されます。

必要に応じ、背景の選択（本書 34 ページ参照）、アイテムの編集（本書 35 ページ参照）、レイアウトの調整（本書 41 ページ参照）を行ってください。

背景の選択

[背景] 画面では、背景の色とグラデーションを選択できます。好きな画像を背景として挿入することもできます。

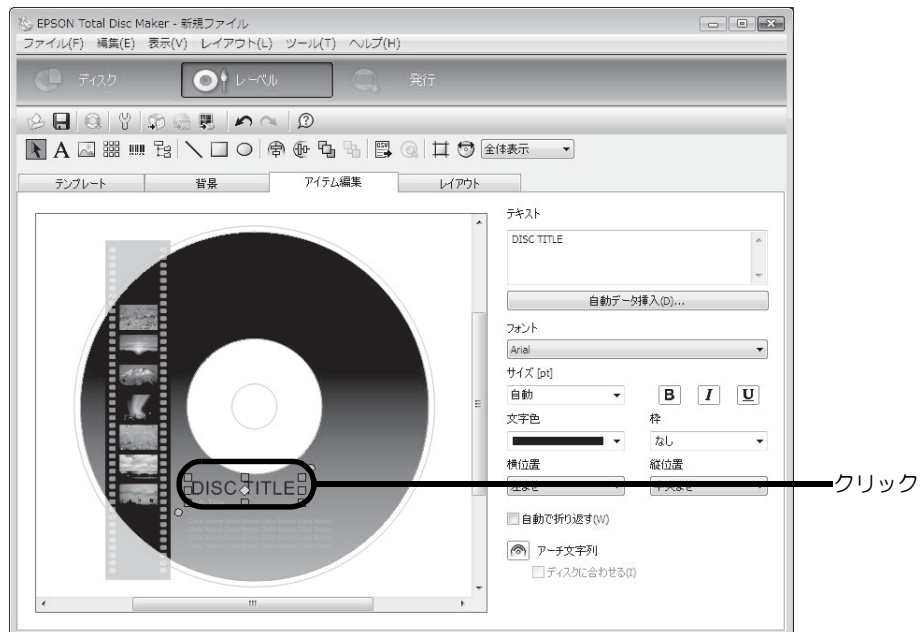
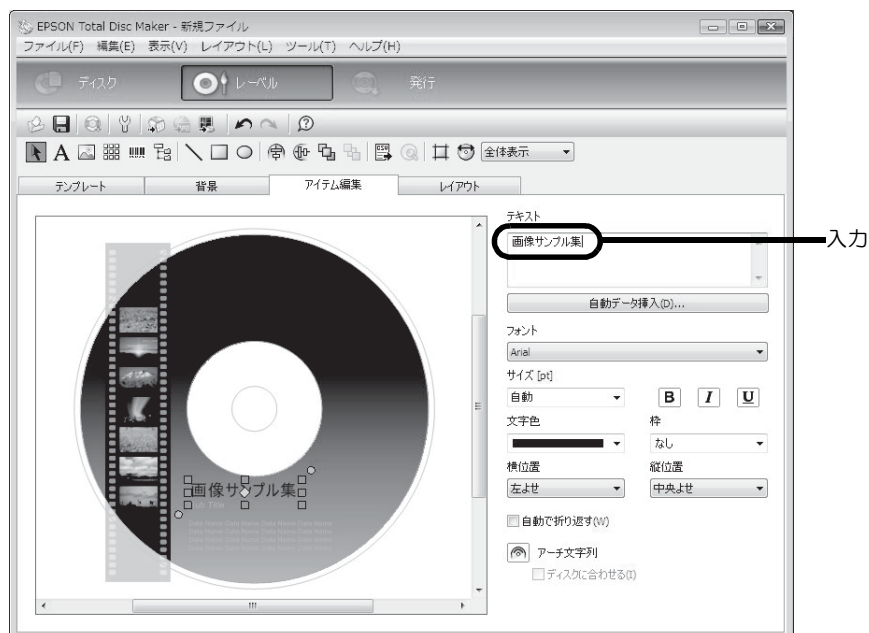
1 [種類] を選択します。

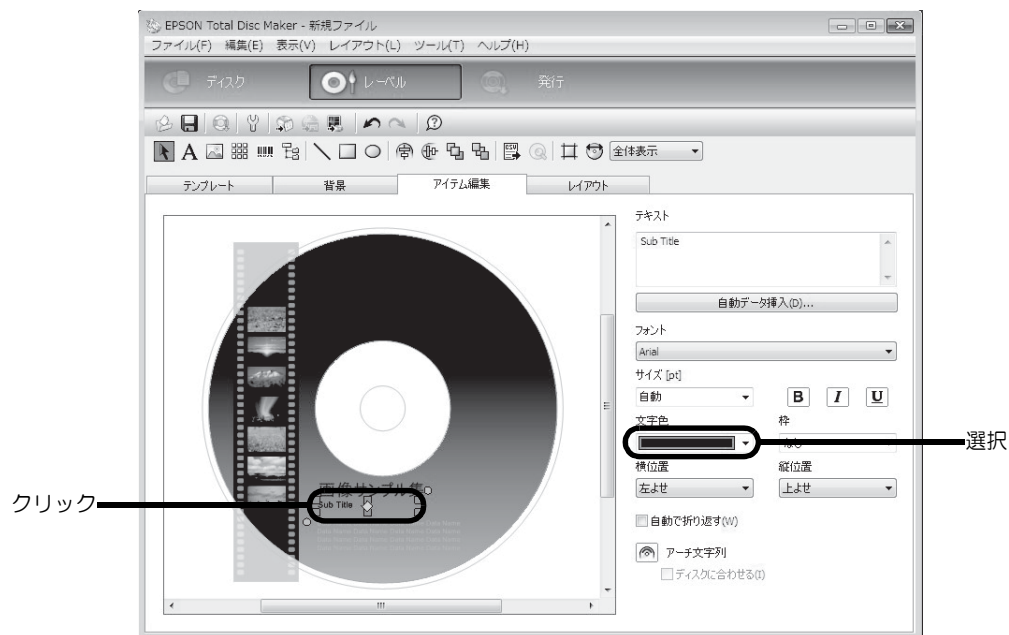
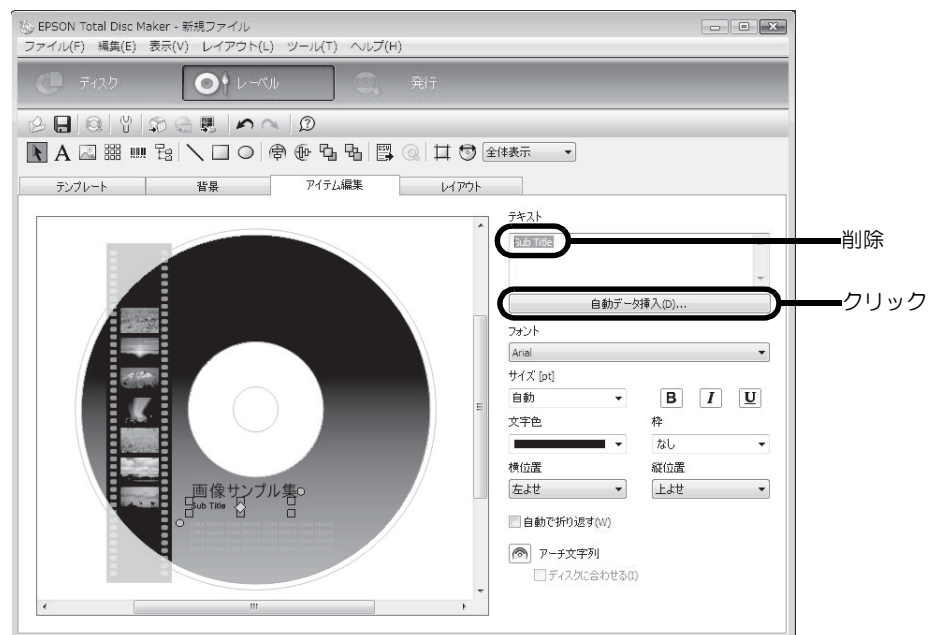
ここでは例として、[グラデーション] を選択します。

2 [開始色]、[終了色]、グラデーションのタイプを選択します。

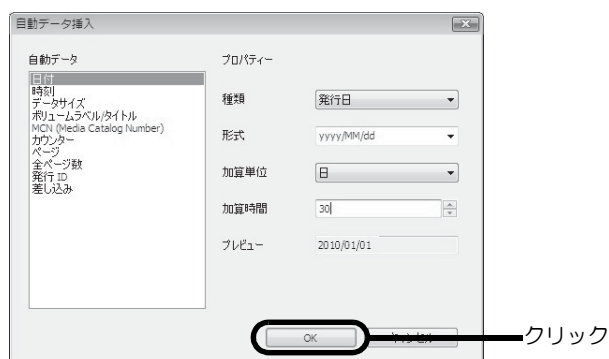
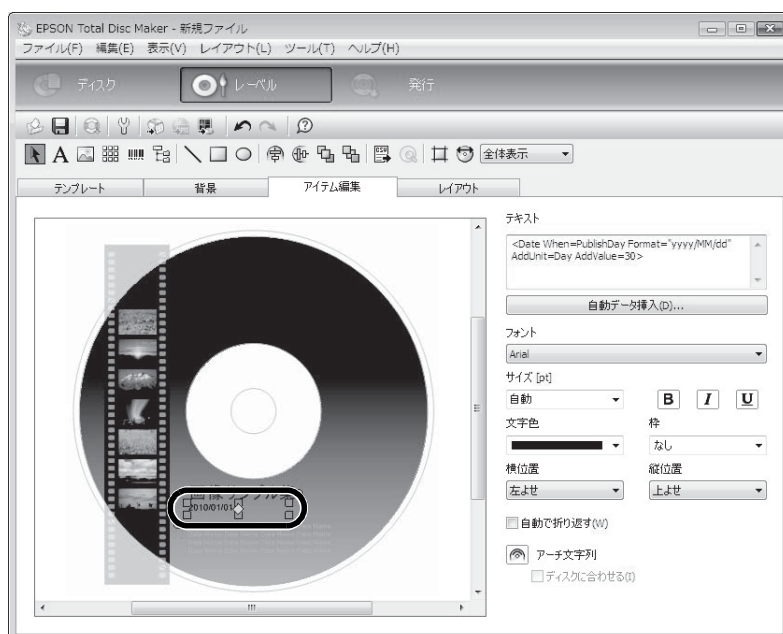
ここでは例として、[開始色] に黒、[終了色] に灰色を選択します。

アイテムの編集

[アイテム編集] 画面では、テキスト、画像、サムネイル、バーコード、フォルダーツリー、図形などのアイテムを挿入、編集できます。
ここでは例として、テキストの編集、アイテムの削除、サムネイルとバーコードの挿入を行います。

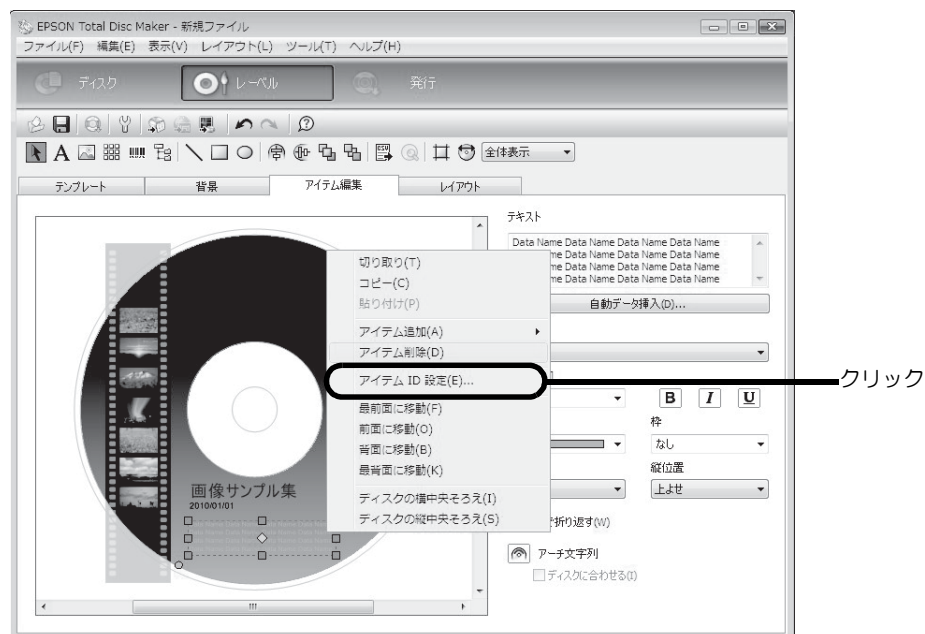
テキストの編集

1 編集エリア内の [DISC TITLE] をクリックします。

2 [テキスト] に配置したい文字を入力します。
ここでは例として、[画像サンプル集] と入力します。

3 編集エリア内の [Sub Title] をクリックし、文字の設定を行います。

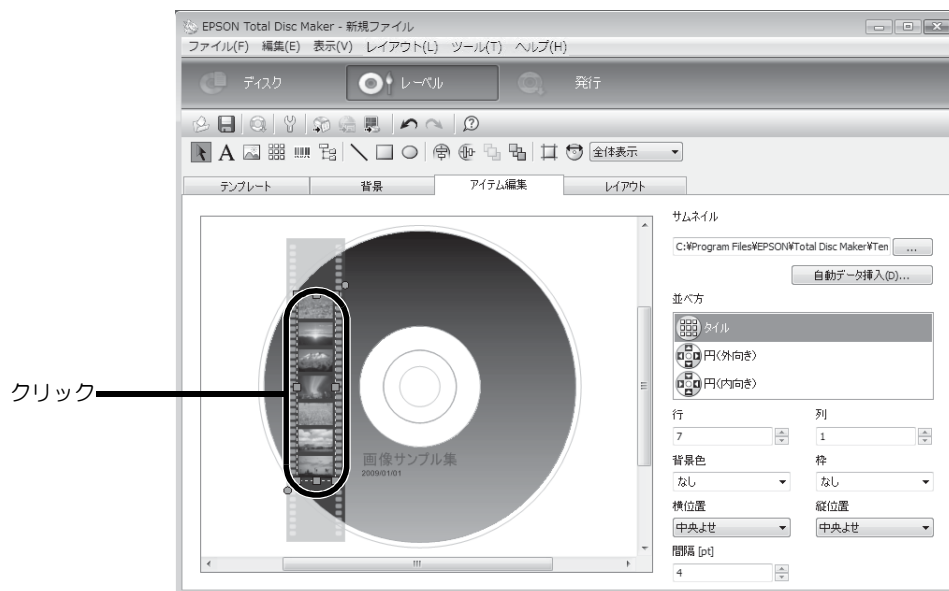
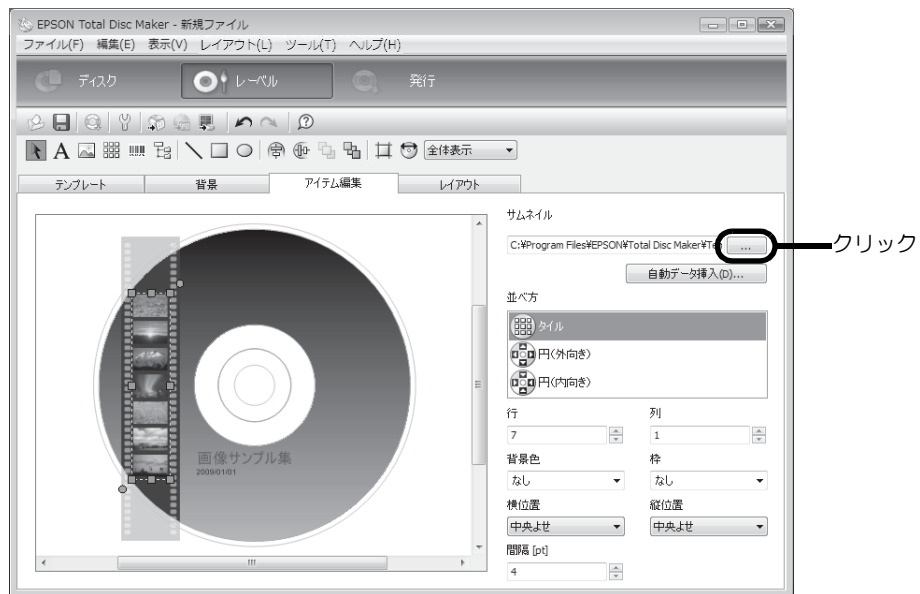
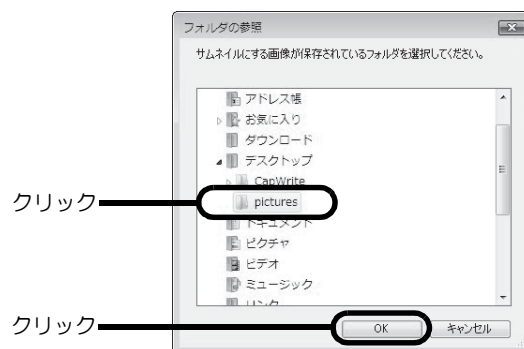
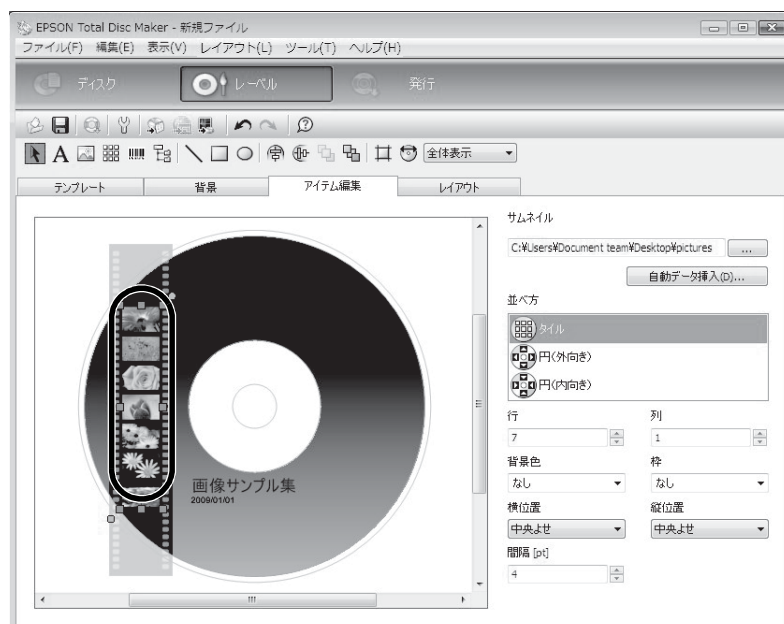
ここでは例として、[文字色] に黒を選択します。

4 [テキスト] の「Sub Title」を削除し、[自動データ挿入] をクリックします。

5 自動データとプロパティーを設定し、[OK] をクリックします。

ここでは例として、[日付] を選択し、「2010/01/01」となるように [加算単位] を [日]、[加算時間] を [30] に設定します。（2009/12/2 に発行する場合）

日付が表示されます。

アイテムの削除

編集エリア内の削除したいアイテムを右クリックし、[アイテム削除] を選択します。

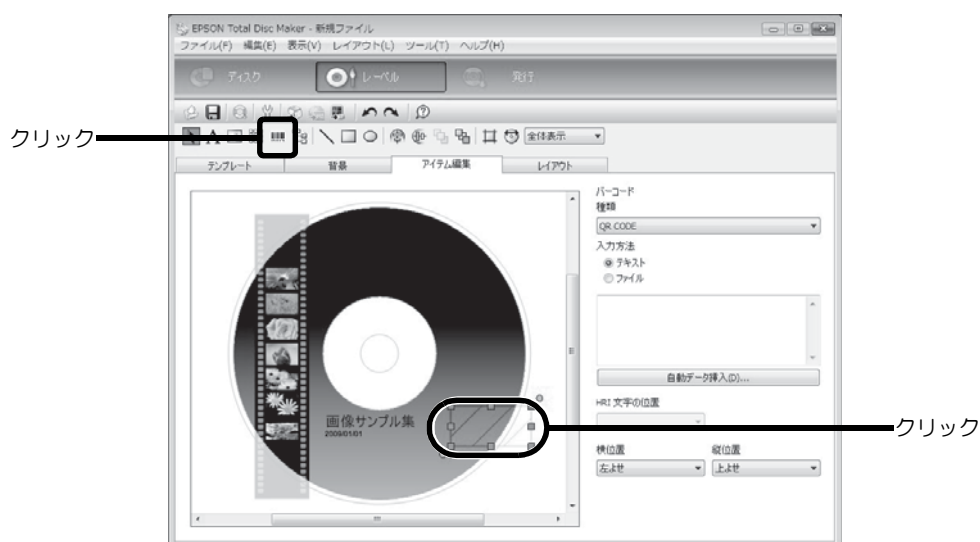
ここでは例として、[Data Name] を削除します。

アイテムが削除されます。

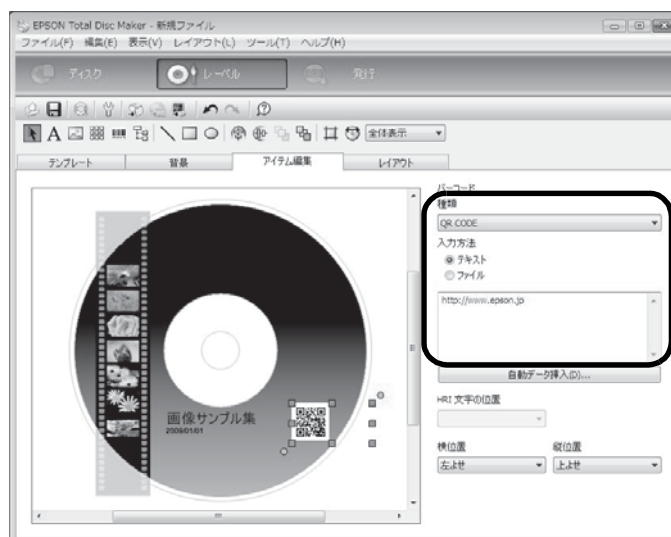
サムネイルの挿入

1 編集エリア内のサムネイルをクリックします。

2 ...をクリックします。

3 サムネイルとして挿入したい画像が保存されているフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

画像データのサムネイルが表示されます。

バーコードの挿入

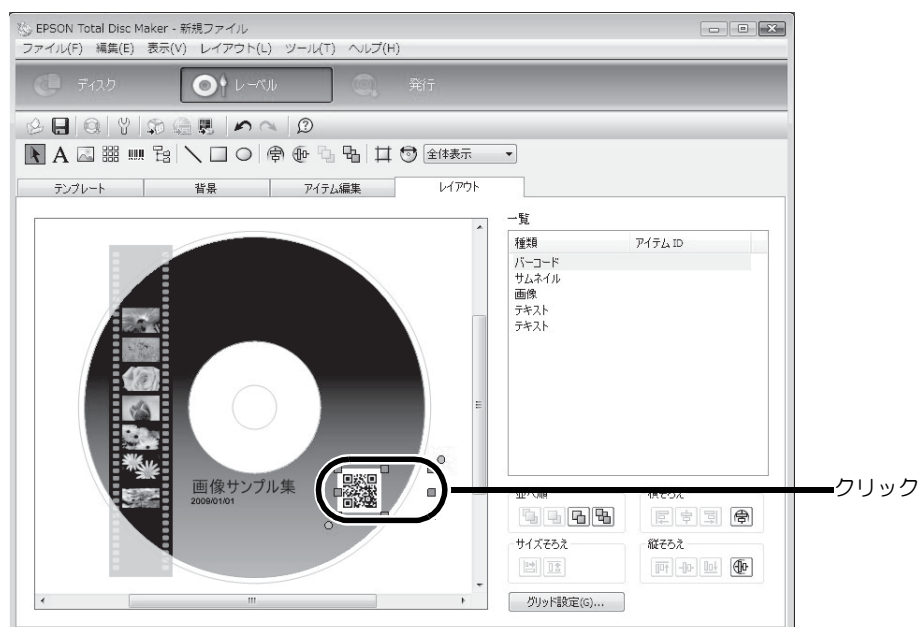
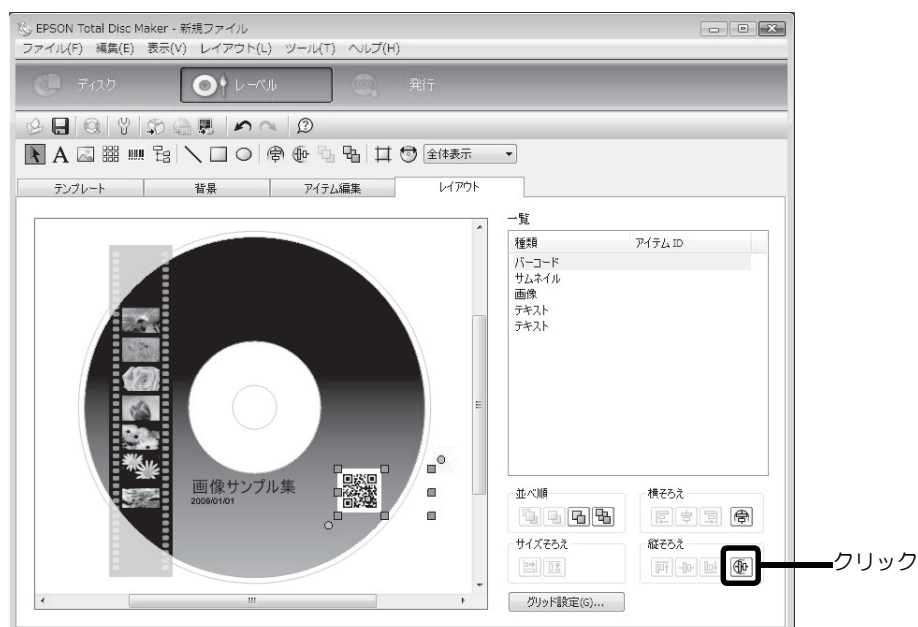
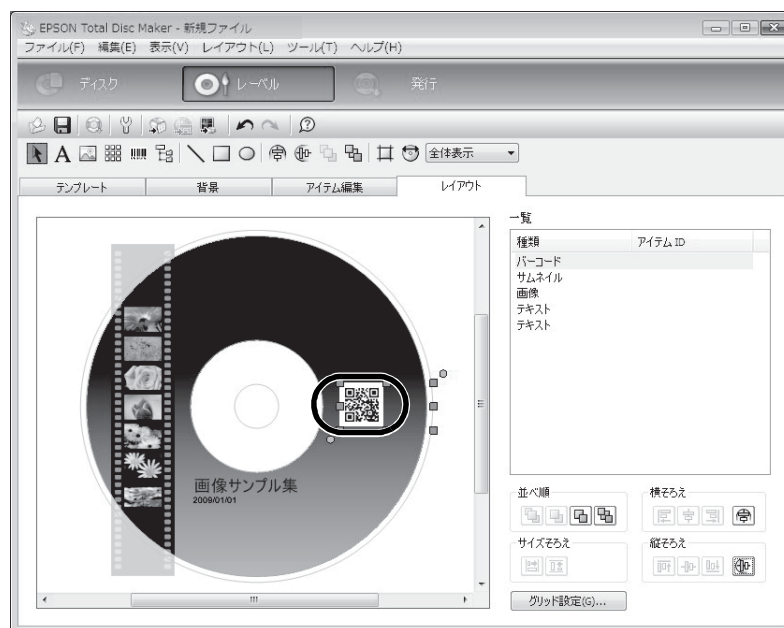
注意

- バーコード、2 次元コードを印刷する場合は、必ずエプソン純正のインクカートリッジをご使用ください。
- EPSON 認定ディスク以外のディスクを使用してバーコード、2 次元コードを印刷する場合は、印刷したバーコード、2 次元コードがスキャナーで正しく読み取れるかを確認してください。
- バーコード、2 次元コードの上に他の印刷データを重ねたり、バーコード、2 次元コードが印刷領域からはみ出すような配置をしないでください。
- バーコード、2 次元コードは、黒と白の比率で情報を表します。ディスクの印刷面へのインクの浸透具合によって黒と白の比率が大幅に崩れると、正常にバーコード、2 次元コードを読み込むことができなくなります。印刷したバーコード、2 次元コードがスキャナーで正しく読み取れるかを確認してください。
- 双方向印刷で印刷したバーコードが正しく読み取れない場合は、ギャップ調整（本書 76 ページ参照）を行ってから印刷するか、または単方向印刷で印刷してください。

1 [バーコード] をクリックし、バーコードを配置したい場所をクリックします。

2 [種類] と [入力方法] を選択します。

ここでは例として、[QR CODE] を選択し、テキストを入力します。
バーコードが表示されます。

レイアウトの調整

［レイアウト］画面では、挿入したアイテムのレイアウトを微調整します。

1 レイアウトを調整するアイテムをクリックします。
ここでは例として、バーコードを選択します。

2 ［ディスクの縦中央そろえ］をクリックします。

バーコードがディスクの縦中央位置に表示されます。

レーベル作成の設定が終了したら、ディスクを発行します。

ディスクの発行

> **注意**
> 本製品を初めて使用する場合、長期保管後に使用する場合、およびエラー発生後に使用する場合は、まれにドット抜けやインク汚れが発生し、印刷品質が低下する可能性があります。複数枚のディスクを発行するときは、あらかじめ 1 枚発行し、ドット抜けが発生していないか確認してください。ドット抜けが発生した場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングの詳細は、本書 74 ページ「ヘッドクリーニング」を参照してください。

1 [発行] をクリックします。

発行ビューが表示されます。

2 [レーベルを印刷する] がチェックされていることを確認します。

3 必要に応じて、[出力機器]、[供給元]、[排出先]、[レーベル種類]、[印刷モード設定]、[枚数] を設定します。

> **注意**
> - EPSON 認定 CD のマットディスクに印刷するときは、[レーベル種類] で [CD/DVD レーベル] を選択してください。
> - EPSON 認定 DVD のマットディスクに印刷するときは、[レーベル種類] で [高画質対応 CD/DVD レーベル] を選択してください。
> - [レーベル種類] で [EPSON 認定 CD/DVD レーベル] を選択すると、[印刷モード設定] は [1] に設定されます。

4 スタッカーにディスクがセットされていることを確認します。

詳細は、本書 31 ページ「ディスクのセット」を参照してください。

5 ［発行］をクリックします。

EPSON Total Disc Monitor が起動し、発行処理が開始されます。

注意

- JOB 実行中に Windows をシャットダウンした場合は、次回起動時に JOB が再開されることがあります。
- JOB 実行中は、インクカートリッジカバーおよびメンテナンスボックスカバーを開けないでください。

6 JOB が完了したら、作成済みディスクを取り出します。

詳細は、本書 45 ページ「ディスクの取り出し」を参照してください。

ディスクの取り出し

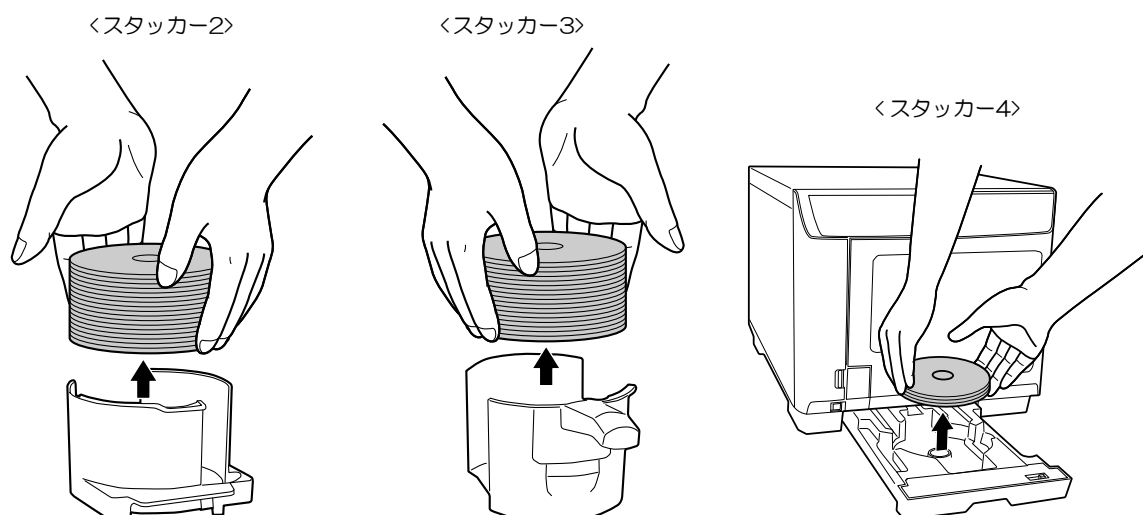
作成済みディスクを取り出す方法を説明します。

1 ディスクカバーを開け（排出先がスタッカー２または３の場合のみ）、スタッカーを取り出します。

ディスクカバーを開ける際の注意事項は、「スタートアップガイド」の「ディスクカバーの開け方」を参照してください。

2 スタッカーから作成済みディスクを取り出します。

排出先として使用するスタッカーは、設定した発行モードによって異なります。下表で排出先スタッカーを確認してください。

発行モード	排出先	ディスク枚数
標準モードで排出先をスタッカー2に設定した場合	スタッカー2	約50枚まで
標準モードまたは外部排出モードで排出先をスタッカー3に設定した場合	スタッカー3	約50枚まで
標準モードまたは外部排出モードで排出先をスタッカー4に設定した場合	スタッカー4	約5枚まで
バッチ処理モード	スタッカー2	約50枚まで
	スタッカー3	約50枚まで

3 スタッカーを取り付け、ディスクカバーを閉めます。

> **注意**
> - レーベル面を印刷後は、EPSON認定ディスクは1時間以上、その他のディスクは24時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは、ドライブなどの機器にセットしないでください。
> - 直射日光を避けて乾燥させてください。
> - 印刷前後にレーベル面に直接手で触れたり、水滴が付いたりすると、にじみや貼り付きの原因となる場合があります。

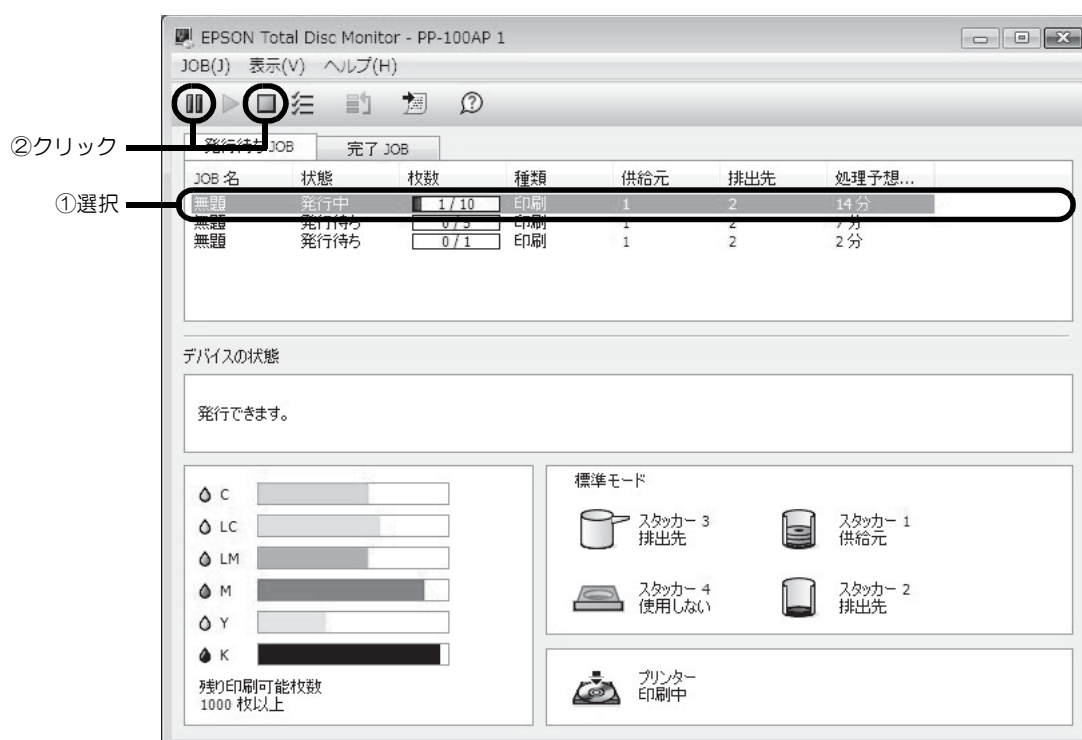
> **参考**
> 排出先スタッカーがフル（一杯）になると、JOB の処理は一時停止します。作成済みディスクをスタッカーから取り出すと、JOBの処理は自動的に再開します。

JOB の一時停止とキャンセル

発行後、JOB の処理を一時停止、またはキャンセルしたいときは、以下の手順で行います。

1 EPSON Total Disc Monitor を起動します。

起動方法は、本書 14 ページ「EPSON Total Disc Monitor の起動」を参照してください。

2 停止したいJOBを選択し、[JOBの一時停止]または [JOBのキャンセル]をクリックします。

JOB が一時停止すると、JOB の状態表示が [一時停止中] に変わります。
JOB がキャンセルされると、JOB の表示が [発行待ち JOB] 画面から消えます。

注意

- ディスクの発行処理中に JOB を一時停止すると、その処理を完了してから一時停止します。
- JOB を一時停止すると、後続の JOB の処理も開始されません。
- ディスクの発行処理中に JOB をキャンセルすると、その処理は中断され、ディスクは排出先のスタッカーに排出されます。

参考

一時停止した JOB の再開 / キャンセルするには、JOB を右クリックし、[JOB の再開]/ [JOB のキャンセル] をクリックします。

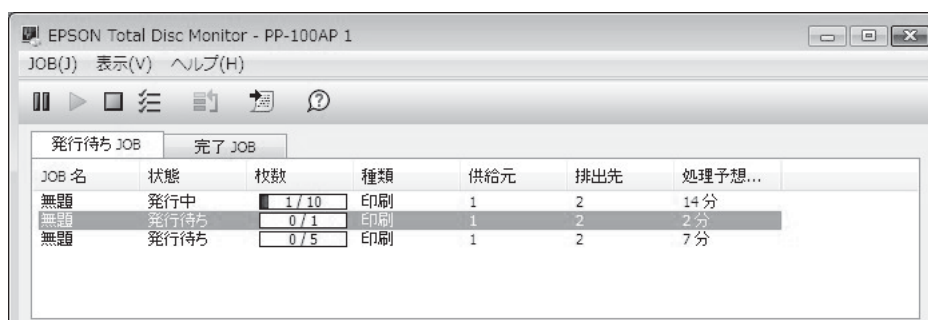
JOB を優先して発行する

複数の JOB を発行後、特定の JOB の処理を優先させたいときは、以下の手順で行います。

1 EPSON Total Disc Monitor を起動します。

起動方法は、本書 14 ページ「EPSON Total Disc Monitor の起動」を参照してください。

2 優先させたい JOB を選択し、[JOB を優先して発行する] をクリックします。

選択した JOB が、発行中の JOB の次に処理されます。

参考

ノズルチェック、ギャップ調整、印刷位置補正の JOB よりも発行処理を優先させることはできません。

ディスクの作成～応用編～

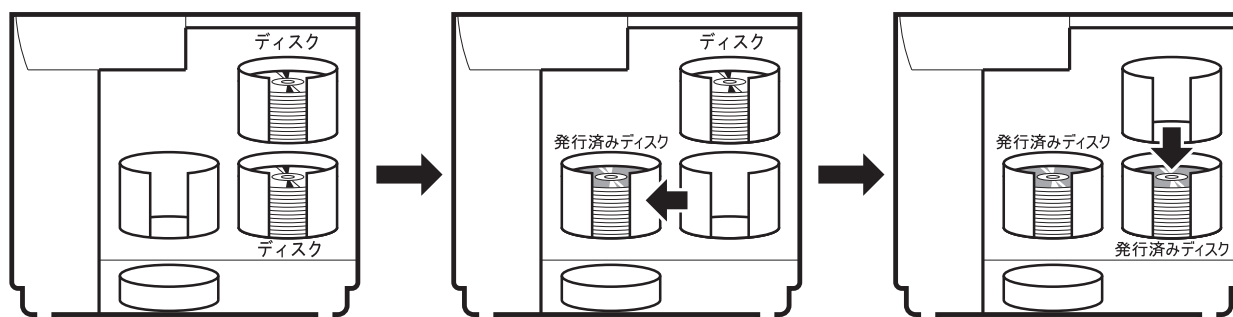
大量のディスクを作成する（バッチ処理モード／標準モード）

大量のディスクを簡単に作成するときの手順を説明します。ここで説明する発行の操作を行うと、ディスクを補充したり、作成済みディスクを取り出したりすることなく、大量のディスクを作成できます。
ここでは、以下の２つの操作方法を説明します。

- 同じディスクを最大 100 枚一括発行する（バッチ処理モード）
- 同じディスクを最大 50 枚一括発行する（標準モード）

注意　大量のディスクを発行するときは、最初にディスクを 1 枚発行して印刷結果を確認してください。

100 枚のディスクを一括発行する（バッチ処理モード）

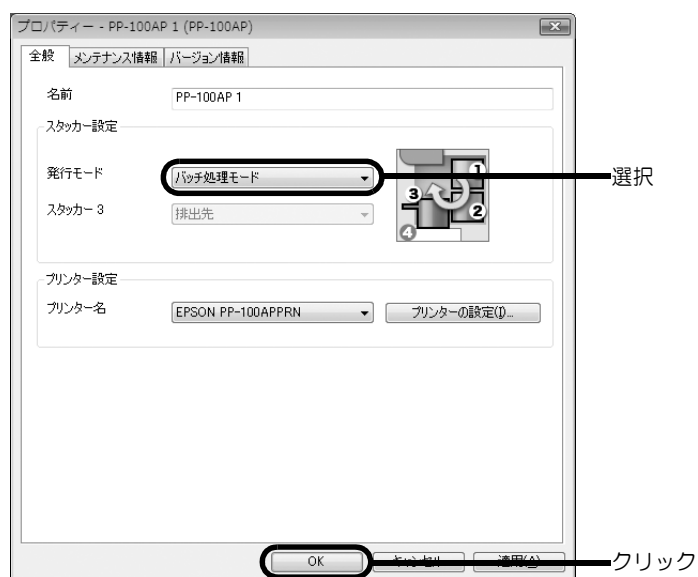
同じディスクを最大 100 枚一括発行する手順を説明します。

参考　バッチ処理モードでディスクを発行した場合、スタッカー 2 にセットしたディスクの枚数と、スタッカー 3 に排出されたディスクの枚数は必ずしも一致しません。また、50 枚にならないことがあります。このことは、スタッカー 2 に排出されたディスクも同様です。
バッチ処理モードでは、スタッカー 3 に排出されて積み上げられたディスクの高さが最大値に達したとき、排出先をスタッカー 2 に切り替えます。したがって、使用するディスクの厚みによって、スタッカーに排出される枚数が異なります。

1 レーベルの印刷データを EPSON Total Disc Maker、またはその他のソフトウェアで作成します。

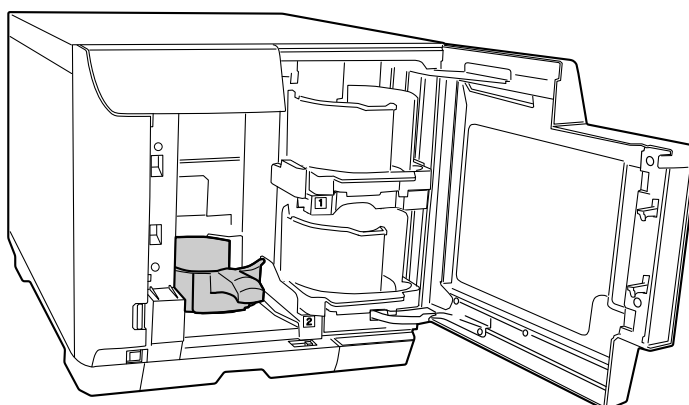
2 本製品のプロパティー画面を、以下のいずれかの手順で開きます。

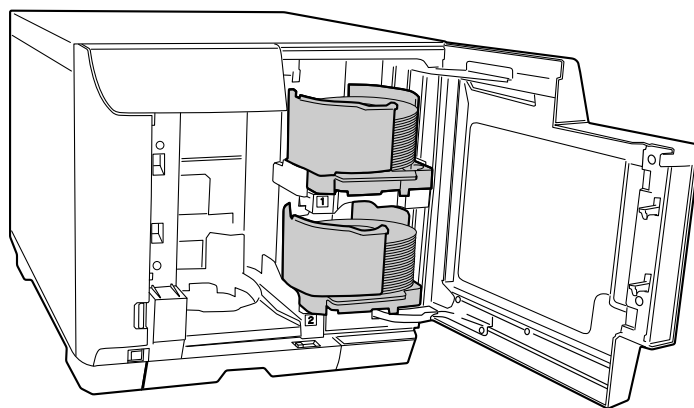
- EPSON Total Disc Maker から開く場合：
  発行ビューで [出力機器] の [プロパティー] をクリックします。

- EPSON Total Disc Setup から開く場合：
  本製品を選択し、[プロパティー] をクリックします。

3 ［発行モード］で［バッチ処理モード］を選択し、[OK] をクリックします。

4 本製品にスタッカー 3 を取り付けます。

注意

- スタッカー 3 とスタッカー 4 にディスクが入っていないことを確認してください。
- ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー 4 を引き出さないでください。

5 スタッカー 1 とスタッカー 2 にディスクをセットします。

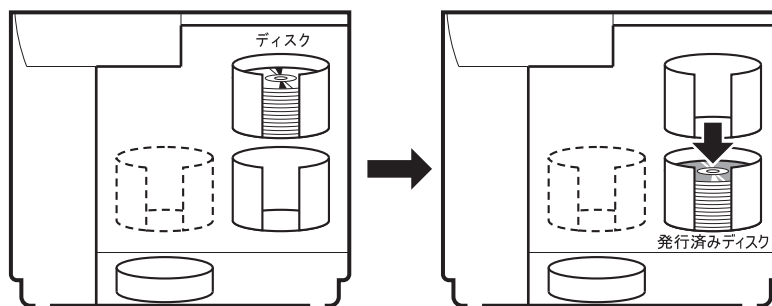
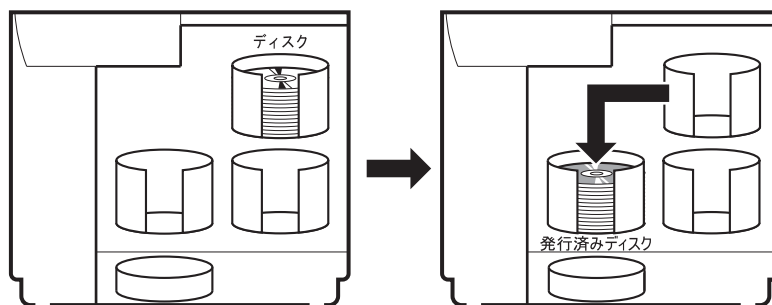
注意	ディスクのセット方法は、本書 31 ページ「ディスクのセット」を参照してください。

6 以降は、通常どおりディスクを発行します。

EPSON Total Disc Maker から発行する場合は、EPSON Total Disc Maker のヘルプ、または本書 31 ページ「ディスク作成の流れ」を参照してください。
その他のソフトウェアで作成したデータを印刷する場合は、本書 23 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。

以上で、100 枚のディスクを一括発行する（バッチ処理モード）手順の説明は終了です。

50 枚のディスクを一括発行する(標準モード)

同じディスクを最大 50 枚一括発行する手順を説明します。

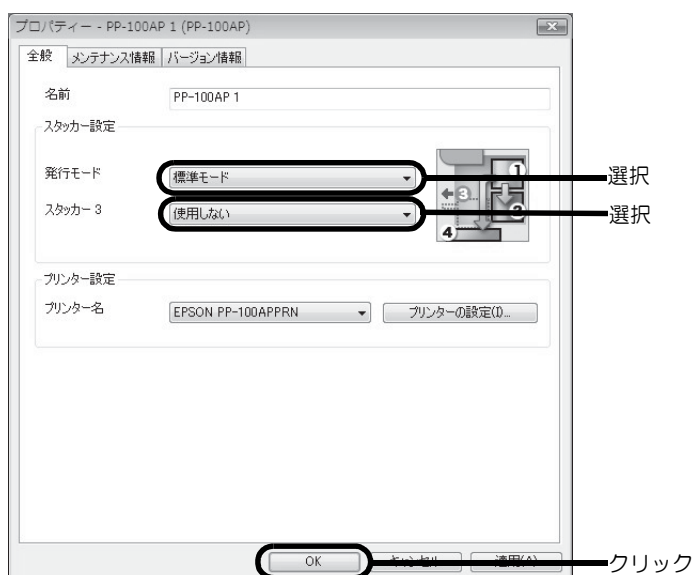
- 排出先がスタッカー２のとき

- 排出先がスタッカー３のとき

1 レーベルの印刷データを EPSON Total Disc Maker、またはその他のソフトウェアで作成します。

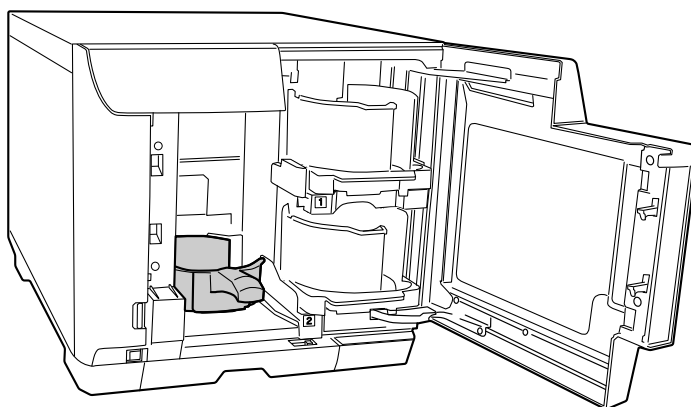
2 本製品のプロパティー画面を、以下のどちらかの手順で開きます。

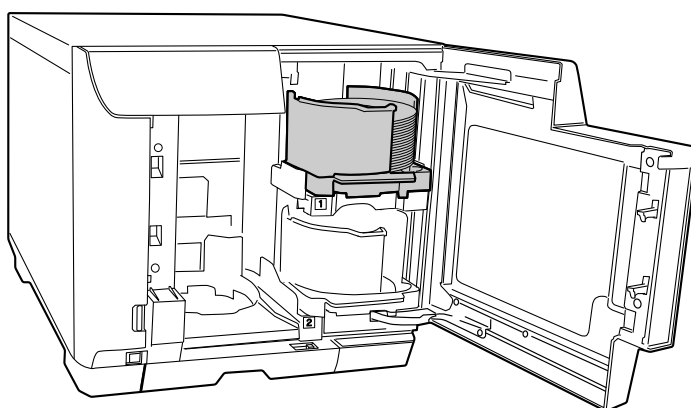
- EPSON Total Disc Maker から開く場合：
発行ビューで [出力機器] の [プロパティー] をクリックします。

- EPSON Total Disc Setup から開く場合：
  本製品を選択し、[プロパティー] をクリックします。

3 本製品のプロパティー画面で以下を設定し、[OK] をクリックします。

	設定項目	説明
①	発行モード	[標準モード] を選択します。
②	スタッカー 3	スタッカー 3 を使用するかどうかを選択します。 作成済みディスクの排出先としてスタッカー 3 を使用したいときは、[使用する] を選択してください。

4 スタッカー 3 を使用する場合は、本製品にスタッカー 3 を取り付けます。

注意
- スタッカー 3 とスタッカー 4 にディスクが入っていないことを確認してください。
- ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー 4 を引き出さないでください。

5 スタッカー 1 にディスクをセットします。

注意
ディスクのセット方法は、本書 31 ページ「ディスクのセット」を参照してください。

6 以降は、通常どおりディスクを発行します。

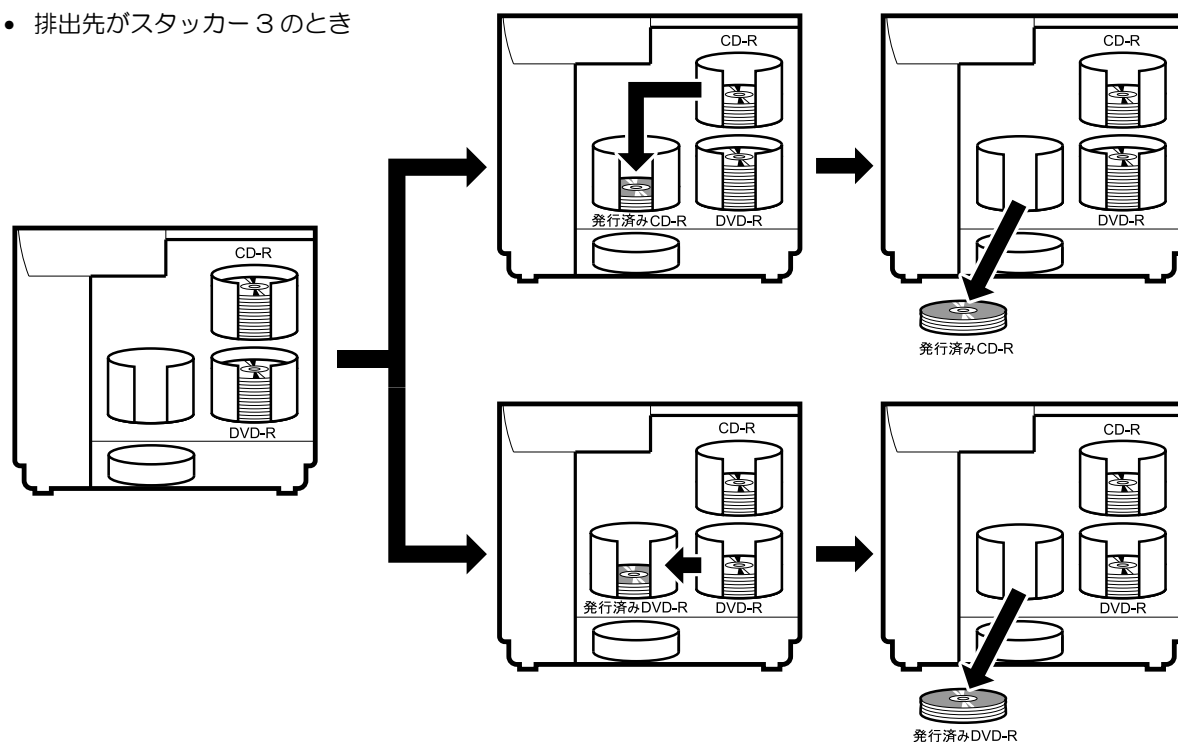
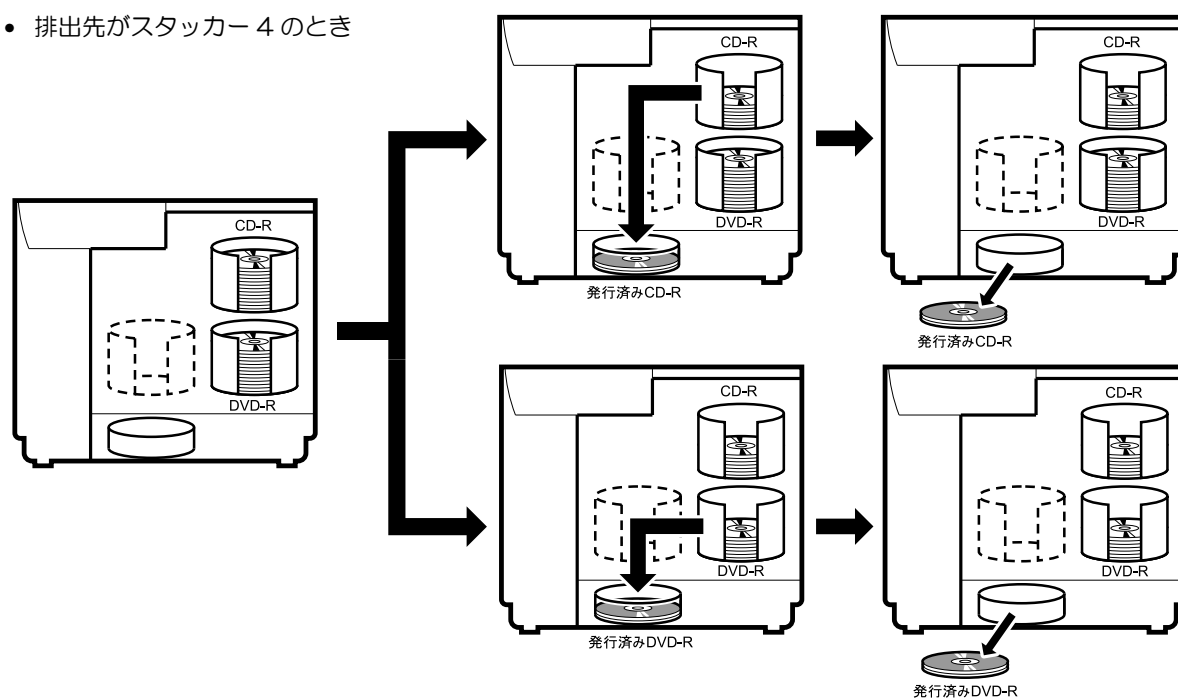
EPSON Total Disc Maker から発行する場合は、EPSON Total Disc Maker のヘルプまたは本書 43 ページ「ディスクの発行」を参照してください。
その他のソフトウェアで作成したデータを印刷する場合は、本書 23 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。

注意
EPSON Total Disc Maker の発行ビューで、[排出先] が [スタッカー 2] または [スタッカー 3] に設定されていることを確認してください。

以上で、最大 50 枚のディスクを一括発行する（標準モード）手順の説明は終了です。

用途に応じて 2 種類のディスクを発行する（外部排出モード）

2 種類のディスクをスタッカー 1 とスタッカー 2 に分けてセットしておくと、用途に応じてさまざまな使い方ができます。例えば、スタッカー 1 に CD をセットし、スタッカー 2 に DVD をセットして、それぞれ必要なときにスタッカーを選択して発行すれば、ディスクを入れ替えることなく、スタッカーを選択するだけで必要なディスクを発行できます。作成済みディスクの排出先をスタッカー 4 に設定すると、発行処理中でも JOB を一時停止することなく、作成したディスクを簡単に取り出せます。

- 排出先がスタッカー 3 のとき

- 排出先がスタッカー 4 のとき

ここでは、2 種類のディスクを発行する手順を説明します。

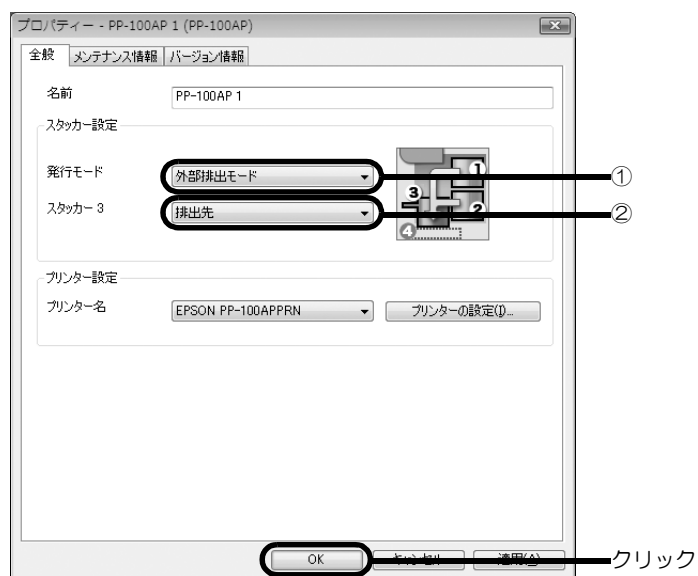
1 レーベルの印刷データを EPSON Total Disc Maker、またはその他のソフトウェアで作成します。

2 本製品のプロパティー画面を、以下のどちらかの手順で開きます。

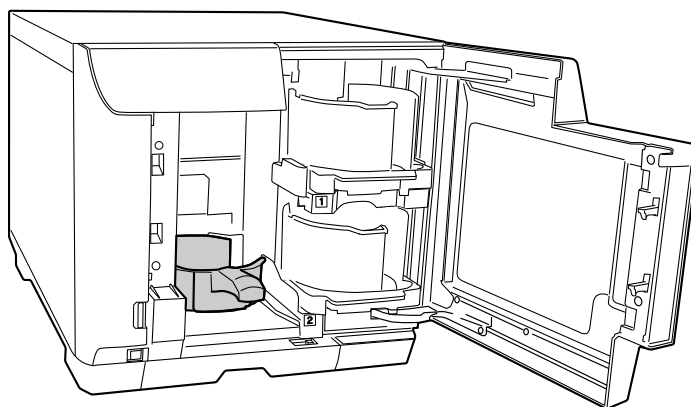
- EPSON Total Disc Maker から開く場合：
  発行ビューで [出力機器] の [プロパティー] をクリックします。

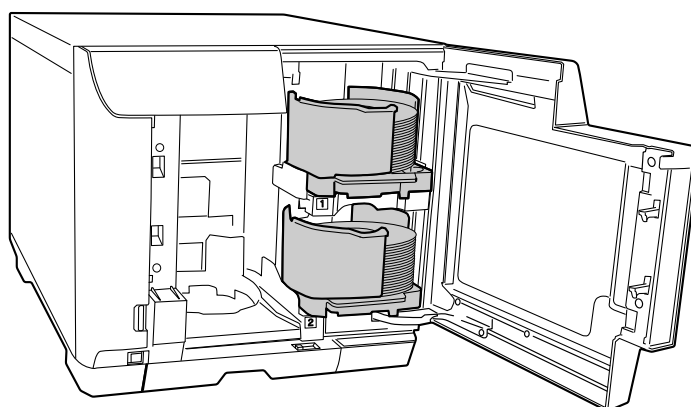
- EPSON Total Disc Setup から開く場合：
  本製品を選択し、[プロパティー] をクリックします。

3 本製品のプロパティー画面で以下を設定し、[OK] をクリックします。

	設定項目	説明
①	発行モード	[外部排出モード] を選択します。
②	スタッカー 3	作成済みディスクをスタッカー 3 に排出するとき：[排出先] を選択します。 作成済みディスクをスタッカー 4 に排出するとき：[使用しない] を選択します。

4 排出先をスタッカー 3 に設定した場合は、本製品にスタッカー 3 を取り付けます。

注意

- スタッカー 3 とスタッカー 4 にディスクが入っていないことを確認してください。
- ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー 4 を引き出さないでください。

5 スタッカー 1 とスタッカー 2 にディスクをセットします。

注意	ディスクのセット方法は、本書 31 ページ「ディスクのセット」を参照してください。

6 以降は、通常どおりディスクを発行します。

注意	スタッカーランプ 4 が速い点滅をしているときは、スタッカー 4 にディスクを排出中のため、スタッカー 4 を引き出さないでください。ディスクが破損する可能性があります。

参考

- 排出先をスタッカー4 に設定した場合、スタッカー4 には、ディスクが約 5 枚まで収納できます。スタッカー 4 がフル（一杯）になると、JOB の処理は一時停止します。作成済みディスクをスタッカー 4 から取り出すと、JOB の処理は自動的に再開します。
- スタッカー4 に排出された作成済みディスクは、JOB の処理を一時停止することなく取り出すことができます。

EPSON Total Disc Maker から発行する場合は、EPSON Total Disc Maker のヘルプ、または本書 43 ページ「ディスクの発行」を参照してください。
その他のソフトウェアで作成したデータを印刷する場合は、本書 23 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。

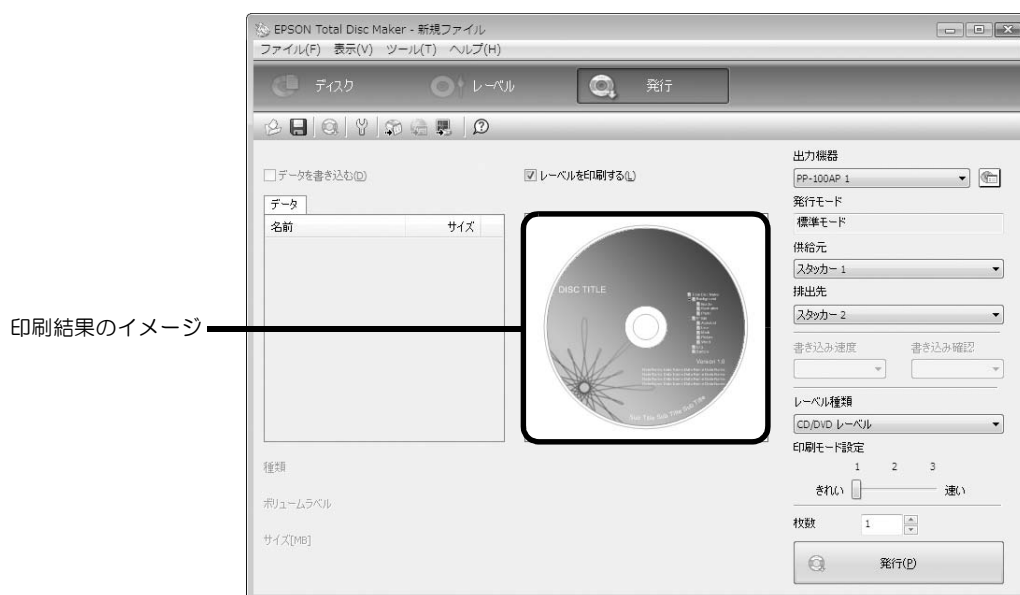
以上で、用途に応じて 2 種類のディスクを発行する（外部排出モード）手順の説明は終了です。

印刷結果を事前に確認する

EPSON Total Disc Maker の場合

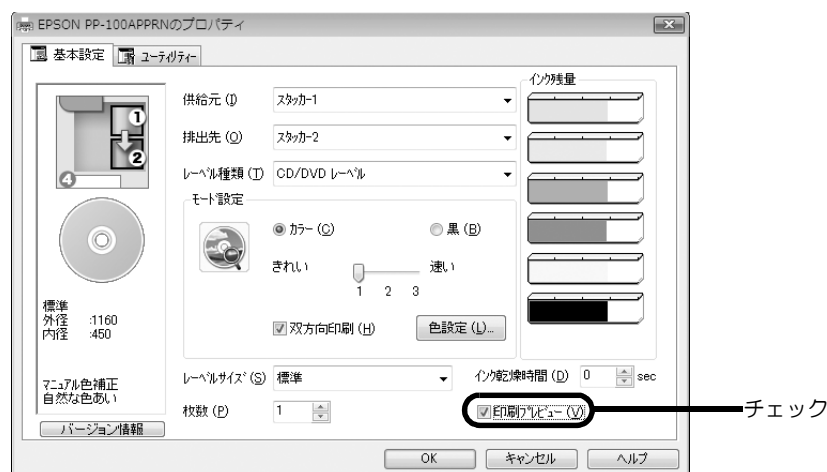
EPSON Total Disc Maker では、レーベルの編集中、および発行画面でレーベルの印刷結果のイメージが表示されます。印刷結果のイメージを確認しながら編集および発行ができます。

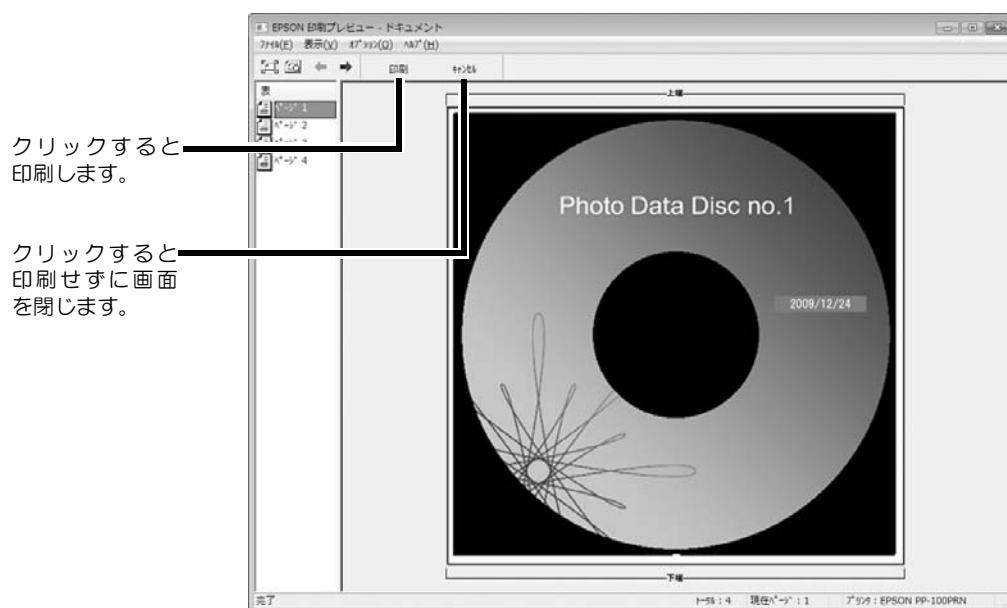
レーベル編集時の画面

発行時の画面

市販のソフトウェアから印刷を行う場合

市販のソフトウェアからレーベル印刷を行うときは、プリンタードライバーのプレビュー機能を使うと、印刷前に印刷結果のイメージを確認してから印刷できます。

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 19 ページ「[スタート] メニューからの表示」を参照してください。

2 [印刷プレビュー] をチェックします。

3 [OK] をクリックして、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

4 ソフトウェアから印刷します。
[EPSON 印刷プレビュー] 画面が表示されます。
印刷結果のイメージを確認し、印刷するときは [印刷] をクリックします。印刷せずに [EPSON 印刷プレビュー] 画面を閉じるときは [キャンセル] をクリックします。

参考

市販のソフトウェアから印刷する基本的な手順は、本書 23 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。ソフトウェアにより、印刷する手順は異なります。印刷方法について詳しくは、ソフトウェアに添付の取扱説明書やヘルプなどで確認してください。

定形外レーベルサイズのディスクに印刷する

標準、ワイドタイプ以外のサイズでレーベル印刷を行うときは、ユーザー定義サイズ（プリンタードライバーに用意されていないレーベルサイズ）を登録し、設定します。

参考	ここでは、市販のソフトウェアからレーベル印刷を行う場合の手順を説明しています。 EPSON Total Disc Maker から印刷する場合は、プリンタードライバーでの印刷領域設定を行う必要はありません。EPSON Total Disc Maker から印刷する場合は、EPSON Total Disc Maker の [印刷領域の内径・外径] ダイアログで設定を行ってください。

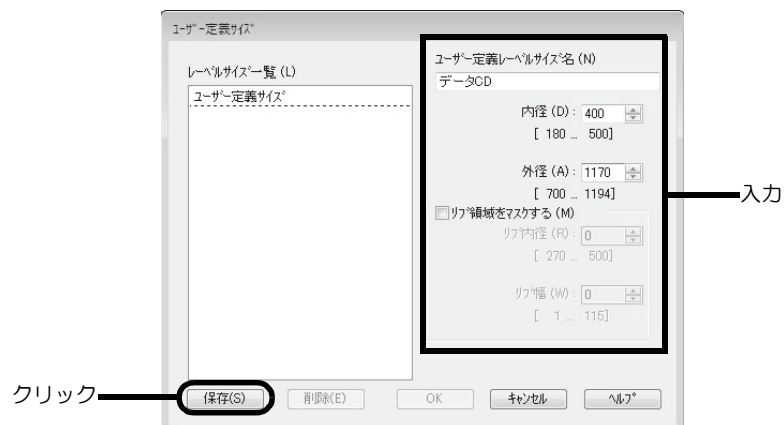
ユーザー定義サイズの登録・設定方法

ここでは、ユーザー定義サイズを登録・設定する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。

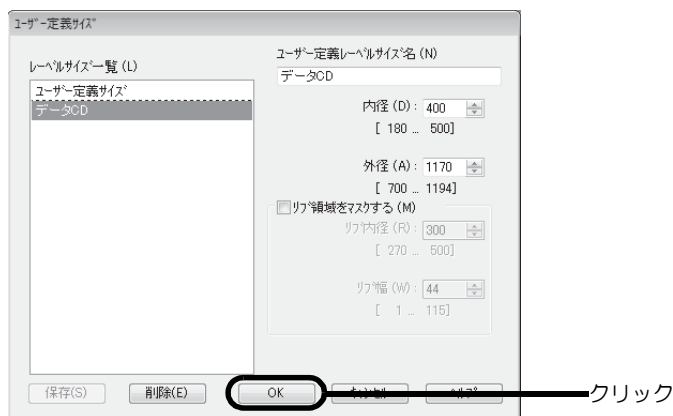
表示方法は、本書 17 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。

2 [レーベルサイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択します。

3 ［ユーザー定義レーベルサイズ名］、［内径］、［外径］を入力し、［保存］をクリックします。

設定項目	説明
ユーザー定義レーベルサイズ名	ユーザー定義レーベルサイズ名を入力します(文字数:全角12文字/半角24文字まで)。 4Byte で構成される文字を使用した場合、上記の文字数よりも使用できる文字数が少なくなります。
内径	レーベルの内径を設定します。180～500（18.0～50.0mm）の範囲で設定できます。
外径	レーベルの外径を設定します。700～1194（70.0～119.4mm）の範囲で設定できます。
リブ領域をマスクする	チェックすると、リブ領域をマスクします。 リブとはディスク内周にある突起部分を指します。 リブ領域をマスクすると、排出先スタッカー内で印刷済みのディスクとリブが接触し、リブにインクが移ることを避けることができます。
リブ内径	リブ領域の内径を設定します。270～500（27.0～50.0mm）の範囲で設定できます。
リブ幅	リブ領域の幅を設定します。1～115（0.1～11.5mm）の範囲で設定できます。

注意 リブ領域に印刷すると、インクの付着、ディスクの貼り付き、色抜けを起こす可能性があります。

参考 印刷推奨領域（内径45.0mm以上、外径116.0mm以内）の範囲外に設定して印刷すると、ディスクやトレイが汚れたり、印刷のはがれ/乱れが発生したり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。使用するディスクのレーベル印刷範囲を確認して設定してください。印刷推奨領域の詳細は、本書29ページ「印刷可能領域」を参照してください。

4 [OK] をクリックします。

[基本設定] 画面の [レーベルサイズ] に、新しいユーザー定義レーベルサイズが登録されます。

5 [基本設定] 画面の [レーベルサイズ] で、作成したレーベルサイズ名を選択し、[OK] をクリックします。

この後は、通常印刷する場合と同様の操作を行ってください。

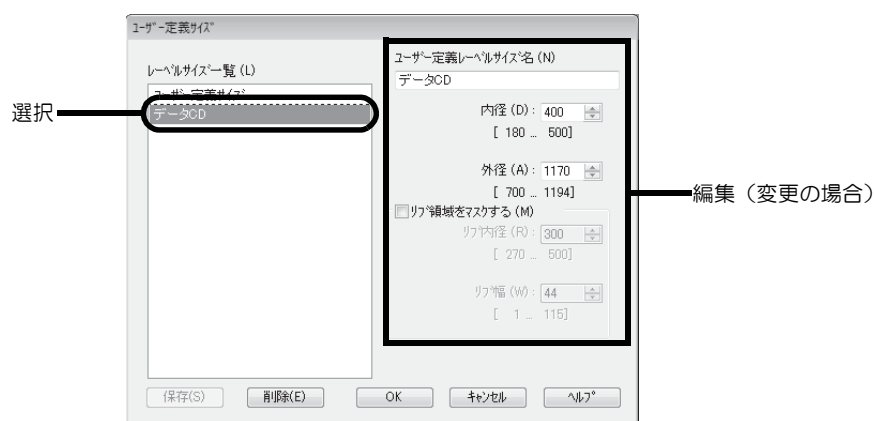
レーベルサイズの変更 / 削除

ここでは、登録したユーザー定義サイズを変更 / 削除する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。

表示方法は、本書 17 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。

2 [レーベルサイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択します。

3 画面左の [レーベルサイズ一覧] から、内容を変更、または削除するレーベルサイズを選択します。登録内容を変更する場合は、画面右の設定内容を編集します。

4 登録内容を変更する場合は、[保存] をクリックします。削除する場合は、[削除] をクリックします。

5 確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

印刷の色を調整する

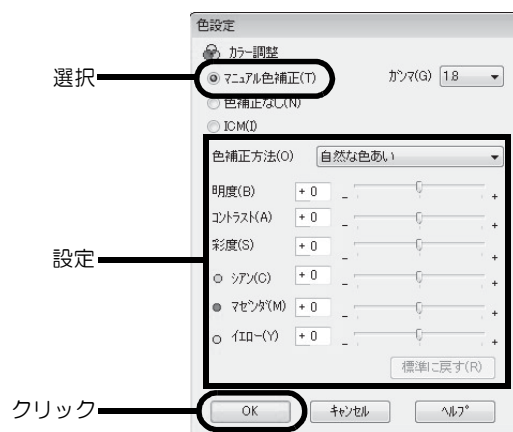
ここでは、印刷データの色を調整し、レーベルを印刷する手順を説明します。

参考	● 印刷時に色調整を加えるだけで、データそのものの色調整は行いません。 ● プリンタードライバーの基本設定画面で、[モード設定] を [黒] に設定すると、色の調整は行えません。

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。

表示方法は、本書 17 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。

2 [カラー] を選択して [色設定] をクリックします。

3 [マニュアル色補正] を選択し、各項目を設定して、[OK] をクリックします。

<table>
<tr><td>ガンマ</td><td colspan="2">1.5：sRGB に対応した機器とカラーマッチングをして印刷する場合の設定に最適な値で印刷します。
1.8：本製品でのレーベル印刷に合った調整が行われます。
2.2：1.8 に設定したときと比べて、柔らかい感じの画像で印刷されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">色補正方法</td><td colspan="2">以下の［色補正方法］の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。</td></tr>
<tr><td>自然な色あい</td><td>プリンタードライバーの標準的な色補正で印刷します。より自然な発色状態になるように色処理を行います。</td></tr>
<tr><td>あざやかな色あい</td><td>彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。</td></tr>
<tr><td>EPSON 基準色</td><td>エプソンの基準色になるように色処理を行います。</td></tr>
<tr><td>Adobe RGB</td><td>より広い色空間の Adobe RGB で色処理を行います。Adobe RGB のカラースペース情報を持った印刷データの印刷時などに選択します。</td></tr>
<tr><td>明度</td><td colspan="2">画像全体の明るさを調整します。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td colspan="2">画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、プラス（＋）方向にスライドさせると、コントラストが上がり、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると、コントラストが落ち、画像の明暗の差が少なくなります。</td></tr>
<tr><td>彩度</td><td colspan="2">画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、プラス（＋）方向にスライドさせると、彩度が上がり色味が強くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると、彩度が落ちて色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。</td></tr>
<tr><td>シアン</td><td colspan="2">－設定：赤みが強くなります。
＋設定：青緑（シアン）が強くなります。</td></tr>
<tr><td>マゼンダ</td><td colspan="2">－設定：緑色が強くなります。
＋設定：赤紫（マゼンダ）が強くなります。</td></tr>
<tr><td>イエロー</td><td colspan="2">－設定：青色が強くなります。
＋設定：黄色（イエロー）が強くなります。</td></tr>
</table>

メンテナンス

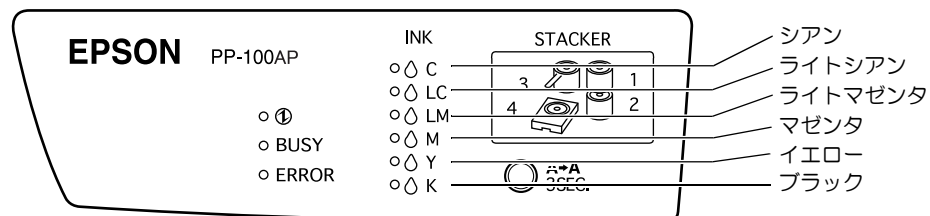
インクカートリッジの交換

インク残量の確認方法

6 つのインクカートリッジのうち、ひとつでも交換時期になると印刷ができなくなります。

インク残量は、以下のように操作パネルのインクランプで確認できます。

- 操作パネルのインクランプが点滅したら、その色のインク残量が少なくなっています。
- 操作パネルのインクランプが点灯したら、その色のインクの交換時期です。

各色のインクランプの位置

EPSON Total Disc Monitor でもインクの残量を確認することができます。詳細は、EPSON Total Disc Monitor のヘルプを参照してください。

参考

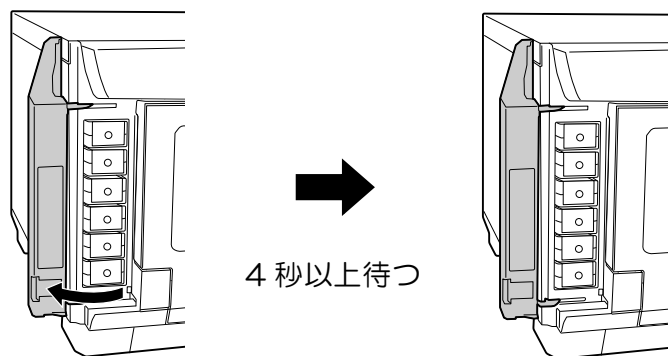
- 初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充てんによりインクが消費されますので、交換時期が通常より早くなります。
- モノクロ印刷を指定した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。
- プリントヘッドの品質を保つため、インクが完全になくなる前に本製品は動作を停止します。そのため、インクカートリッジ内には、多少のインクが残ります。

インクカートリッジの交換方法

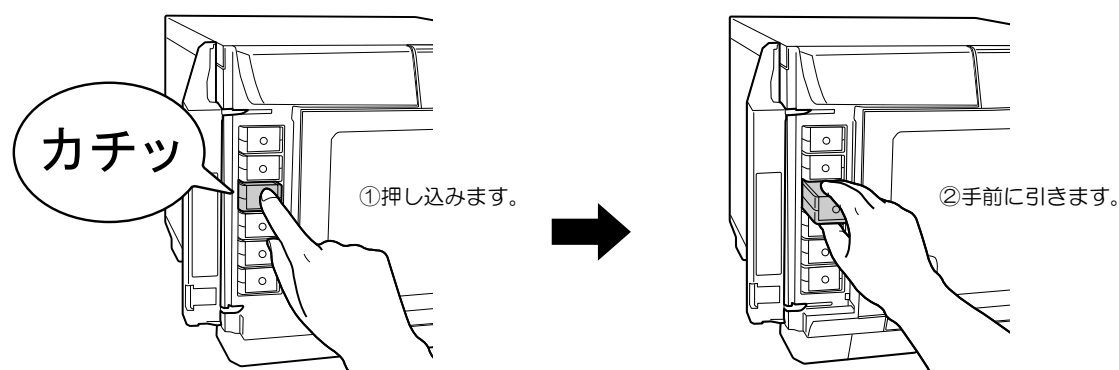
ここでは、インクカートリッジの交換手順を“ライトマゼンタ”を例にして説明します。ほかの色の場合も、交換位置は異なりますが、同様の手順で交換できます。
インクカートリッジの型番は、本書 117 ページ「インクカートリッジ」を参照してください。

注意

- エプソン純正のインクカートリッジのご使用をお勧めします。純正品以外のインクカートリッジを使用すると、補償外の障害を生じるおそれがあります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。非純正品を使用すると印刷品質に悪影響が出るなど、製品本来の性能を発揮できない場合があります。
- インクカートリッジのインク供給孔を下にして置かないでください。机などを汚すおそれがあります。また、ゴミなどの付着により本製品が正常に作動しないことがあります。
- インクカートリッジは、高温下、凍結状態、および直射日光下で保存しないでください。

1 インクカートリッジカバーを開け、内部の動作が停止するまで 4 秒以上待ちます。

注意

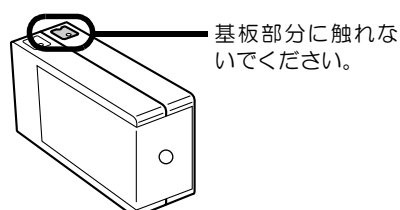
4 秒以内にインクを取り出してしまった場合、インクが噴き出すおそれがあります。

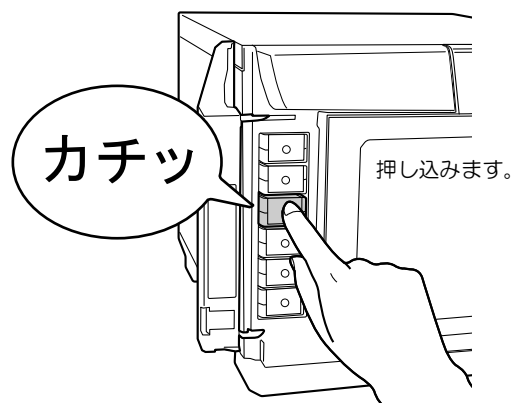
2 カチッと音がするまでインクカートリッジを静かに押し込んでロックを解除してから、ゆっくりと手前に引き抜きます。

注意

- 取り出したインクカートリッジのインク供給孔部からインクが漏れることがあります。
- 一度使用したインクカートリッジのインク取り出し口には、若干のインクが付着する場合があるため、触らないでください。
- 使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため、回収にご協力ください。回収方法は、本書 117 ページ「インクカートリッジの回収について」を参照してください。

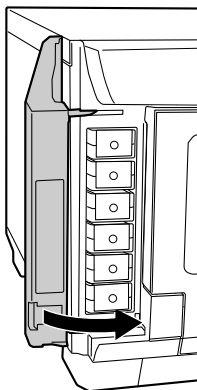
3 インクカートリッジを袋から取り出します。

注意

- 良好な印刷品質を得るために、装着直前に透明なプラスチック袋から開封してください。また開封後は、6ヶ月以内に使い切ってください。開封した状態で長時間放置したインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下するおそれがあります。
- プラスチック袋を開封するときには、インクカートリッジが落下しないように注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジのインク供給孔を下にして置かないでください。机などを汚すおそれがあります。また、ゴミなどの付着により本製品が正常に作動しないことがあります。
- インクカートリッジは、強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触れないでください。また、インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。正常にセット・動作・印刷ができなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。

- インクカートリッジは、個装箱に記載された期限までに使い切ってください。

4 セット位置をラベルの色で確認し、新しいインクカートリッジを本製品のインクカートリッジホルダーに、カチッと音がするまで静かに押し込みます。

注意

セットしたインクカートリッジを、繰り返し抜き差ししないでください。インクカートリッジや本体内部にインクが付着するおそれがあります。

5 インクカートリッジカバーを閉めます。

注意

- インクの充てん中は電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。これらの操作を行うと、インクの充てんを再度実行するため、インクを著しく消費する原因になります。また、正常に印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクランプが点滅 / 点灯しているときは、インクカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットされているか確認してください。
- インクカートリッジを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合があります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。
- インクカートリッジを取り付けても正常に印刷できない場合は、クリーニングボタンを 3 秒間押し続けてください。回復しない場合は、この動作を 1、2 回程度繰り返してください。
- 本体の電源ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。
- インクカートリッジを取り付けた後に本製品を移動・輸送するときは、インクカートリッジを取り付けたままの状態で移動・輸送してください。
- 交換時以外は、インクカートリッジを取り外さないでください。

ノズルチェック

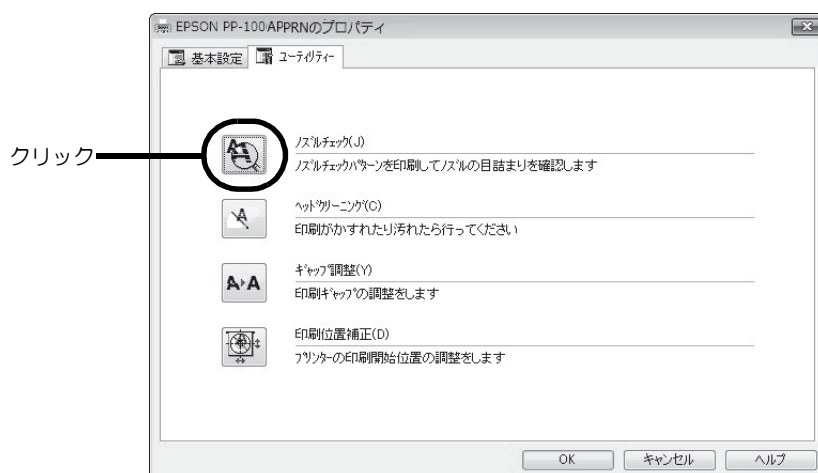
プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、インクはあるのに印刷がかすれたり、通常とは異なる色で印刷されたりします。ノズルチェックでは、ノズルの状態を確認するためにパターンを印刷し、そのパターンを見てノズルが目詰まりしていないかを確認します。

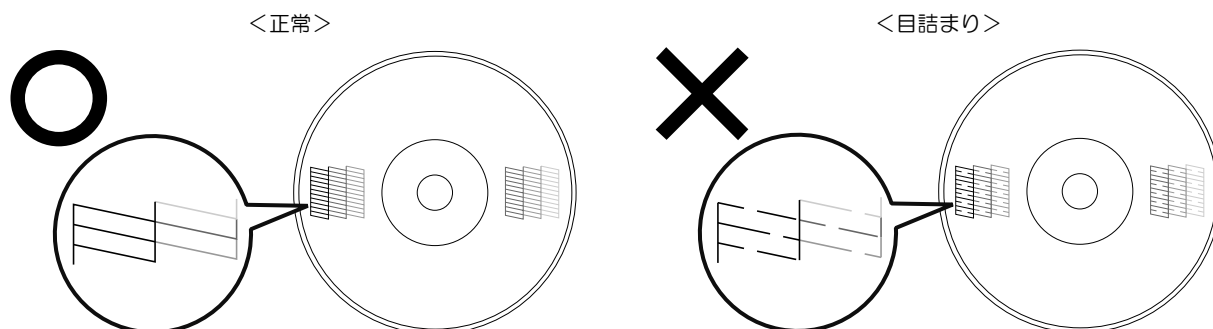
ノズルチェックの操作手順

1 本製品の電源をオンにします。

2 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。

3 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 17 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。

4 [ユーティリティー] 画面の [ノズルチェック] をクリックします。

5 [印刷] をクリックします。
ノズルチェックパターンが印刷されたディスクが、スタッカー 3 またはスタッカー 4 に排出されます。

6 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。
正常な場合は、左下図のようにすべてのラインが印刷されます。
右下図のように印刷されないラインがある場合は、目詰まりしています。ヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングの詳細は、本書 75 ページ「ヘッドクリーニングの操作手順」を参照してください。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間ができたりする場合にヘッドクリーニングを行ってください。（本書 75 ページ「ヘッドクリーニングの操作手順」参照）

参考	ヘッドクリーニングはインクを消費します。ヘッドクリーニングを行う前にノズルチェックを行うと、ノズルが目詰まりしていないかを確認することができ、ヘッドクリーニングによる余計なインクの消費を防ぐことができます。ノズルチェックの詳細は、本書 73 ページ「ノズルチェック」を参照してください。

プリントヘッドの乾燥の原因と対処方法	
原因	**これを防ぐには**
万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。	• 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。 • 電源のオン / オフは、必ず電源ボタンで行ってください。
万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることがあります。	定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。
インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドが乾燥します。	インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

ヘッドクリーニングの操作手順

ヘッドクリーニングには次の２つの方法があります。

- 本製品のボタン操作で行う
- パソコン上の操作で行う

> **注意**
> - ヘッドクリーニング中にインクカートリッジカバーを開けないでください。カバーを開けるとヘッドクリーニングが中止されます。
> - ヘッドクリーニングはインクを消費します。必要以上にヘッドクリーニングを行うとインクカートリッジの寿命が短くなりますのでご注意ください。
> - 発行中の JOB がある場合、JOB の処理が終了してからヘッドクリーニングが開始されます。

本製品のボタン操作で行う

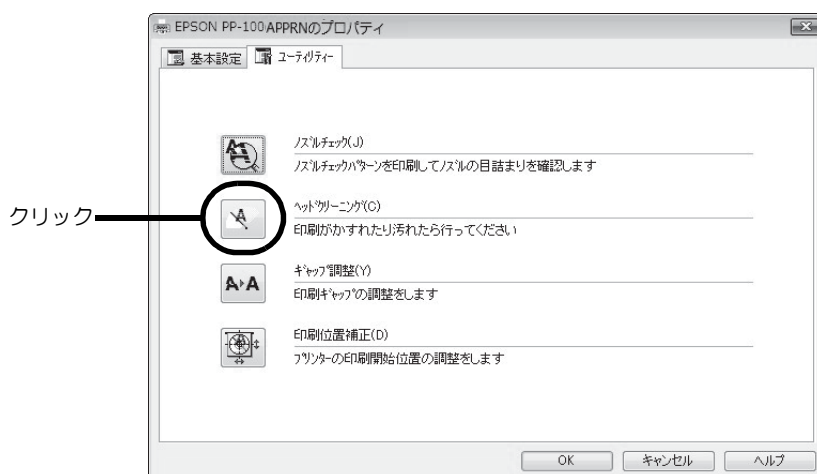
1 本製品と接続したパソコンの電源がオンの状態であることを確認します。

2 本製品の電源をオンにします。

3 クリーニングボタンを３秒間押します。
電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが開始されます。
ヘッドクリーニングが終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わります。

パソコン上の操作で行う

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 17 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。

2 [ユーティリティー] 画面の [ヘッドクリーニング] をクリックします。

3 [スタート] をクリックします。
電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが開始されます。
ヘッドクリーニングが終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わります。

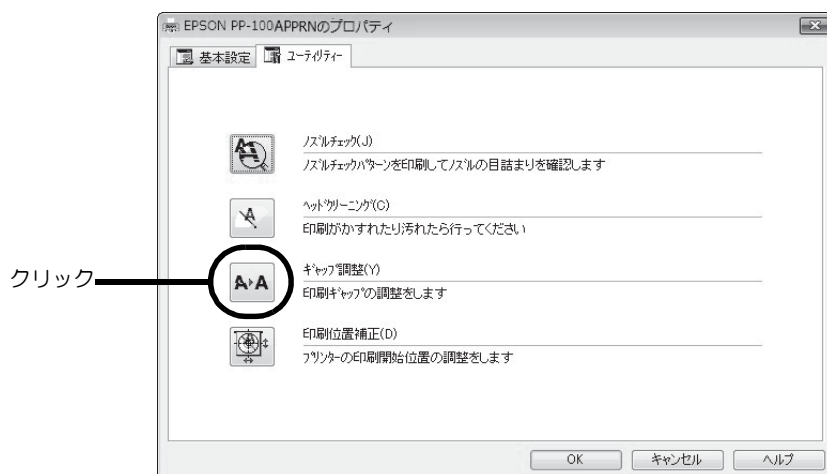
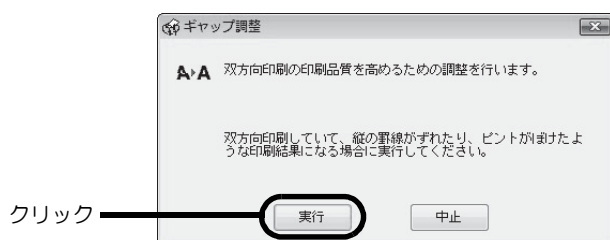
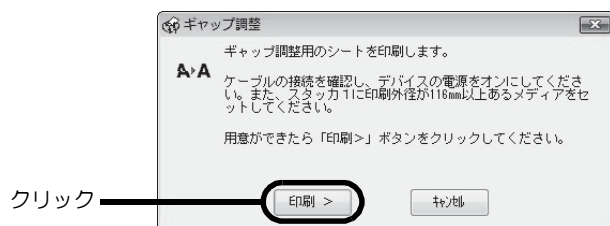
ギャップ調整

プリントヘッドが右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれると、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になることがあります。そのような場合は、ギャップ調整を行ってください。

1 本製品の電源をオンにします。

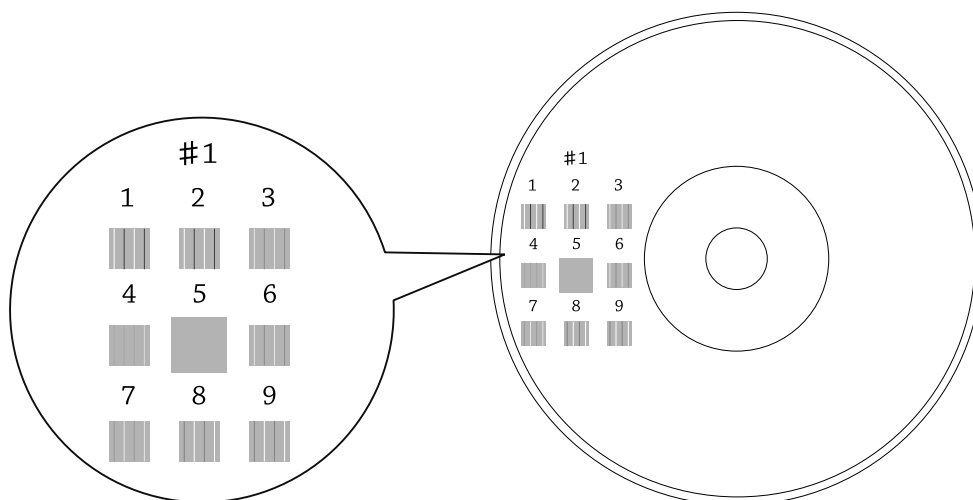
2 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。

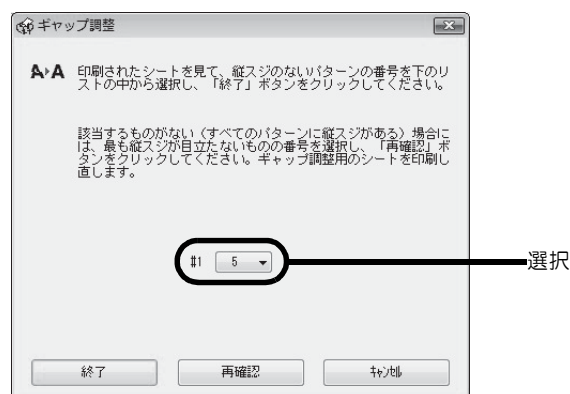
3 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 17 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。

4 [ユーティリティー] 画面の [ギャップ調整] をクリックします。

5 [実行] をクリックします。

6 [印刷] をクリックします。

ギャップ調整用シートが印刷されたディスクが、スタッカー 3 またはスタッカー 4 に排出されます。

7 印刷されたギャップ調整用シートを確認します。

<ギャップ調整用シート>

8 縦スジの少ないパターンの番号を選択します。

上図の場合は、[5] の縦スジが少ないので、[5] を選択します。
再度、ギャップ調整用シートを印刷して確認する場合は、スタッカー 1 にディスクをセットし、[再確認] をクリックしてください。

9 [終了] をクリックします。

以上で、ギャップ調整は終了です。

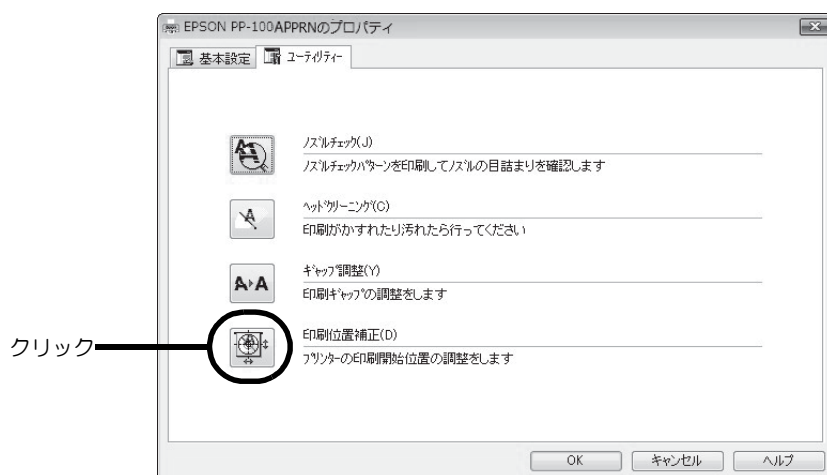
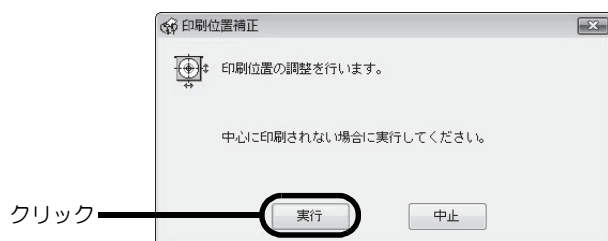
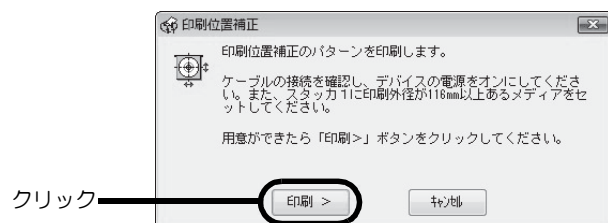
印刷位置補正

上下左右方向の印刷位置がずれるときは、印刷位置補正を行ってください。

1 本製品の電源をオンにします。

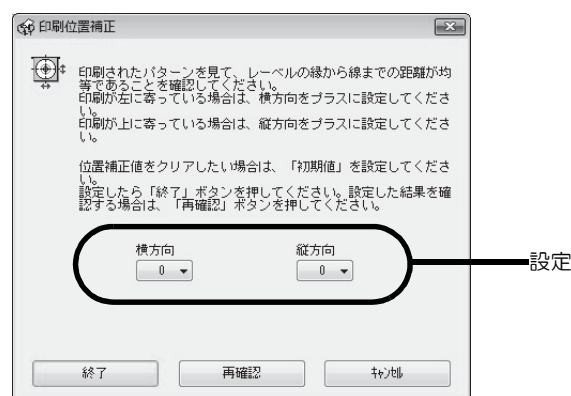
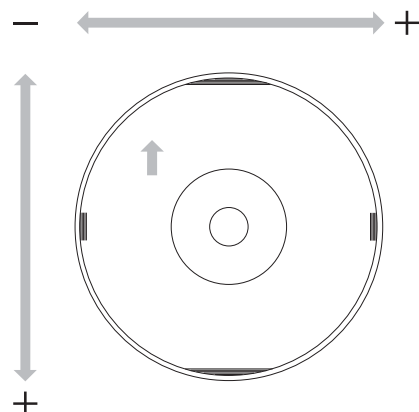
2 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。

3 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 17 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。

4 [ユーティリティー] 画面の [印刷位置補正] をクリックします。

5 [実行] をクリックします。

6 [印刷] をクリックします。

上下左右にそれぞれ 5 本のラインと上方向を示す青い矢印が 1 つ印刷されたディスクが、スタッカー 3 またはスタッカー 4 に排出されます。

7 上下左右のラインがレーベル面に均等に印刷される場合は[終了]をクリックします。均等に印刷されていないときは、以下の方法で対処します。

- 印刷が左に寄っている場合：[横方向] にプラスの補正値を選択します。
- 印刷が右に寄っている場合：[横方向] にマイナスの補正値を選択します。
- 印刷が上に寄っている場合：[縦方向] にプラスの補正値を選択します。
- 印刷が下に寄っている場合：[縦方向] にマイナスの補正値を選択します。

8 スタッカー1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットし、[再確認] をクリックします。

以降は、上下左右のラインがディスク上に均等に印刷されるまでステップ 6、7、8 を繰り返します。

9 [終了] をクリックします。

注意

- 初回調整後、再確認で補正値を入力すると、初回に調整した数値と合わせた補正値で印刷位置が修正されます。印刷補正値をクリアしたいときは、[初期値] を選択して [終了] をクリックしてください。
- 上記手順で印刷位置を補正しても、レーベル塗布面がディスクの中心とずれている場合は、印刷がレーベル塗布面に対してずれて見えます。

以上で、印刷位置補正は終了です。

本製品が汚れているときは

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でお手入れをしてください。

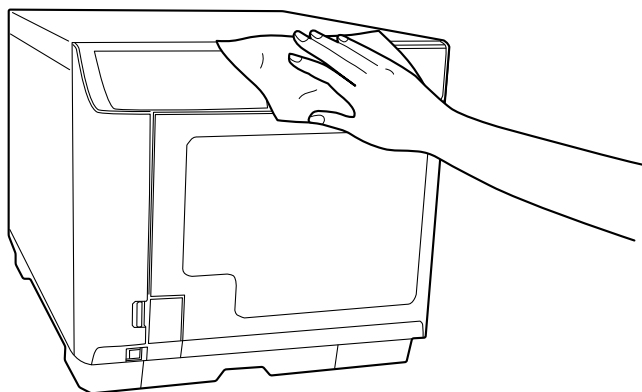
外装面のお手入れ

1 電源をオフにします。

本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 柔らかい布を使って、ホコリや汚れを払います。

外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。最後に、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。

注意

- 本製品の内部に水気が入らないように、カバーを閉めた状態で拭いてください。内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。本製品の表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。本製品の表面を傷付けるおそれがあります。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

内部のお手入れ

本製品内部やスタッカーにゴミ、ホコリが溜まったり、汚れが付着したりした場合は、柔らかい布を使って汚れを拭き取ってください。

スタッカーにはインクによる汚れが付着する場合があります。付着した汚れは、水または中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってから汚れを拭き取ってください。

メンテナンス情報の確認

ここでは、累計印刷枚数、メンテナンスボックスの空き容量など、本製品の保守・サポート時に有用な情報の確認方法を説明します。

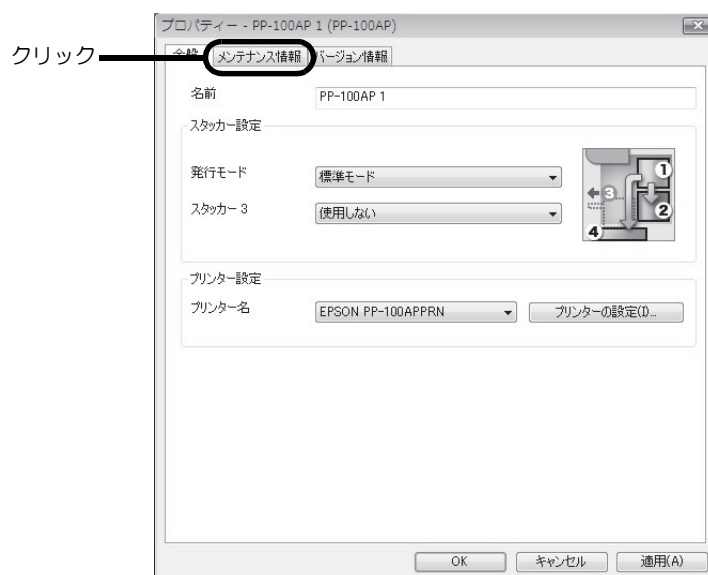
1 本製品がパソコンとUSBケーブルで接続され、電源がオンになっていることを確認します。

2 EPSON Total Disc Setupを起動します。

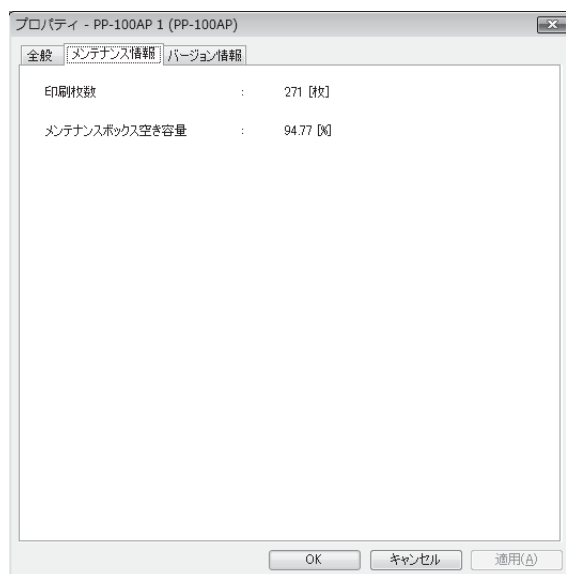
起動方法は、本書10ページ「EPSON Total Disc Setupの起動」を参照してください。

3 本製品を選択し、[プロパティー]をクリックします。

4 [メンテナンス情報]タブをクリックします。

参考

[プロパティー]画面は、以下の方法でも表示できます。

- EPSON Total Disc Setupの[編集]メニューの[プロパティー]をクリックする。
- EPSON Total Disc Makerの発行ビューの [プロパティー]をクリックする。

メンテナンス情報が表示されます。

- 印刷枚数：　印刷したディスクの累計枚数
- メンテナンスボックス空き容量：　メンテナンスボックスの空き容量（0 ～ 100%）
  0% に近くなるとメンテナンスボックスの交換時期です。

メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスとは、ヘッドクリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。メンテナンスボックスの空き容量がなくなると、ディスクの発行ができなくなります。その場合は、メンテナンスボックスの交換が必要です。

交換時期の確認方法

メンテナンスボックスの空き容量は、EPSON Total Disc Setup で確認することができます。（本書 81 ページ「メンテナンス情報の確認」参照）

メンテナンスボックスの交換時期が近づくと、

- EPSON Total Disc Monitor に、「メンテナンスボックスの交換時期が近づきました。新しいメンテナンスボックスを準備してください。」というメッセージが表示されます。メッセージは、1 日 1 回EPSON Total Disc Monitor の起動時に表示されます。
  EPSON Total Disc Monitor については、本書 14 ページ「EPSON Total Disc Monitor」を参照してください。

メンテナンスボックスが交換時期になると、

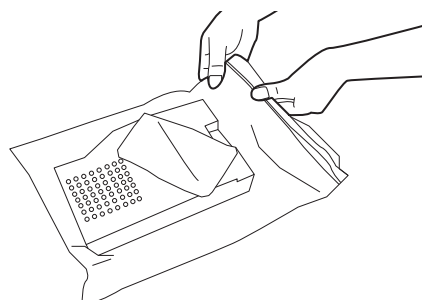
- 操作パネルのすべてのインクランプが速い点滅を始めます。
- EPSON Total Disc Monitor に、「メンテナンスボックスの交換時期になったため、これ以上印刷できません。メンテナンスボックスを交換してください。純正品のご使用をお勧めします。」というメッセージが表示されます。

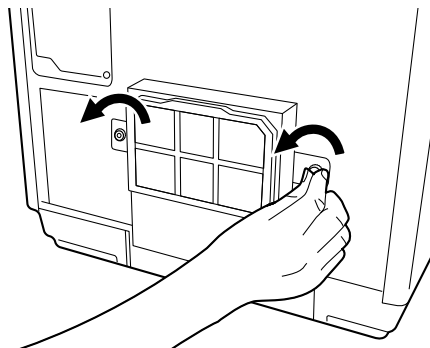
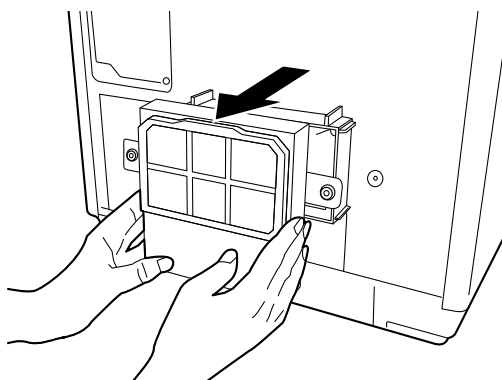
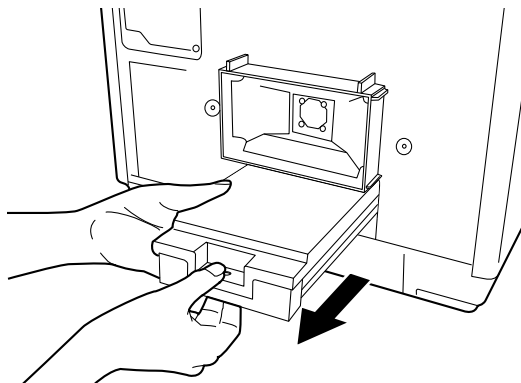
交換方法

メンテナンスボックスを交換するときは、必ずフィルターも同時に交換してください。メンテナンスボックスとフィルターは、以下の手順で交換します。

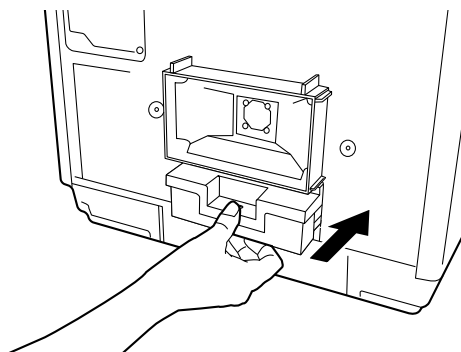
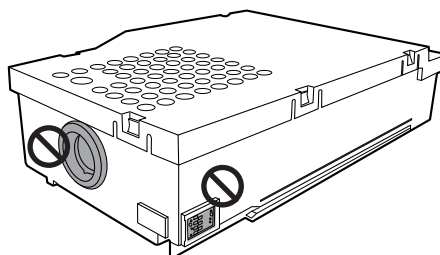
メンテナンスボックスの型番は、本書 118 ページ「メンテナンスボックス」を参照してください。フィルターはメンテナンスボックスに添付されています。

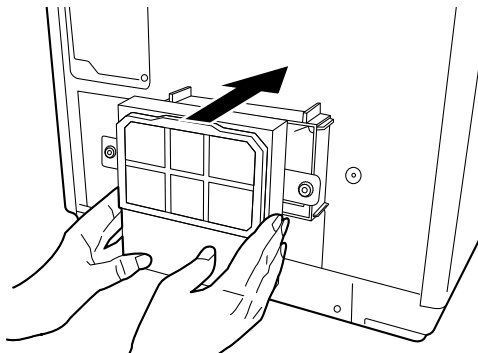
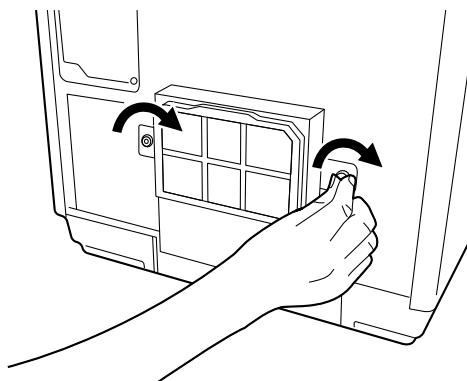
注意

- エプソン純正のメンテナンスボックスのご使用をお勧めします。純正品以外のメンテナンスボックスを使用すると、保証外の障害を生じるおそれがあります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。
- 製品から取り外した状態で長時間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。
- 使用済みのメンテナンスボックスとフィルターは、メンテナンスボックスに添付されているビニール袋に入れ、資源の有効活用と地球環境保全のため、回収にご協力ください。回収方法は、本書 118 ページ「メンテナンスボックス」を参照してください。

メンテナンスボックスの交換

1 背面の２個のネジを緩めます。

2 メンテナンスボックスカバーを取り外します。

3 使用済みのメンテナンスボックスを引き抜きます。

注意

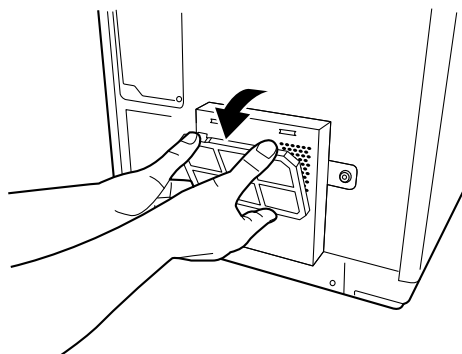
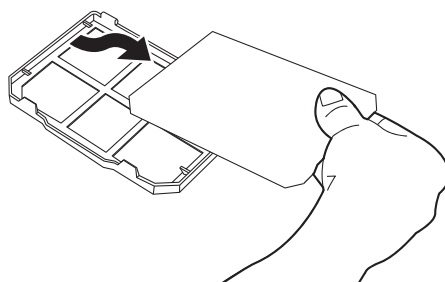
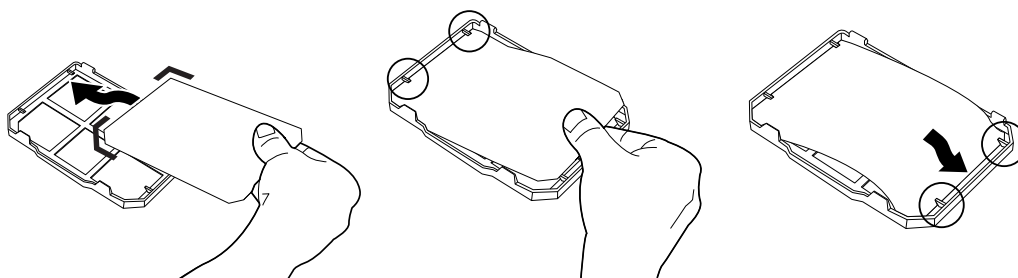
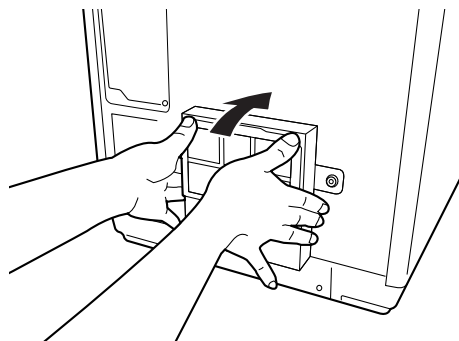
- 使用済みのメンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- 本製品のメンテナンスボックス挿入口の内部に手を入れないでください。インクが付着するおそれがあります。

4 新しいメンテナンスボックスを押し込みます。

- メンテナンスボックスに付いている緑色の基板部分およびインク排出口部分には触れないでください。

- セットしたメンテナンスボックスを、繰り返し抜き差ししないでください。吸収材の一部が製品内部に落ちるおそれがあります。

5 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。

6 2 個のネジを締めます。

メンテナンスボックスを交換したら、必ずフィルターも同時に交換してください。（本書 86 ページ「フィルターの交換」参照）

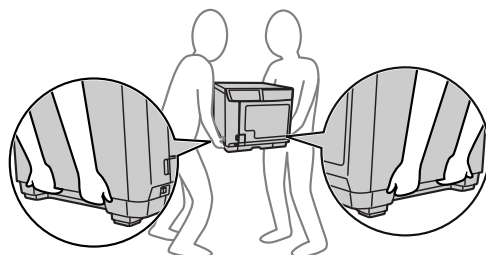
フィルターの交換

> **注意** メンテナンスボックスカバーやフィルターカバーに付着したインクが付くおそれがありますので、メンテナンスボックスカバー、フィルターカバーの取り扱いにはご注意ください。

1 フィルターカバーをメンテナンスボックスカバーから取り外します。

2 フィルターカバーからフィルターを取り外します。

3 新しいフィルターをフィルターカバーに入れます。

4 フィルターカバーをメンテナンスボックスカバーに取り付けます。

本製品輸送時のご注意

本製品を輸送するときは、本製品を衝撃などから守るため、必ず本製品が梱包されていた箱と保護材を使用してください。保護材の取り付けは、「スタートアップガイド」の「保護材の取り外し」を参考にして行ってください。

注意

- 本製品内にディスクが残っていないことを確認してください。
- 使用中のインクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- メンテナンスボックスは、絶対に取り外さないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- 保護材取り付け時、および輸送時には、本製品を傾けたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
- **本製品を持ち上げる際は、必ず2人で持ち上げてください。**

本製品の重さは、約22kgです。本製品を持ち上げる際は、左図のように本製品を2人で挟み、本製品側面のくぼみを持って持ち上げてください。左図以外の部分に手を掛けて運ぶと本製品が破損する原因となります。特にディスクカバー、インクカートリッジカバー、スタッカー4を開けた状態で持つと、製品を落とす危険性、および変形、破損するおそれがあります。
また、本製品を置くときは、本製品と設置面の間に指を挟まないように注意してください。

- **本製品を持ち上げる際は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業してください。**
  無理な姿勢で持ち上げると、作業者がけがをしたり、本製品が破損する原因となります。
- **本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。**
  転倒などによる事故の原因となります。
- **本製品の天面に重いものを載せないでください。**
  本製品に無理な力が掛かると故障の原因となります。
  ただし、本製品を1台まで本製品天面に載せることは可能です。本製品を載せるときは、上下同じ向きで、外形を合わせて載せてください。その際、**落下、転倒には十分ご注意ください。また、2台以上は載せないでください。**

1 本製品の電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源コードとUSBケーブルを取り外します。

3 アームに保護材を取り付け、テープで固定します。

4 スタッカー1、スタッカー2、スタッカー3を取り付け、テープで固定します。

5 インクカートリッジカバーを開け、インクカートリッジをテープで固定します。

6 インクカートリッジカバー、ディスクカバー、およびスタッカー4を閉め、テープで固定します。

7 本製品の底面を下にして、水平にした状態で梱包箱に入れます。

困ったときは

トラブルと対処法

参考	EPSON Total Disc Maker のヘルプ、弊社ホームページも併せてご参照ください。

電源 / 操作パネルのトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
電源が入らない	電源ボタンを少し長めに押してください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれたりしていないかを確認してください。
	テーブルタップなどを使用していませんか？ 電源プラグは直接壁のコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか？ ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかを確認してください。
電源が切れない	電源ボタンを少し長めに押してください。 それでも電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、もう一度電源を入れて、必ず電源ボタンで電源をオフにしてください。そのまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする可能性があります。
電源をオンにすると、ガタガタと音がする	内部に異物（輸送用の青い保護テープなど）が入っていませんか？ 電源ボタンを押して電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認してください。
操作パネルのランプが点滅 / 点灯する	エラーの可能性があります。 エラー内容と対処方法は、本書 94 ページ「ランプが点滅 / 点灯している」を参照してください。

ディスク搬送(供給 / 排出)のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
アームが動かない	**内部に異物はありませんか？** 電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認した後、電源をオンにしてください。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
ディスクが搬送されない	**－ディスクがスタッカーから搬送されない場合－** ①ディスクカバーを開けます。 ②供給元のスタッカーからブランクディスクを取り出します。 ③ディスク同士が貼り付いている場合があるため、よくばらしてセットし直します。 ④ディスクカバーを閉めます。 ⑤再度ディスクの発行を行います。 **－ディスクがプリンタートレイから搬送されない場合－** ①本製品の電源をオフにします。 ②トレイからディスクを取り除きます。 トレイからディスクを取り除く方法は、本書 105 ページ「ディスクが出てこない」を参照してください。 ③本製品の電源をオンにします。 ④再度ディスクの発行を行います。 **－アームがディスクをピック（つかむこと）している場合－** ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。アームからディスクを取り外す場合は、本製品の電源をオフにし、再度電源をオンにして、本製品の初期化動作によって取り外してください。それでもエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
ディスクが出てこない	**内部に異物はありませんか？** 電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認した後、電源をオンにしてください。 それでも解決しないときは、本書 105 ページ「ディスクが出てこない」を参照してください。
重送エラーを解除できない	**ディスクに問題はありませんか？** ディスクの厚みや反りによっては、ディスクが複数枚搬送されていなくても重送エラーが発生する場合があります。その場合は、下記の手順で重送エラーを解除し、別のディスクに交換して再度お試しください。 ①ディスクカバーを開けます。 ②トレイからディスクを取り除きます。 ③供給元のスタッカーからディスクを取り出します。 ④別のディスクを供給元スタッカーにセットします。 ⑤ディスクカバーを閉めると、JOB が再開されます。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。

レーベル印刷のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
• かすれる • スジや線が入る • ぼやける • 文章や線がガタガタになる • 色合いがおかしい • 印刷されない色がある • 印刷にムラがある • モザイクがかかったように印刷される • 印刷の目が粗い（ギザギザしている）	**プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？** ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認し、目詰まりしていたらヘッドクリーニングを行ってください。 詳細は、以下を参照してください。 • 本書 73 ページ「ノズルチェック」 • 本書 74 ページ「ヘッドクリーニング」
	インクカートリッジは、推奨品（エプソン純正品）をお使いですか？ 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
	古くなったインクカートリッジを使用していませんか？ 古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下します。インクカートリッジの使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載されています。開封後は 6ヶ月以内に使い切ってください。
	双方向印刷時のプリントヘッドのギャップにズレがありませんか？ 双方向印刷に設定すると、高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときもインクを吐出しますが、まれに右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になる場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレを確認・調整してください。 詳細は、本書 76 ページ「ギャップ調整」を参照してください。
	厚みの異なるディスクを使用していませんか？ ディスクは各製品によって、厚みが異なります。厚みの異なるディスクを使用すると、プリントヘッドのギャップがずれる場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレを確認・調整してください。複数枚のディスクを発行するときは、同じ製品種類のディスクを使用することをお勧めします。 詳細は、本書 76 ページ「ギャップ調整」を参照してください。
	インクジェットプリンター用のディスクに印刷していますか？ 本製品に対応するディスクは、インクジェットプリンター用ディスクです。熱転写プリンター用ディスクには対応していません。また、印刷するディスクの品質により、印刷の品質が異なることがあります。EPSON 認定ディスクのご使用をお勧めします。 詳細は、本書 117 ページ「EPSON 認定ディスク」を参照してください。
	ディスクに汚れはありませんか？ レーベル面に付いたホコリ、汚れなどは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、および静電防止剤は使用しないでください。 詳細は、本書 28 ページ「ディスクの取り扱い」を参照してください。
	印刷面を十分に乾かしていますか？ 印刷済みディスクのインクが乾くまでは、印刷面に他のディスクなどが接触しないようにしてください。接触部分に跡が残ることがあります。

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
• かすれる • スジや線が入る • ぼやける • 文章や線がガタガタになる • 色合いがおかしい • 印刷されない色がある • 印刷にムラがある • モザイクがかかったように印刷される • 印刷の目が粗い（ギザギザしている）	**インク乾燥時間を短く設定していませんか？** インク乾燥時間とは、レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させるための時間です。インク乾燥時間を長めに設定してください。 詳細は、本書 20 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください。
	パソコンのディスプレイ表示と印刷結果を比較していませんか？ ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色は、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。
ディスクの印刷領域に正しく印刷されない	印刷領域の内径と外径を、印刷するディスクの印刷領域に合わせて設定してください。 詳細は、本書 29 ページ「印刷可能領域」を参照してください。また、内径・外径の設定手順は、以下を参照してください。 • プリンタードライバーで設定する場合：本書 62 ページ「定形外レーベルサイズのディスクに印刷する」 • EPSON Total Disc Maker で設定する場合:EPSON Total Disc Maker のヘルプ
印刷位置がずれる	印刷位置がずれるときは、印刷位置補正をしてください。 詳細は、本書 78 ページ「印刷位置補正」を参照してください。
ディスクの記録面がインクで汚れる	**インク乾燥時間を短く設定していませんか？** インク乾燥時間とは、レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させるための時間です。インク乾燥時間を長めに設定してください。 詳細は、本書 20 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください。
	プリンタートレイが汚れていませんか？ ディスクの記録面がインクで汚れるときは、プリンタートレイが汚れている場合があります。プリンタートレイの汚れを拭き取ってください。 プリンタートレイのお手入れの方法は、本書 108 ページ「ディスクの記録面がインクで汚れる」を参照してください。
• 印刷後、レーベル面のインクが付着する / はがれる • ディスクが貼り付く	**印刷推奨領域を超えて印刷していませんか？** 印刷推奨領域を超えて印刷すると、印刷後、レーベル面のインクが付着したり、はがれたり、ディスク同士が貼り付く場合があります。 詳細は、本書 29 ページ「印刷可能領域」を参照してください。

その他のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ソフトウェアがインストールできない	**USB ケーブルが外れていませんか？** USB ケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。
	USB ケーブルは同梱品を使用していますか？ 本製品に同梱の USB ケーブルを使用してください。
	HDD の空き容量は十分ですか？ HDD の空き容量が十分に確保されていないと、ソフトウェアはインストールできません。HDD の空き容量を確認し、少ない場合は空き容量を増やしてください。 また、ソフトウェアが正常に動作するためにも、十分な HDD の空き容量が必要です。 ソフトウェアの動作条件は、「スタートアップガイド」の「ソフトウェアの動作条件」を参照してください。
	「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）で Windows にログオンしていますか？ インストールするには、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンしてください。ユーザー権限でログオンするとインストールできません。なお、管理者のパスワードまたは確認を求められることがあります。パスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
	USB ハブを使用していませんか？ USB ケーブルは、USB ハブを中継せずにパソコンと直接接続してください。
	パソコンに接続した本製品の電源をオンにした状態でインストールしていませんか？ ソフトウェアをインストールするときは、必ず本製品の電源をオフにしてインストールを開始してください。
ヘッドクリーニングが動作しない	**クリーニングボタンを少し長めに押してください。**
	本製品にエラーが発生していませんか？ エラーが発生している場合は、解除してください。
	インク残量は十分ありますか？ 十分なインク残量がないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 インクカートリッジの交換方法は、本書 70 ページ「インクカートリッジの交換方法」を参照してください。
連続して印刷をしている途中に印刷速度が遅くなった	長時間印刷を続けると、ディスクの搬送や印刷が一時的に停止することがあります。これは、製品のオーバーヒートや損傷を防ぐために印刷スピードが抑えられているためです。この場合、印刷を続けることは可能ですが、製品の動作を停止させ、電源を入れたまま 30 分程度放置することをお勧めします。（電源オフの状態では、約 3 時間で通常の状態に復帰します。）
ディスクを発行できない	本書 101 ページ「ディスクが発行できない」を参照してください。

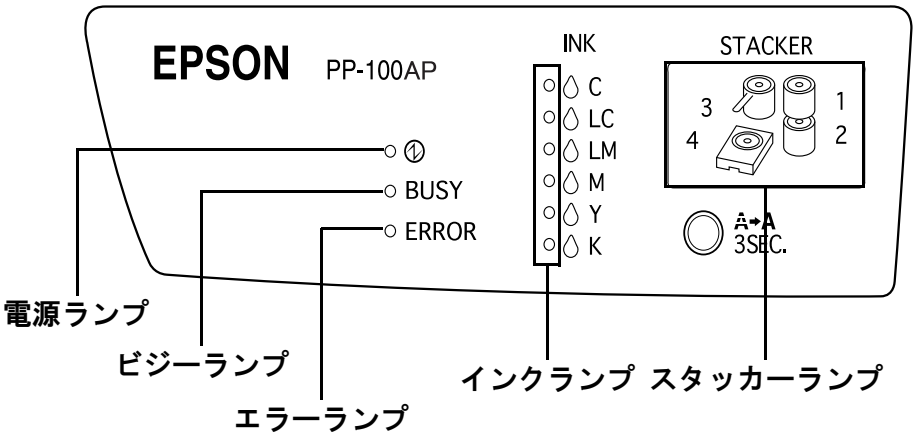
ランプが点滅 / 点灯している

ランプの点滅 / 点灯の組み合わせで、本製品の状態を確認します。

注意

エラー発生後にレーベル印刷を行うときは、必ずノズルチェックをしてプリントヘッドの状態を確認してください。
ノズルチェックの詳細は、本書 73 ページ「ノズルチェック」を参照してください。

参考

エラーの内容および対処方法は、EPSON Total Disc Monitor の [デバイスの状態] でも確認できます。
詳細は、本書 100 ページ「EPSON Total Disc Monitor で確認する」のヘルプを参照してください。

参考

本書では、ランプの状態を以下の記号で表示しています。

● 点灯　◎ 点滅　◐ 速い点滅　○ 消灯

正常な状態

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	○	○	○	○	○	○	○	電源がオンの状態です。 発行できます。
●	◎	○	○	○	○	○	○	JOB 実行中です。 登録されている JOB がすべて終了するまで、しばらくお待ちください。
◎	○	○	○	○	○	○	○	初期化中です。 動作が終了するまでしばらくお待ちください。
◐	○	○	○	○	○	○	○	終了処理中です。 電源が切れるまでしばらくお待ちください。
●	◐	○	○	○	○	○	○	スタッカー 4 に排出動作中です。 スタッカー 4 を引き出さないでください。

エラー状態

カバーに関するエラー

<table>
<tr><th colspan="8">ランプ</th><th rowspan="3">状態 / 対処方法</th></tr>
<tr><th rowspan="2">電源</th><th rowspan="2">ビジー</th><th rowspan="2">エラー</th><th rowspan="2">インク</th><th colspan="4">スタッカー</th></tr>
<tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr>
<tr><td rowspan="2">●</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">●</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td>ディスクカバーまたはインクカートリッジカバーが開いています。
ディスクカバーまたはインクカートリッジカバーを閉めてください。</td></tr>
<tr><td>JOB 実行中にディスクカバーまたはインクカートリッジカバーが開いたため、JOB が復帰待ち処理中になっています。
JOB が復帰待ち状態になるまでしばらくお待ちください。</td></tr>
</table>

ディスクの搬送に関するエラー

<table>
<tr><th colspan="8">ランプ</th><th rowspan="3">状態 / 対処方法</th></tr>
<tr><th rowspan="2">電源</th><th rowspan="2">ビジー</th><th rowspan="2">エラー</th><th rowspan="2">インク</th><th colspan="4">スタッカー</th></tr>
<tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th></tr>
<tr><td rowspan="2">●</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">●</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td>アームがディスクのピック（つかむこと）に失敗しました。
以下の手順で対処してください。
①ディスクカバーを開け、供給元スタッカー内のディスクをよくばらします。
②ディスクカバーを閉め、ディスクを再発行します。

何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>アームが複数枚のディスクを搬送しました。
以下の手順で対処してください。
①ディスクカバーを開けます。
②プリンタートレイ上のすべてのディスクを取り除きます。
③ディスク同士の貼り付きを防ぐため、供給元スタッカー内のディスクをばらします。
④ディスクカバーを閉め、ディスクを再発行します。

ディスクを取り出さずに電源をオン / オフしないでください。本製品が故障するおそれがあります。</td></tr>
</table>

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
◎	○	◎	○	○	○	○	○	**アームが搬送中にディスクを落としたか、エラーが発生しました。** 以下の手順で対処してください。 ①本製品の電源をオフにします。 ②ディスクを取り除きます。 ③本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
								アームがディスクの排出に失敗しました。 以下の手順で対処してください。 ①本製品の電源をオフにします。 ②ディスクを取り出します。 アームがディスクをピック（つかむこと）している場合は、ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。 アームが掴んでいるディスクを取り外す場合は、必ず再度電源をオンにし、本製品の初期化動作によって取り外してください。 それでもエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。 ③本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。 ディスクがプリンタートレイ内に取り残された場合は、本書 105 ページ「ディスクが出てこない」を参照し、ディスクを取り出してください。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
								内部エラーが発生しました。 以下の手順で対処してください。 ①本製品の電源をオフにします。 ②ディスクカバーを開け、内部に異物があれば取り除き、ディスクカバーを閉めます。 アームがディスクをピック（つかむこと）している場合は、ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。 アームが掴んでいるディスクを取り外す場合は、必ず再度電源をオンにし、本製品の初期化動作によって取り外してください。 ③本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。 何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。

スタッカーに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	○	●	○	○	○	●	○	**標準モード時、または外部排出モードでスタッカー 3 を［使用しない］に設定しているときにスタッカー 3 がセットされています。** スタッカー 3 を取り外してください。
●	○	●	○	◎	○	○	○	**スタッカー 1 が正しくセットされていません。** スタッカー 1 が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー 1 を正しくセットしてください。
●	○	●	○	○	◎	○	○	**スタッカー 2 が正しくセットされていません。** スタッカー 2 が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー 2 を正しくセットしてください。
●	○	●	○	○	○	◎	○	**バッチ処理モード時、または次の場合にスタッカー 3 が正しくセットされていません。** • 標準モードでスタッカー3を［使用する］に設定しているとき • 外部排出モードでスタッカー3を［排出先］に設定しているとき スタッカー 3 が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー 3 を正しくセットしてください。
●	○	○	○	◎	○	○	○	**スタッカー 1 のディスクがなくなりました。** スタッカー 1 にディスクを補充してください。
●	○	○	○	○	◎	○	○	**スタッカー 2（供給元として使用）のディスクがなくなりました。** スタッカー2(供給元)にディスクを補充してください。
●	○	●	○	●	○	○	○	**スタッカー 1 のディスクが多すぎます。** セットしたディスクがスタッカーの点線以下になるように、余分なディスクを取り除いてください。
●	○	●	○	○	●	○	○	**スタッカー 2（供給元として使用）のディスクが多すぎます。** セットしたディスクがスタッカーの点線以下になるように、余分なディスクを取り除いてください。
●	○	○	○	○	●	○	○	**スタッカー 2（排出先として使用）のディスクがフル（一杯）になりました。** スタッカー 2（排出先として使用）に排出された作成済みディスクを取り出してください。
●	○	●	○	○	○	●	○	**スタッカー 3 のディスクが多すぎます。** スタッカー 3 内のディスクをすべて取り出してください。
●	○	○	○	○	○	●	○	**スタッカー 3 がフル（一杯）になりました。** JOB の終了後、スタッカー 3 内の作成済みディスクを取り出してください。

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	○	●	○	○	○	○	◎	**スタッカー 4 がフル（一杯）になりました。** スタッカー 4 から作成済みディスクを取り除いてください。
●	○	○	○	○	○	○	◎	**スタッカー 4 が引き出されています。** スタッカー 4 を閉めてください。

供給元スタッカーのディスクがなくなるとスタッカーランプが点滅しますが、点滅開始のタイミングはディスクがなくなるタイミングより少し前後することがあります。

インクに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	○	○	◎	○	○	○	○	**点滅している色のインクの残量が少なくなりました。** 新しいインクカートリッジを用意してください。インクカートリッジは、純正品のご使用をお勧めします。
●	○	○	●	○	○	○	○	**点灯している色のインクが交換時期になりました。または点灯している色のインクカートリッジが正しくセットされていません。** インクカートリッジを交換、またはセットし直してください。インクカートリッジを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合があります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。 本製品は、プリントヘッドの品質を保つため、インクが完全になくなる前に動作を停止します。そのため、インクカートリッジ内には、多少のインクが残ります。 インクカートリッジは、純正品のご使用をお勧めします。 インクカートリッジの交換方法は、本書 70 ページ「インクカートリッジの交換方法」を参照してください。
●	○	○	●	○	○	○	○	**インクカートリッジが認識できません（すべてのインクランプが点灯している場合）。** 以下の手順で対処してください。 ①インクカートリッジカバーを開けます。 ②インクカートリッジを全色、セットし直します。 ③インクカートリッジカバーを閉めます。

プリンターに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
○	○	○	◐	○	○	○	○	**メンテナンスボックスが交換時期になりました。またはメンテナンスボックスが正しくセットされていません。** メンテナンスボックスを交換、またはセットし直してください。メンテナンスボックスを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合があります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。 メンテナンスボックスの交換方法は、本書 83 ページ「交換方法」を参照してください。
●	●	●	●	●	●	●	●	**メンテナンスエラーが発生しました。** 詳細は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
◍	○	◍	○	○	○	○	○	**プリンターで内部エラーが発生しました。** 本製品の電源をオフにし、ディスクカバーを開け、内部に異常がないか確認してディスクカバーを閉めた後、電源をオンにしてください。 発行処理が開始されない場合は、EPSON Total Disc Monitor の［発行待ち］タブに表示されている JOB をすべて削除してください。 詳細は、本書 16 ページ「[発行待ち JOB] 画面」、またはEPSON Total Disc Monitor のヘルプを参照してください。 それでも発行処理が開始されない場合は、印刷キューをすべて削除してください。詳細は、本書 104 ページ「パソコン（印刷キュー）に印刷待ちデータはないですか？」を参照してください。 エラー発生後、製品を放置するとプリントヘッドの目詰まりの原因となります。必ず、電源をオフにした後、直ちにオンにしてください。 また、エラー発生後にレーベル印刷するときは、必ずノズルチェックしてプリントヘッドの状態を確認してください。詳細は、本書 73 ページ「ノズルチェック」を参照してください。

その他のエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
◍	○	◍	○	○	○	○	○	状態不正エラーが発生しました。 本製品の電源を入れ直してください。

参考

処置した後もエラーが続くときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、本書の裏表紙に記載しています。お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピューターの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

EPSON Total Disc Monitorで確認する

EPSON Total Disc Monitor で本製品の状態とエラーの対処方法を確認できます。

EPSON Total Disc Monitor の 起動方法は、本書 14 ページ「EPSON Total Disc Monitor の起動」を参照してください。また、EPSON Total Disc Monitor は、EPSON Total Disc Maker で [発行] をクリックすると自動的に起動します。

操作ガイダンス	本製品の状態やエラーの内容とメッセージが表示されます。 表示される対処方法を参考にし、本製品を確認してください。
インクの状態	インク残量が表示されます。 が表示されたときは、インク残量が少なくなっています。新しいインクカートリッジを用意してください。 が表示されたときは、インク交換時期です。新しいインクと交換してください。インクカートリッジ交換の詳細は、本書 69 ページ「インクカートリッジの交換」を参照してください。 残り印刷可能枚数は、前回印刷したレーベルと同じレーベルをあと何枚印刷できるかという目安の値です。印刷データや印刷環境などの影響を受けるため、実際の値とは多少異なります。1000 枚までは「1000 枚以上」と表示され、1000 枚未満になると 10 枚単位で表示されます。
プリンターの状態	プリンターの状態が表示されます。 プリンターのアイコンに が表示されたときは、表示されるメッセージを参考にして、本製品のプリンターを確認してください。
スタッカーの状態	スタッカーの状態が表示されます。 が表示されたときは、供給元スタッカー内のディスクが少なくなっているか、排出先スタッカーのディスクがフル（一杯）に近づいています。供給元スタッカーのディスクが少なくなっている場合は、新しいディスクを用意してください。排出先スタッカーのディスクがフル（一杯）に近づいている場合は、次の JOB を発行する前にディスクを取り出しておくことをお勧めします。 が表示されたときは、表示されるメッセージを参考にして、スタッカーおよびディスクを確認してください。

ディスクが発行できない

EPSON Total Disc Maker の発行ビューで [発行] をクリックしてもディスクが発行されない、または本製品が動作しない場合は、以下のチェックをしてください。

チェック 1: EPSON Total Disc Monitor をチェック

EPSON Total Disc Monitor にエラーメッセージが表示されていませんか？

EPSON Total Disc Monitor で、接続されている本製品の状態を確認し、エラーが発生している場合は対処してください。

EPSON Total Disc Monitor の詳細は、以下を参照してください。

- 本書 14 ページ「EPSON Total Disc Monitor」
- EPSON Total Disc Monitor のヘルプ

チェック 2: 本製品をチェック

電源ランプは点灯していますか？

電源ランプが点灯していない場合は、本製品の電源がオフになっています。

「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照し、電源をオンにしてください。

操作パネルのランプが点滅 / 点灯していませんか？

操作パネルのエラーランプ、インクランプ、およびスタッカーランプが点滅 / 点灯している場合は、本製品に何らかのエラーが発生しています。

エラー内容の確認、対処方法は、本書 94 ページ「ランプが点滅 / 点灯している」を参照してください。

ターミナルサービスは動作していますか？(Windows8/Windows 7/Windows Vista は除く)

Guest 権限などサービスにアクセスできない環境では、発行を行う前にターミナルサービスを動作させておく必要があります。ターミナルサービスの設定は管理者にお問い合わせください。

以上を確認してもトラブルが解決しない場合は、次のチェック項目を確認してください。

チェック 3: 本製品とパソコンの接続をチェック

USB ケーブルが外れていませんか？

USB ケーブルが接続されているかを確認してください。また、USB ケーブルが断線していないか、折れ曲がっていないか確認してください。

USB ケーブルがパソコンや本製品の仕様に対応していますか？

本製品に同梱されている以外の USB ケーブルをご使用の場合は、USB ケーブルが仕様に対応しているかを確認してください。本製品は、Hi-Speed USB に対応しています。ただし、以下の条件を満たす必要があります。

- Hi-Speed USB 規格準拠の USB インターフェイス
- Hi-Speed USB パフォーマンスを確保した USB インターフェイス

ATI 製チップセットの Hi-Speed USB インターフェイスは未対応です。本製品が動作しないチップセットについては、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp/disc/）を確認してください。

USB ハブを使用していませんか？

USB ケーブルは、USB ハブを中継せずに直接パソコンに接続してください。

以上を確認してもトラブルが解決しない場合は、次のチェック項目を確認してください。

チェック 4: プリンタードライバーの設定をチェック

プリンタードライバーは､インストールされていますか？

1 ［デバイスとプリンターの表示］（または［プリンタ］/［プリンタと FAX］）を開きます。

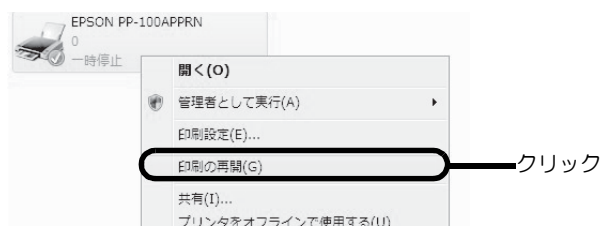
Windows 8/Windows Server 2012 の場合
スタート画面のタイルのないところで右クリックし、[すべてのアプリ] ー [コントロールパネル] ー [デバイスとプリンターの表示] の順にクリックします。
Windows 7 の場合
ー [デバイスとプリンター] の順にクリックします。
Windows Vista/Windows Server 2008 の場合
[スタート]（Windows Vista は ）ー [コントロールパネル] ー [プリンタ] の順にクリックします。
Windows XP Professional の場合
[スタート]-[プリンタと FAX] の順にクリックします。
Windows XP Home Edition/Windows Server 2003 の場合
[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタと FAX] の順にクリックします。

2 [プリンタとFAX](または [プリンタ])に本製品のアイコン(EPSON PP-100APPRN)があることを確認します。

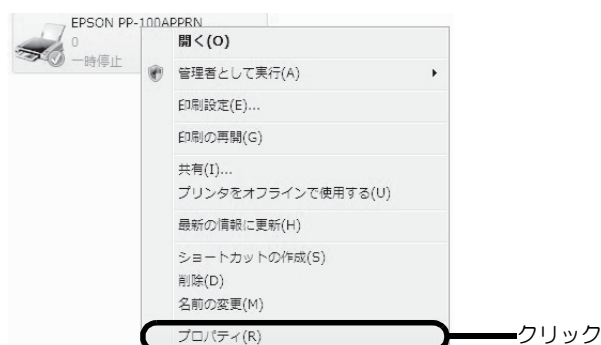
アイコンがない場合は、プリンタードライバーがインストールされていません。「スタートアップガイド」の「インストール」を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

この後は、以下のチェック項目を確認してください。

プリントマネージャーのステータスが一時停止になっていませんか？

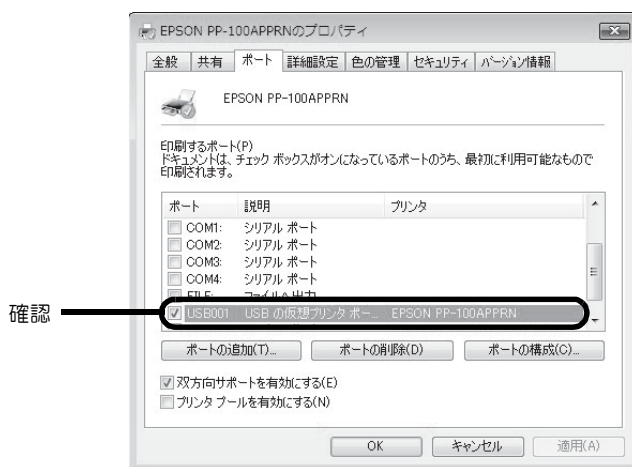
本製品のアイコン（EPSON PP-100APPRN）[一時停止] と表示されている場合は、アイコンを右クリックし、[印刷の再開] をクリックしてください。

接続先(ポート)の設定は正しいですか？

以下の手順に従って、接続先（ポート）の設定を確認してください。

1 本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティー]または[プロパティ]をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、ポートを確認します。

ご使用のプリンター名が表示されているポート（下表の「印刷先のポート」）を選択してください。

接続しているケーブル	印刷先のポート
USB ケーブル	USBxxx:

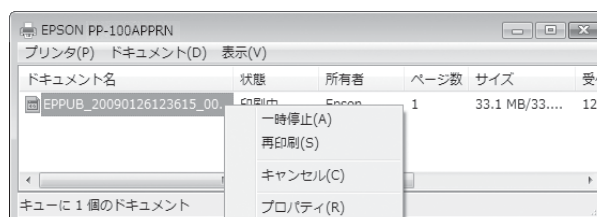
「x」には、数字が入ります。

参考

[ポートの追加] をクリック、手動で新しいポートを作成しても、印刷はできません。お使いのプリンター名が表示されているポートを選択してください。

パソコン(印刷キュー)に印刷待ちデータはないですか?

パソコン（印刷キュー）に印刷待ちの画像が残っていると、印刷が開始されない場合があります。印刷キューを表示し、印刷待ちデータを確認して印刷を再開するか、または取り消してください。

1 [プリンタと FAX]（または [プリンタ]）の本製品のアイコンをダブルクリックします。

2 印刷待ちデータを右クリックし、[再印刷] または [キャンセル] をクリックします。

上記をすべて確認しても解決しないときは、ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性があります。ソフトウェアをアンインストール（削除）し、再度インストールしてください。

ソフトウェアのアンインストール方法は、「スタートアップガイド」の「ソフトウェアのアンインストール」を参照してください。

ソフトウェアのインストール方法は、「スタートアップガイド」の「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

それでもトラブルが解決しないときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピューターの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

ディスクが出てこない

プリンタートレイが出てこないためにディスクが排出されない場合は、本製品の電源を入れ直してください。それでもプリンタートレイが出てこない場合は、以下の手順でプリンタートレイからディスクを取り除いてください。

1 電源をオフにします。

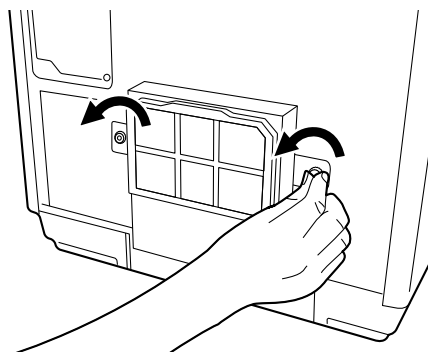
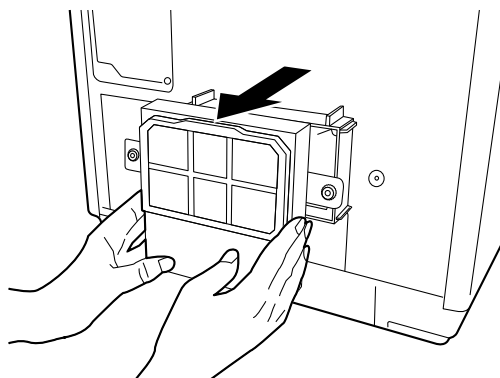
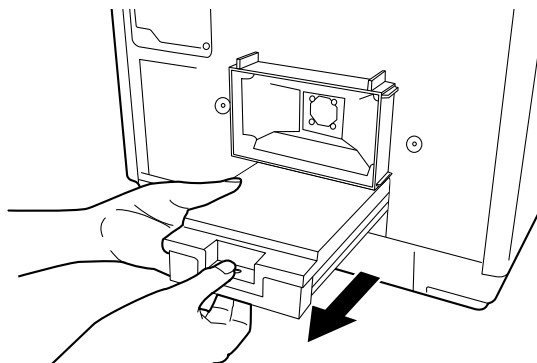
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

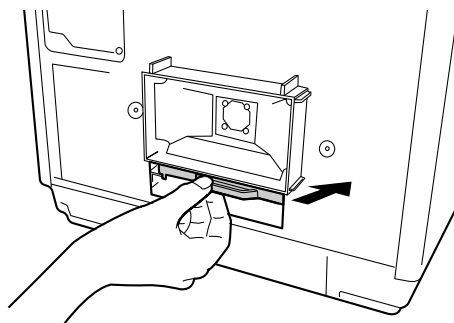
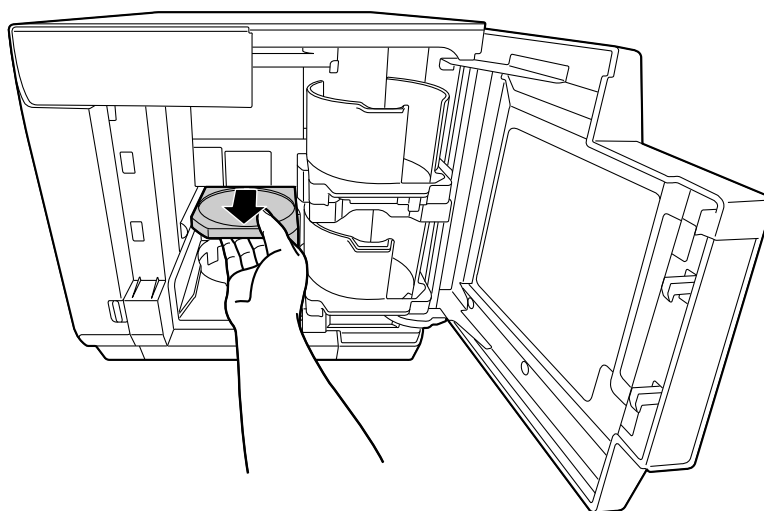
2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 背面の２個のネジを緩めます。

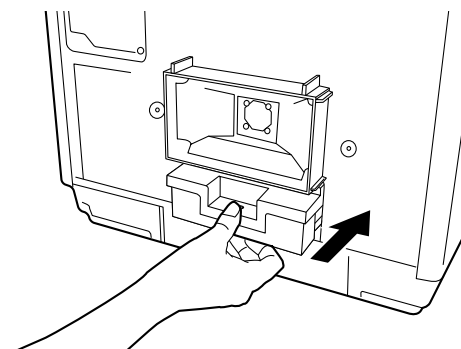
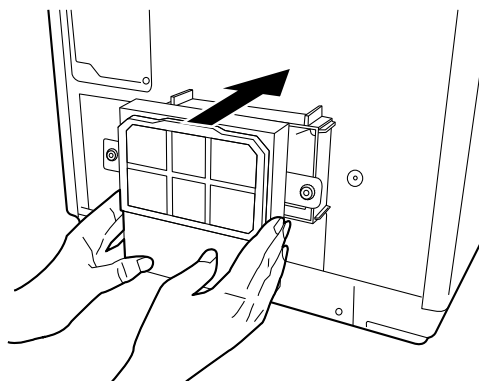
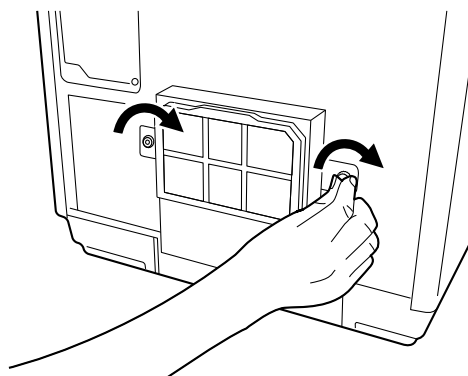
4 メンテナンスボックスカバーを取り外します。

5 メンテナンスボックスを引き抜きます。

注意

- メンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- 本製品のメンテナンスボックス挿入口の内部に手を入れないでください。インクが付着するおそれがあります。

6 つまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。

7 ディスクカバーを開け、プリンタートレイを引き出します。

8 ディスクを取り出し、ディスクカバーを閉めます。

プリンタートレイは、手順 12 で電源をオンにすると自動で閉まります。

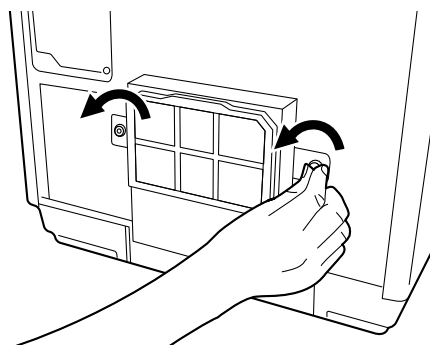
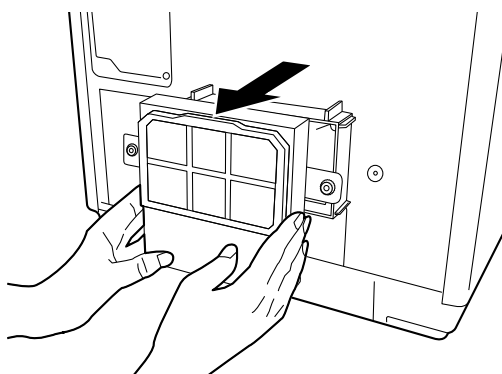
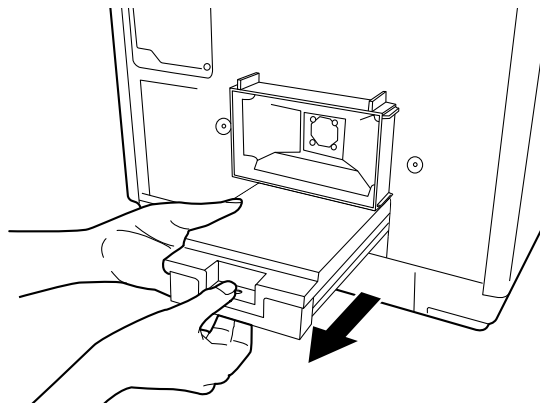
9 メンテナンスボックスを取り付けます。

10 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。

11 2 個のネジを締めます。

12 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

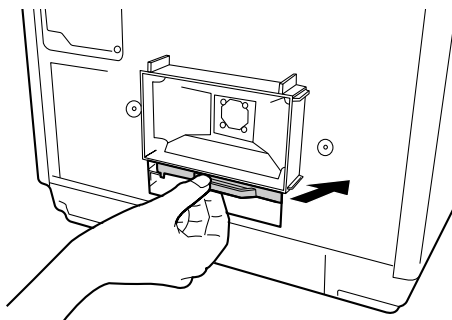
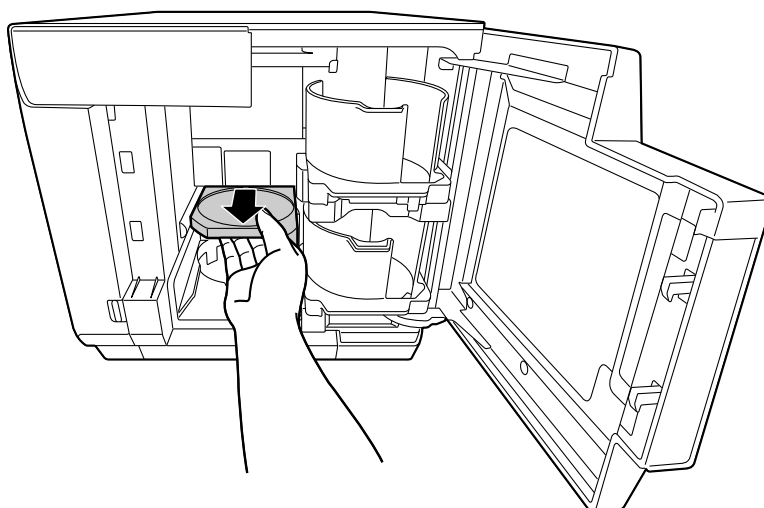
ディスクの記録面がインクで汚れる

ディスクの記録面がインクで汚れる場合は、プリンタートレイが汚れている可能性があります。以下の手順で、プリンタートレイのお手入れをしてください。

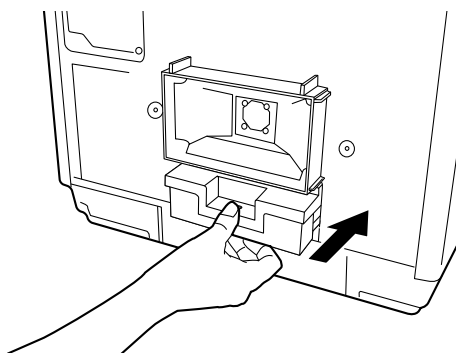
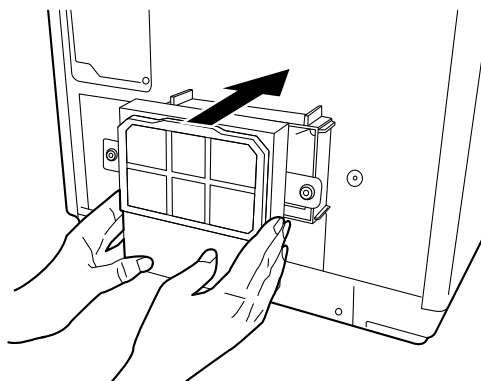
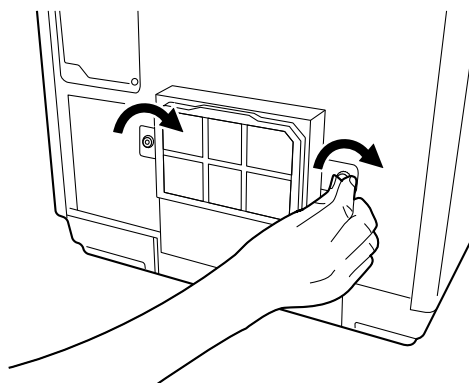
1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 背面の２個のネジを緩めます。

4 メンテナンスボックスカバーを取り外します。

5 メンテナンスボックスを引き抜きます。

注意	メンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。

6 つまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。

7 ディスクカバーを開け、プリンタートレイを引き出します。

8 柔らかい布を使用して、プリンタートレイの汚れを拭き取ります。

9 ディスクカバーを閉めます。
プリンタートレイは、手順 13 で電源をオンにすると自動で閉まります。

10 メンテナンスボックスを取り付けます。

11 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。

12 2 個のネジを締めます。

13 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

付録

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートをご案内いたします。

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

- 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダー契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- 愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。また、プリンタードライバーやマニュアルは、エプソンのホームページ上で提供されています。

アドレス	http://www.epson.jp/

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンターに関するさまざまなご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間および電話番号につきましては本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナー、デジタルカメラ、プリンターそしてパソコン。分厚い解説本を見た途端、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。

エプソンデジタルカレッジ	http://www.epson.jp/school/

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書 89 ページ「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※ 改良などにより、予告なしに外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

連絡先	本書裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付時間	午前 9：00 〜午後 5：30 月曜日〜金曜日（土日・祝祭日および弊社指定の休日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンター、またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理の都度発生する修理代･部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（インク、ディスク等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理をいたします。
• 修理の都度発生する修理代･部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
* 消耗品（インク、ディスク等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料＋技術料＋部品代を修理完了後、その都度お支払いください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代を修理完了品をお届けしたときにお支払いください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td></tr>
</table>

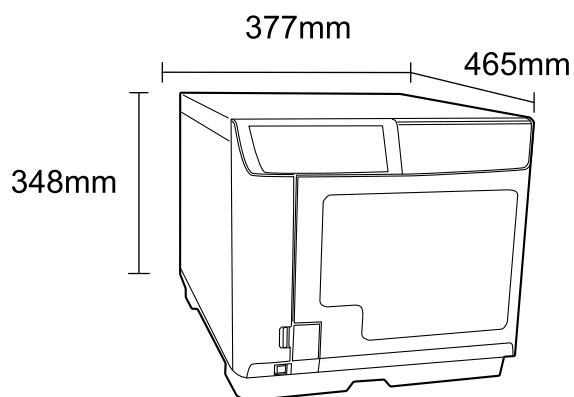
製品仕様

基本仕様

外形・質量

項目	内容
外形寸法	377mm（幅）x 465mm（奥行き）x 348mm（高さ）
質量	約22kg(スタッカー、カートリッジ含む。ACケーブル、ディスクは含まない)。

注意	本製品は、メッキ鋼板を使用しているため、端面にサビが発生することがありますが、本来の機能を損なうものではありません。

＜外観図＞

JOB 処理能力

項目	内容	
JOB 処理能力 （双方向印刷時）	印刷モード設定 （きれい [1] ～速い [3]）	[1]：50 枚 /H [2]：75 枚 /H [3]：95 枚 /H

上記は Windows Vista の場合です。JOB 処理能力は、使用環境によって異なります。

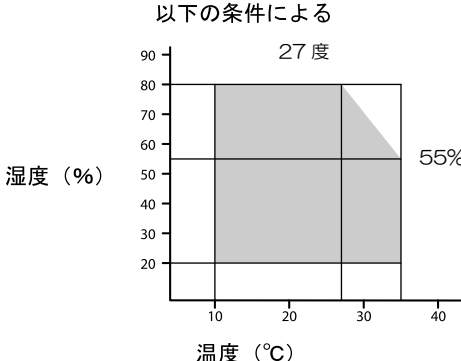
接続台数

項目	内容
PC 1 台に対する接続台数 *	6 台まで

* 接続 PC1 台からの発行 JOB を同時に処理できる台数（動作保証台数）です。

印刷仕様

項目		内容	
印刷方式		オンデマンドインクジェット方式	
ヘッド	ノズル数	ブラック	: 180 ノズル
		シアン	: 180 ノズル
		マゼンタ	: 180 ノズル
		イエロー	: 180 ノズル
		ライトシアン	: 180 ノズル
		ライトマゼンタ	: 180 ノズル
印刷解像度		印刷モード設定（きれい / 速い）	[1] : 1,440 x 1,440dpi
			[2] : 1,440 x 720dpi
			[3] : 720 x 720dpi
印刷方向		双方向印刷、単方向印刷	

dpi：25.4mm あたりのドット数（dots per inch）

インクカートリッジ

項目		内容	
形態		各色別体型インクカートリッジ	
色		ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ	
推奨使用期限		個装箱に記載されている期限。開封から 6ヶ月以内	
保存温度	個装保存時	-20 ℃～ 40 ℃	40 ℃の場合は 1ヶ月以内
	本体装着時	-20 ℃～ 50 ℃	50 ℃の場合は 1ヶ月以内
	個装輸送時	-20 ℃～ 60 ℃	60 ℃の場合は 5 日間以内
寸法		42.0mm（幅） x 83.0mm（奥行き） x 26.4mm（高さ）	
インク		染料インク	

電気関係

項目		内容
定格電圧		AC100V
定格周波数		50Hz ～ 60Hz
定格電流		1.0A
消費電力	動作時平均	約 30W
	待機時平均	約 20W
適合規格、規制		VCCI Class B JIS C 61000-3-2
電源コード		AC ケーブル（同梱）

環境条件

項目		内容	
温度 / 湿度	動作時	10 ℃～ 35 ℃	40 ℃の場合：1ヶ月以内 60 ℃の場合：120 時間以内
	保存時	-20 ℃～ 40 ℃	
	輸送時	-20 ℃～ 60 ℃	
	動作時	20%～ 80%RH	結露のないこと
	保存時	5%～ 85%RH	結露のないこと
	輸送時	5%～ 85%RH	結露のないこと
	動作保証領域	以下の条件による 27 度 55% 湿度（%） 温度（℃）	

インターフェイス

項目	内容
規格	USB 2.0
通信速度	• Hi-Speed（480 Mbps） • Full-Speed（12 Mbps）

信頼性

項目		内容
製品寿命		製品購入後 5 年またはディスク 100,000 枚 *1 を発行するまでのいずれか短い方 メンテナンス部品の交換により、300,000 枚まで使用可能
メンテナンス部品	メンテナンスボックス	印刷枚数 30,000 枚 *2 ごとに交換 ただし、必要以上にヘッドクリーニングを行った場合は、上記値を満たしません。
	オートローダー	印刷枚数 100,000 枚ごとに交換
	メカユニット	印刷枚数 150,000 枚 *1 ごとに交換

*1 双方向印刷の場合

*2 一ヶ月あたりの印刷枚数が 3,000 枚の場合

消耗品

本製品で使用可能な消耗品の紹介をします。以下の記載内容は 2013 年 4 月現在のものです。

EPSON 認定ディスク

ディスクの品質が印刷の品質に影響することがあります。EPSON 認定ディスクのご使用をお勧めします。EPSON 認定 CD/DVD は、以下の通りです。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。
< http://www.epson.jp/disc/ >

- CD-R：CDR80WPPSB-WS（太陽誘電株式会社）
- DVD-R：DVD-R47WPPSB16-WS（太陽誘電株式会社）

参考

ディスクの取り扱い方法や注意事項については、本書 28 ページ「ディスクの取り扱い」およびディスクの取扱説明書をご覧ください。

インクカートリッジ

インクカートリッジは 6 色あります。本製品で使用可能なインクカートリッジは以下の通りです。

Discproducer シリーズ専用インクは、製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。< http://www.epson.jp/disc/ >

色	製品名	コード
シアン	PJIC1 (C)	C13S020447
ライトシアン	PJIC2 (LC)	C13S020448
ライトマゼンタ	PJIC3 (LM)	C13S020449
マゼンタ	PJIC4 (M)	C13S020450
イエロー	PJIC5 (Y)	C13S020451
ブラック	PJIC6 (K)	C13S020452

インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のインクカートリッジのご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

インクカートリッジの回収について

環境保全の一環として、使用済みインクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。

回収されたインクカートリッジは、原材料に再生し、リサイクルしています。

最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。

< http://www.epson.jp/ >

メンテナンスボックス

PP-100II/PP-100AP 専用メンテナンスボックス（PJMB100）は、製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。＜ http://www.epson.jp/disc/ ＞

メンテナンスボックスは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のメンテナンスボックスのご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

メンテナンスボックスの回収について

環境保全の一環として、使用済みメンテナンスボックスの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。

回収されたメンテナンスボックスは、原材料に再生し、リサイクルしています。

最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。

＜ http://www.epson.jp/ ＞

表記

Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 8 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2012 Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）を「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows 8」「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」「Windows Server 2012」と表記しています。またこれらの総称として「Windows」を使用しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制　－注意－

この装置は、クラスＢ 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
(2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4)運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正･変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6)エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

＊修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070
・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。　＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)受付電話　**050-3155-7150**　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行いたします。

＊引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

＊年末年始(12/30～1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8099　【受付時間】月～金曜日9:00～12:00 / 13:00～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8584へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム

＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101)でお買い求めください。(2013年4月現在)

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ(http://www.epson.jp/)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5